

# 第 I 編 本編

# 目 次

1. 調査の経緯と目的	I - 1
2. 検討体制	I - 3
3. 被害想定的前提条件	I - 4
(1) 山口県周辺の地震・津波活動	I - 4
(2) 想定地震・津波	I - 13
(3) 被害想定手法（前回調査からの主な変更点）	I - 25
4. 瀬戸内海の津波浸水想定	I - 27
(1) 最大水位分布	I - 27
(2) 最高津波水位・最高津波水位到達時間、海面変動影響開始時間	I - 31
(3) 最高津波水位分布	I - 32
(4) 水位変動	I - 36
(5) 浸水面積	I - 40
(6) 津波浸水想定図	I - 41
(7) 留意事項	I - 42
5. 南海トラフ巨大地震及び周防灘断層帯による地震の被害想定	I - 43
(1) 想定地震・津波	I - 43
(2) 発災季節と発災時刻	I - 44
(3) 想定項目	I - 45
(4) 想定手法	I - 47
(5) 想定結果の概要	I - 48
(6) 地震動	I - 52
(7) 地盤災害	I - 56
(8) 建物被害	I - 58
(9) 人的被害	I - 62
(10) ライフライン被害	I - 67
(11) 交通施設被害	I - 75
(12) 生活支障	I - 80
(13) その他施設等の被害	I - 87
(14) 経済被害	I - 99
(15) 防災・減災対策の効果	I - 104
(16) 市町別総括表	I - 105

## 1. 調査の経緯と目的

平成 23 年 3 月に発生した東北地方太平洋沖地震は、これまでの想定をはるかに超える巨大な地震・津波により、一度の災害で戦後最大の人命が失われるなど、甚大な被害をもたらした。その教訓を踏まえて、南海トラフ沿いで発生する大規模地震対策を検討するに当たっては、「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波」を想定することが必要となった。

南海トラフの巨大地震対策を検討する際に想定すべき最大クラスの地震・津波については、内閣府に設置された「南海トラフの巨大地震モデル検討会」において検討が進められ、平成 24 年 3 月に、震度分布と 50m メッシュの津波高が公表された。この検討結果を受けて、中央防災会議「防災対策推進検討会議」の下に「南海トラフの巨大地震対策検討ワーキンググループ」が設置され、人的・物的被害や経済被害の定量的な推計が進められた。その結果は、平成 24 年 8 月に、モデル検討会の最終報告とともに人的・物的被害の推計結果として公表された。さらに、平成 25 年 3 月には経済被害の定量的な推計結果を踏まえた南海トラフ巨大地震対策の全体像がとりまとめられた。

本県においては、平成 23 年度に大規模災害対策検討委員会を設置し、東日本大震災を踏まえ、県内において想定される大規模災害を類型化し、地震・津波災害として、日本海側の津波想定、国の南海トラフの地震に関する想定の見直しをもとに、被害想定を行い、その想定結果を踏まえた津波等の防災対策について検討することを提言した。

「山口県地震・津波被害想定調査（平成 26 年 3 月）」（以下、「前回調査」という。）では、国から提供される南海トラフ巨大地震の震源断層モデルをもとに、本県の地形データ・地質データ・堤防データなどを加味した津波浸水シミュレーション、地震動・地盤被害予測や、この想定地震・津波が発生した場合の人的・物的被害及び経済被害の定量的な推計を実施した。

一方で、前回調査以降、熊本地震や大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、令和 6 年能登半島地震など大規模災害が発生しており、地震被害に関する様々な知見が得られている。

また、国では、中央防災会議に設置された「南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会」において、国前回調査以降に得られた科学的な調査・研究成果を踏まえた地震モデルや推計手法等の見直しに関する検討が行われ、令和 7 年 3 月に、南海トラフ巨大地震に係る新たな被害想定が公表された。

今回の調査は、令和 6 年能登半島地震等の近年発生した地震の被害の状況や、令和 7 年 3 月に公表された内閣府の「南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会」を踏まえ、本県の地形データ・地質データ・堤防データなどを最新のデータに更新した上で、津波浸水シミュレーション、地震動・地盤被害予測や、想定地震・津波が発生した場合の人的・物的被害及び経済被害の定量的な推計の見直し、周防灘断層帯の地震における人的・物的被害及び経済被害の定量的な推計を実施したものである。

○留意点

- ・想定地震以外の地震発生も否定できない。
- ・個々の施設や建物の被害を想定するものではなく、被害の全体像を把握するための目安として活用される点に重点を置く。
- ・今後の研究の進展や地域構造の変化等により、将来見直しが必要となる。

## 2. 検討体制

山口県における地震・津波の被害想定調査を行い、その結果を踏まえて防災・減災対策を検討し県地域防災計画に反映させるための助言、指導を得るため、有識者からなる「山口県地震・津波防災対策検討委員会」を設置した。

調査の進捗に合わせて随時委員会に諮り、それぞれの専門的立場から指導、助言をいただきながら検討を進めた。

(順不同、敬称略)

### 山口県地震・津波防災対策検討委員会

会 長	三 浦 房 紀	山口大学	名誉教授
委 員	山 本 晴 彦	山口大学	名誉教授
委 員	鈴 木 素 之	山口大学大学院創生科学研究科	教授
委 員	稲 井 栄 一	山口大学大学院創生科学研究科	教授 (令和6年度まで)
委 員	朝 位 孝 二	山口大学大学院創生科学研究科	教授
委 員	麻 生 稔 彦	山口大学大学院創生科学研究科	教授
委 員	太 田 岳 洋	山口大学大学院創生科学研究科	教授
委 員	秋 田 知 芳	山口大学大学院創生科学研究科	講師 (令和7年度から)
委 員	高 橋 征 仁	山口大学人文学部	教授
委 員	楮 原 京 子	山口大学教育学部	准教授
委 員	小 島 直 美	下関地方気象台	台長 (令和6年度まで)
委 員	別 府 寿 男	下関地方気象台	台長 (令和7年度から)
委 員	坂 本 京 子	日本防災士会山口県支部	女性部長
委 員	岡 本 志 俊	山陽小野田セーフティネットワーク	会長
委 員	安 田 直 司	下関市総務部防災危機管理課	課長 (令和6年度まで)
委 員	上 部 博 範	下関市総務部防災危機管理課	課長 (令和7年度から)
委 員	伊 藤 一 孝	山口市総務部防災危機管理課	課長
委 員	中 村 真 二	萩市総務部防災危機管理課	課長 (令和6年度まで)
委 員	小 野 彰 彦	萩市総務部防災危機管理課	課長 (令和7年度から)
委 員	藤 村 聡 明	岩国市総務部危機管理課	課長

### 3. 被害想定的前提条件

#### (1) 山口県周辺の地震・津波活動

##### ① 山口県周辺の地震活動

山口県に複数の死者または複数の全壊家屋の被害が生じたことが明らかにされている過去の被害地震を表 I.3-1-1 に示す。

表 I.3-1-1 山口県に被害をもたらした過去の地震 (1) <sup>1,2,3</sup>

No.	発生年月日	マグニチュード	地域 (地震名)	被害状況
1	1676. 7. 12 (延宝 4. 6. 2)	M6. 5	石見	津和野城や侍屋敷の石垣などに被害。家屋倒壊 133、死者 7 名。
2	1686. 1. 4 (貞享 2. 12. 10)	M7. 2	安芸・伊予	広島県中西部を中心に家屋などの被害が多く、死者があった。宮島・萩・岩国・松山・三原などで被害。
3	1707. 11. 21 (宝永 4. 10. 28)	M5. 5	防長	佐波郡上徳地村で倒壊 289 軒、死者 3 名、重傷 15 名、死牛 4 匹、地割れあり。昼夜 40～50 回。徳山でも町家・侍屋敷破損多く、田熊・大返村で山崩れ、百姓家倒れる。畑中に穴明き水湧出、2ヶ所あり。
4	1778. 2. 14 (安永 7. 1. 18)	M6. 5	石見	那賀郡波佐村で石垣崩れ、都茂村で落石、安芸より備前まで強く震い、筑前で有感。
5	1793. 1. 13 (寛政 4. 12. 2)	M6. 4	長門・周防	防府で人家の損壊が多かったという。
6	1857. 7. 8 (安政 4 閏 5. 17)	M6. 0	萩	城内で石垣などに小被害、市中でも小被害があった。
7	1857. 10. 12 (安政 4. 8. 25)	M7. 3	伊予・安芸	今治で城内破損、郷町で潰家 3、死者 1 名、宇和島・松山・広島などで被害。郡中で死者 4 名。
8	1859. 1. 5 (安政 5. 12. 2)	M6. 2	石見	島根県一帯、特に那賀郡・美濃郡が強く、波佐村で山崩れがあり、周布村では潰家数戸。下道川村(匹見町)で家・土蔵小損 4。美濃郡では明治 5 年の浜田地震より強く感じ、美濃村で潰家 10、豊田村で堀が東に倒れ、青土及び火の如きもの噴出。高城村で石垣、吉賀川の堤防崩れる。被害総計、家潰 56、蔵損 14、寺社倒 2、山崩れ 10、田畑損 31 町余、ほか道・橋・堤損多し。広島・三原で灯籠など少損。萩で勘場少損。余震約 1 ヶ月続く。
9	1859. 10. 14 (安政 6. 9. 9)	M6. 2	石見	島根県那賀郡で強く、周布村でも潰家や地割れがあった。広島城内でも被害があった。
10	1872. 3. 14 (明治 5. 2. 6)	M7. 1	石見・出雲 (浜田地震)	1 週間ほど前から鳴動、当日には前震もあった。全体で全潰約 5 千、死者 552 名、特に石見東部で被害が多かった。海岸沿いに数尺の隆起・沈降がみられ、小津波があった。
11	1898. 4. 3 (明治 31)	M6. 2	山口県見島	見島西部で強く、神社仏閣の損傷、倒壊、石垣の崩壊があった。
12	1903. 3. 21 (明治 36)	M6. 2	瀬戸内海中部	愛媛県大洲付近で落石。

表 I.3-1-1 山口県に被害をもたらした過去の地震 (2) <sup>1,2,3</sup>

No.	発生年月日	マグニチュード	地域 (地震名)	被害状況
13	1905. 6. 2 (明治 38)	M7. 2	安芸灘 (芸予地震)	広島・呉・松山付近で被害が大きく、広島県で家屋全壊 56、死者 11 名、愛媛県で家屋全壊 8、煉瓦造建物・水道管・鉄道の被害が多かった。1903 年以来、この近くで地震が多かった。
14	1937. 2. 27 (昭和 12)	M5. 9	瀬戸内海西部	三津浜で煙突倒壊。松山市武徳殿のガラス破損。
15	1941. 4. 6 (昭和 16)	M6. 2	山口県須佐付近	山口・島根県境付近に小被害。須佐・江崎及びその付近で土塀崩壊・墓石転倒・がけ崩れ・道路の亀裂などがあり、益田・津田駅間で線路約 10cm 沈下し貨車が転覆した。余震は有感 5、無感 6 であった。
16	1949. 7. 12 (昭和 24)	M6. 2	安芸灘	呉で死者 2 名。壁の亀裂、屋根瓦の落下など小被害があった。
17	1979. 7. 13 (昭和 54)	M6. 1	瀬戸内海西部	山口県でダンプカーに落石あり、重傷 1 名。
18	1987. 11. 18 (昭和 62)	M5. 2	山口県中部	山口県で震度Ⅳ、震央は旭村。山口市で軽傷 2、建物一部破損 1、地割れ（緑ヶ岡団地を中心に NE-SW 方向の雁行状）等の微小被害。
19	1991. 10. 28 (平成 3)	M6. 0	周防灘	建物に軽微な被害があり、また軽傷者もあった。
20	1997. 6. 25 (平成 9)	M6. 6	山口県北部	この地震による人的被害としては、2 名の軽傷者が報告されている。家屋の被害は、全壊が 1 件、半壊が 7 件、一部損壊が 216 件に及んだ。地震の震央に近い山口県阿武郡阿東町生雲西分では 3 棟の家屋が全半壊し、コンクリートの舗装道路に 40m にわたって亀裂が生じるなどの被害が生じた。一部損壊としては「屋根瓦の一部破損やずれ」、「ガラス窓の破損」、「壁面のクラック」などが主なものである。
21	2001. 3. 24 (平成 13)	M6. 7	安芸灘 (平成 13 年 芸予地震)	フィリピン海プレート内部の正断層型の地震（深さ 50km）。被害は死者 2 名、負傷者 288 名、住宅全半壊 844 件。

## ② 山口県に津波が到達した過去の地震

山口県周辺の沿岸域に津波が到達していることが明らかにされている過去の被害地震を抽出し、表 I. 3-1-2 に示す。

表 I. 3-1-2 山口県に津波が到達した過去の地震<sup>1,4,5</sup>

No.	発生年月日	マグニチュード	震央地域 (地震名)	被害状況
1	1026. 6. 16 (万寿 3. 5. 23)	M7. 6	石見 (万寿の地震)	山陰地方で最大級の津波として、益田市高津川河口沖にあった鴨島が海中に没したという史料がある。ただし、県内に津波が到達したとの記載はない。
2	1707. 10. 28 (宝永 4. 10. 4)	M8. 4	五機七道 (宝永地震)	わが国最大級の地震の1つで、家屋倒壊地域は中国地方に及び、津波は伊豆半島から九州に至る太平洋沿岸及び大阪湾・播磨・伊予・防長を襲った。文献によると徳山で1.5m程度の津波と記載されている。
4	1854. 12. 24 (嘉永 7<安政 1> 11. 5)	M8. 4	畿内・東海・東山・北陸・南海・山陰・山陽道 (安政南海地震)	山口県内では死者はいないが、負傷者、家屋の全半壊、土手や塩田などの損傷、神社仏閣の鳥居や灯籠の転倒、堀などの倒壊、泥水の噴出、火災の被害があった。この地震による津波高が実際に記載されているのは、室積の六尺(約1.8m)だけである。
5	1872. 3. 14 (明治 5. 2. 6)	M7. 1	石見・出雲 (浜田地震)	1週間ほど前から鳴動、当日には前震もあった。全体で全潰約5千、死者552名、特に石見東部で被害が多かった。海岸沿いに数尺の隆起・沈降がみられ、小津波があった。島根県浜田市で約2.1~2.4m、山口県萩市見島では四尺(約1.2m)の津波が発生したが、被害はなかった。
6	1898. 4. 3 (明治 31)	M6. 2	山口県見島	見島西部で強く、神社仏閣の損傷、倒壊、石垣の崩壊があった。津波という表現ではないが、40cmの水位変化が認められたとある。
7	1946. 12. 21 (昭和 21)	M8. 0	南海道沖 (南海地震)	山口県では住家半壊2、非住家半壊1、道路損壊1、堤防損壊1と被害が少ない。徳山で0.8m、宇部で1mの津波と記載されるが信頼度が低いようである。
8	1983. 5. 26 (昭和 58)	M7. 7	秋田沖 (日本海中部地震)	山口県では揺れは無感であったが、萩の検潮記録によると3時間後に45cmの津波最大振幅を記録しており、須佐港で最大1.7mとなっている。山口県内では船舶9、水道5、堤防1の被害が報告されている。
9	1993. 7. 12 (平成 5)	M7. 8	北海道南西沖 (平成 5年(1993年) 北海道南西沖地震)	島根県で船舶70、床下浸水50の被害が報告されているが、山口県では見島での聞き取り調査で浸水が確認されている。須佐の検潮記録によると76cmの津波最大振幅を記録しており、萩や長門で1m程度となっている。

日本近海で過去に発生した津波の断層分布は、羽鳥(1977)<sup>4</sup>などによって示された後、首藤他によって津波データが追加されており、**図 I. 3-1-1** に分布図を示す。東海、東南海、南海域では、M8クラスの巨大地震が100~150年の間隔で南海トラフ沿いに発生し、明応・慶長・宝永・安政・昭和の津波が知られている。このうち、**表 I. 3-1-1** には、山口県の瀬戸内海側に津波が到達したことが明らかにされている過去の被害地震として、1707年宝永地震、1854年安政南海地震、1946年南海地震を示した。一方、日本海側では北海道沖から新潟県沖にかけての日本海東縁部に津波断層が分布する。このうち、山口県に津波が到達した1983年日本海中部地震、平成5年(1993年)北海道南西沖地震を同表に示した。また、山陰沖、対馬海峡及び九州の西方海域ではほとんど津波は発生していないが、1026年万寿の地震、1872年浜田地震、1898年見島の地震を同表に示した。1026年万寿の地震では山口県内に津波が到達したとの記載はなく、1872年浜田地震では浜田市で約2.1~2.4m、萩市見島で約1.2mの津波が発生したが、被害はなかった。1898年見島の地震では、津波という表現ではないが、40cmの水位変化が認められた。

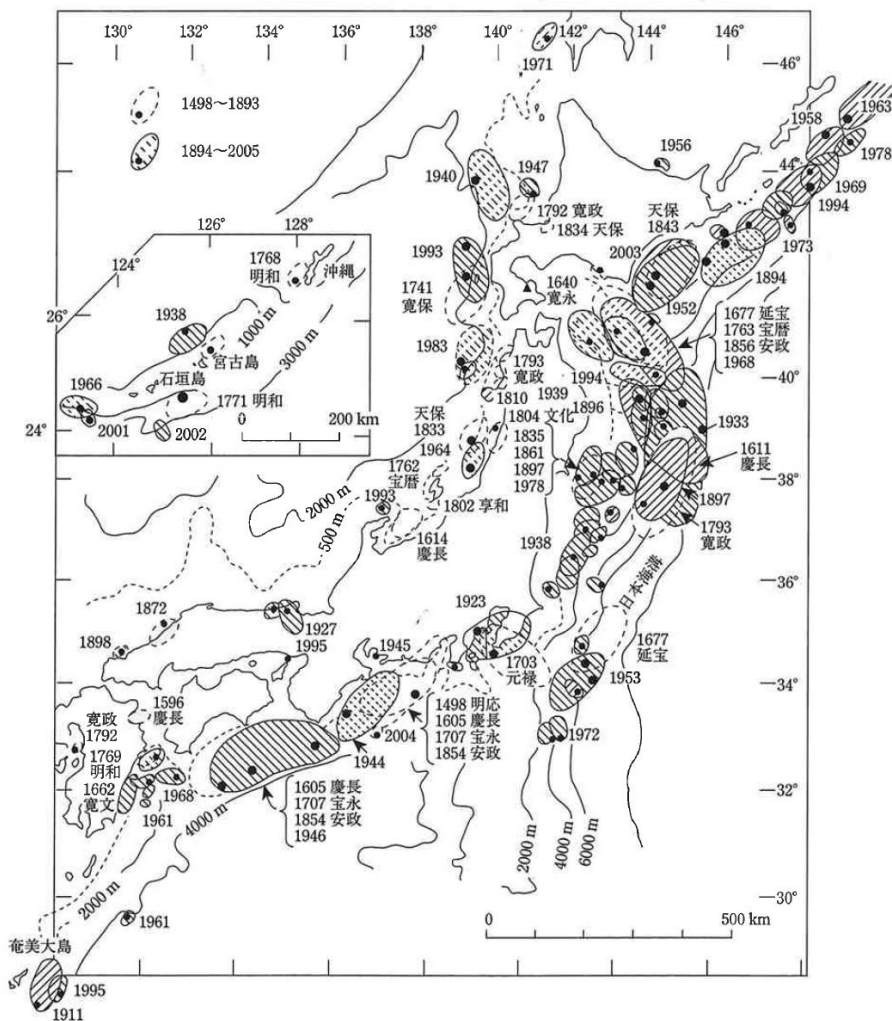


図 I. 3-1-1 日本近海において推定された津波の断層位置分布(1498~2005年)<sup>6</sup>

### ③ 過去の地震・津波の地震タイプごとの特徴

過去の被害地震・津波は、発生メカニズムの違いによって図 I.3-1-2 に示す3タイプに分類できるため、以降にそれぞれについてその特徴を示す。

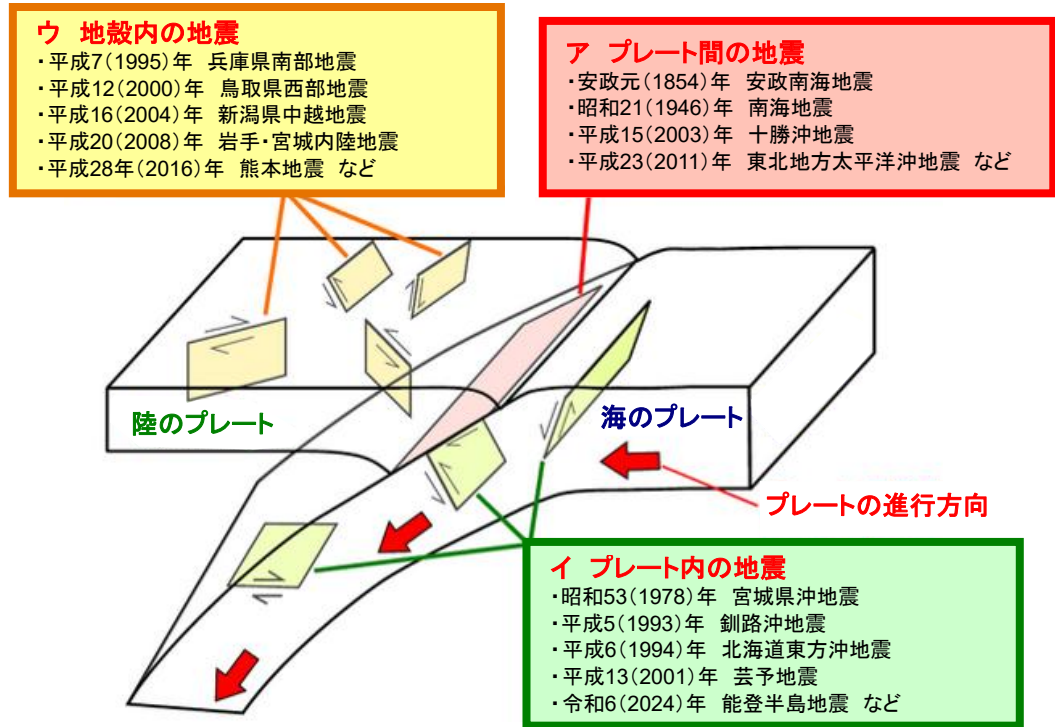


図 I.3-1-2 地震発生のメカニズムと地震タイプ<sup>7</sup>

## ア 海溝型地震(プレート間地震)

日本列島の太平洋岸のプレート境界で発生する地震で、「海溝型地震」とも呼ばれる。規模の大きなプレート間地震は、発生から次の地震の発生までの活動間隔が数十年～数百年と比較的短く、発生源が海底下の浅いところにあるため津波を伴う場合もある。山口県に影響を及ぼすこのタイプの地震として、南海トラフの地震が挙げられる。

### <南海トラフの地震>

南海トラフにおけるプレート間地震は、発生間隔が 100～150 年で繰り返されており、内閣府 (2011)<sup>8</sup>の資料では、東海、東南海、南海に区分し、南海トラフ沿いで発生が知られているプレート間地震として紹介されている。

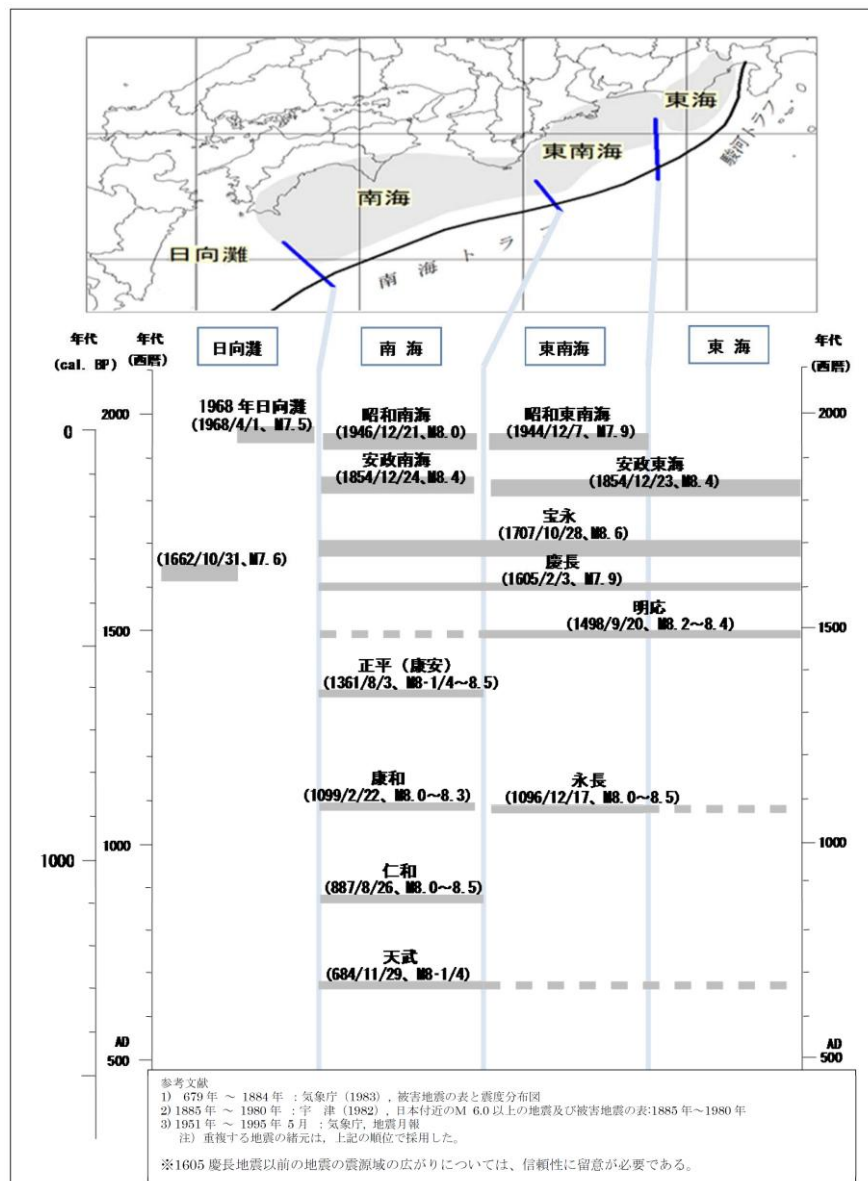


図 I. 3-1-3 南海トラフ沿いで発生が知られているプレート間地震<sup>8</sup>

＜日本海東縁部の地震＞

日本海東縁部で発生する地震は、主としてプレート相対運動に伴う東西方向からの圧縮力を受けて発生する。日本付近の太平洋沿岸では、海溝からプレートが沈み込むことによって明瞭なプレート境界が存在し、主にこのプレート境界で、圧縮力によるひずみを解消すると考えるが、日本海東縁部では、プレート境界が南北方向に分布する何条かの断層・褶曲帯より成り、幅をもった領域全体で圧縮によるひずみを解消するものと考えられている。

過去、山口県に影響を及ぼしたこのタイプの地震として、1983年日本海中部地震、1993年北海道南西沖地震が挙げられる。

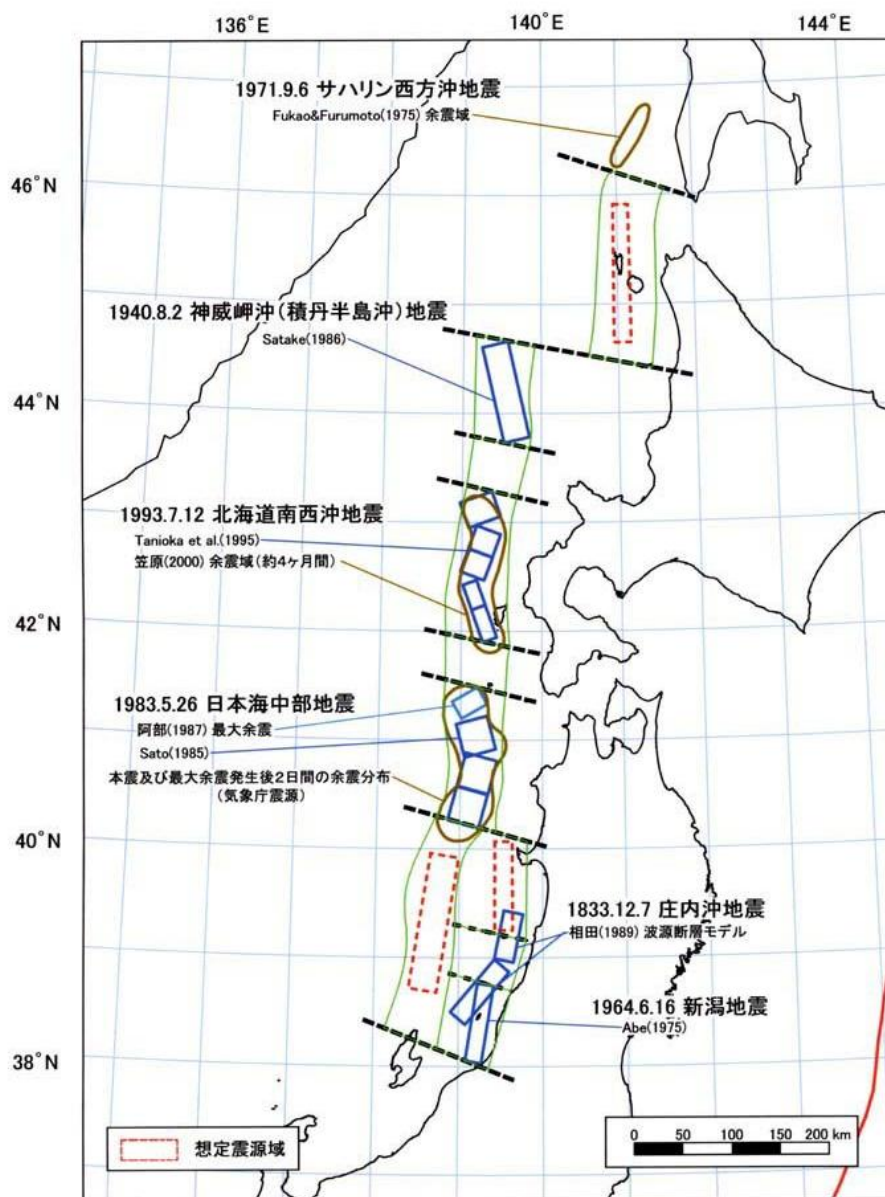


図 I. 3-1-4 日本海東縁部の過去の地震の想定震源域<sup>9</sup>

## イ スラブ内（プレート内）地震

海洋プレートの内部で発生する地震で、「プレート内地震」とも呼ばれ、海側プレートが陸側のプレートの下に沈み込んでいる部分（スラブ）のうち、深部が破壊されることにより発生する。

過去山口県に影響を及ぼしたこのタイプの地震として、2001年芸予地震等の海域周辺で発生した地震等が挙げられる。しかし、この地震の震源の深さは40～50kmと想定されるため、津波の発生は考えにくい。

## ウ 活断層型地震（内陸（地殻内）地震）

内陸部の比較的浅い地殻に生じる、いわゆる直下型の地震で、「活断層型地震」とも呼ばれる。プレート運動によって生じる圧縮力によって蓄積されたひずみエネルギーを解放するために、陸域浅部で断層運動を生じるもので、プレート間地震に比べて規模は小さく地震の大きさは通常M7クラス止まりである。また、ひずみの蓄積するスピードもプレート間地震に比べてはるかに遅いため、特定断層における地震の繰返し周期は数千年から数万年と言われている。

過去山口県に津波に伴う影響を及ぼしたこのタイプの地震として、1872年浜田地震、1898年見島の地震が挙げられる。

地震を起こす活断層の全てが明らかになってはいないが、山口県に影響を及ぼす活断層には、国の地震調査研究推進本部が大きな被害をもたらす可能性が高い活断層として、地震発生確率値を含む長期評価を行っている図I.3-1-5に示す「主要活断層」に含まれる『岩国断層帯』、『菊川断層帯』、『中央構造線断層帯』、『周防灘断層帯主部』、『弥栄断層』がある。また、平成8年度～平成15年度に山口県震災対策専門部会が独自に調査した結果、『大原湖断層系』を構成する活断層の存在が明らかにされた。これらの地震は、ひとたび発生すれば、局地的な激震となる。

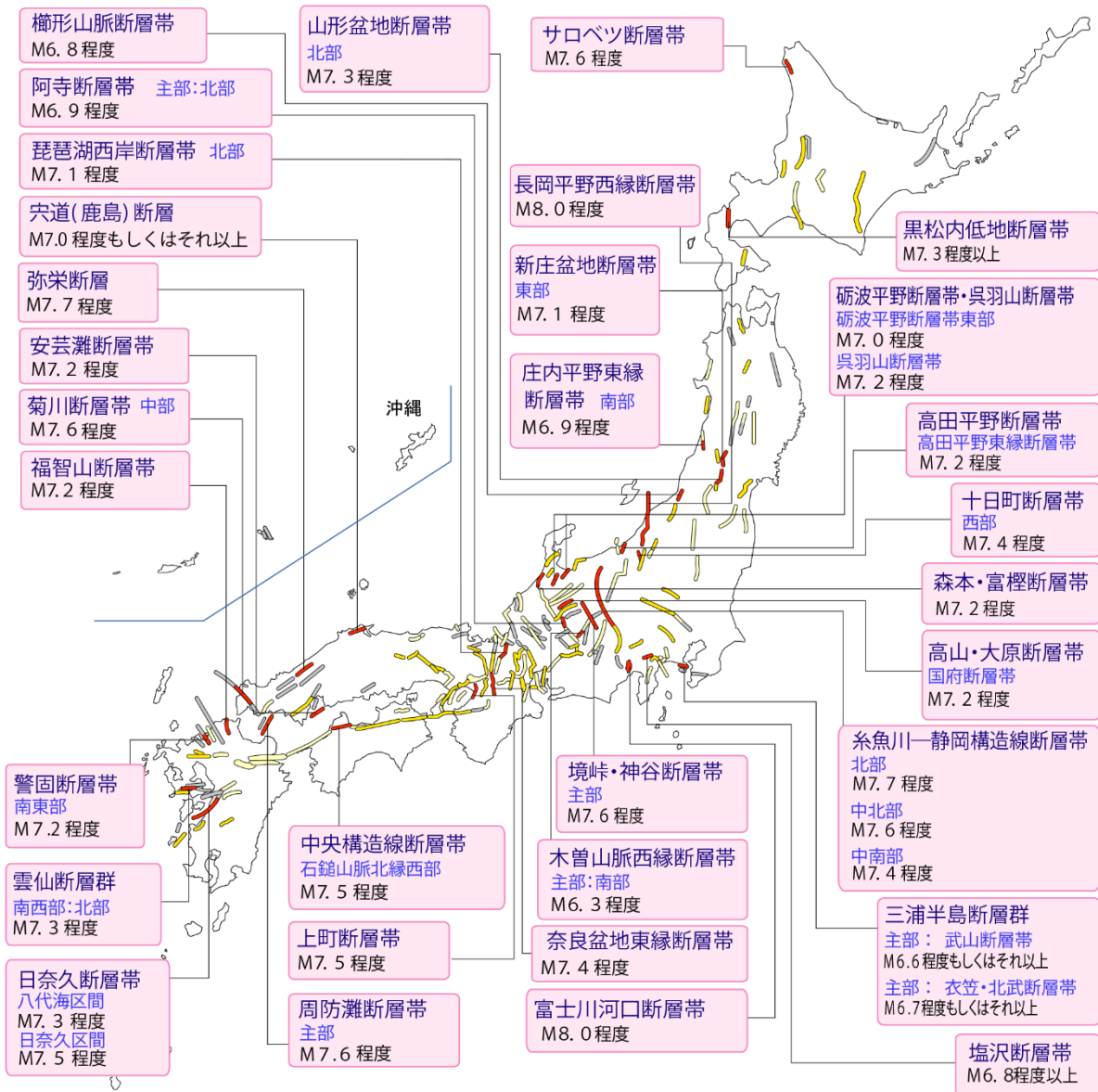
凡例：  
— Sランク(高い)：30年以内の地震発生確率が3%以上  
— Aランク(やや高い)：30年以内の地震発生確率が0.1~3%未満  
— Zランク：30年以内の地震発生確率が0.1%未満  
 (Zランクでも、活断層が存在すること自体、当該地域で大きな地震が発生する可能性を示す。)  
— Xランク：地震発生確率が不明(過去の地震のデータが少ないため、確率の評価が困難)

Sランクの活動区間を含む断層帯に吹き出しを付けた。

中央構造線断層帯 — 断層帯の名称  
 石鎚山脈北縁西部 — 活動区間  
 M7.5 程度 — 地震規模(マグニチュード)

・ひとつの断層帯のうち、活動区間によってランクが異なる場合がある。  
 Sランク、Aランク、Zランク、Xランクのいずれも、すぐに地震が起こることが否定できない。  
 また、確率値が低いように見えても、決して地震が発生しないことを意味するものではない。  
 ・新たな知見が得られた場合には、地震発生確率の値は変わることがある。

ランクの算定基準日は2026年1月1日



○ ランク分けに関わらず、日本ではどの場所においても、地震による強い揺れに見舞われるおそれがあります。

図 I.3-1-5 主要活断層帯の概略位置図<sup>10</sup>

## (2) 想定地震・津波

### ① 想定地震・津波の設定方法

瀬戸内海において津波の発生が想定される地震として、プレート間地震である南海トラフ巨大地震に加え、プレート内地震や海域活断層地震等が想定される。

津波浸水想定を検討するにあたり、南海トラフ巨大地震に加えて、前回調査と同様、地震調査研究推進本部（文部科学省）が瀬戸内海で長期評価を行っている海域活断層の周防灘断層帯の地震を瀬戸内海沿岸で最大クラスの津波を発生させる地震として検討対象とした。



南海トラフ巨大地震



周防灘断層帯の地震

図 I.3-2-1 県内に影響を与える地震・津波断層位置

## ア 南海トラフ巨大地震

内閣府 (2025a) <sup>11</sup> では、最新の科学的知見をもとに、南海トラフ巨大地震の新たな想定震源断層域を図 I.3-2-2 のように設定している。

本調査においてもこの地震・津波断層を対象として設定した。

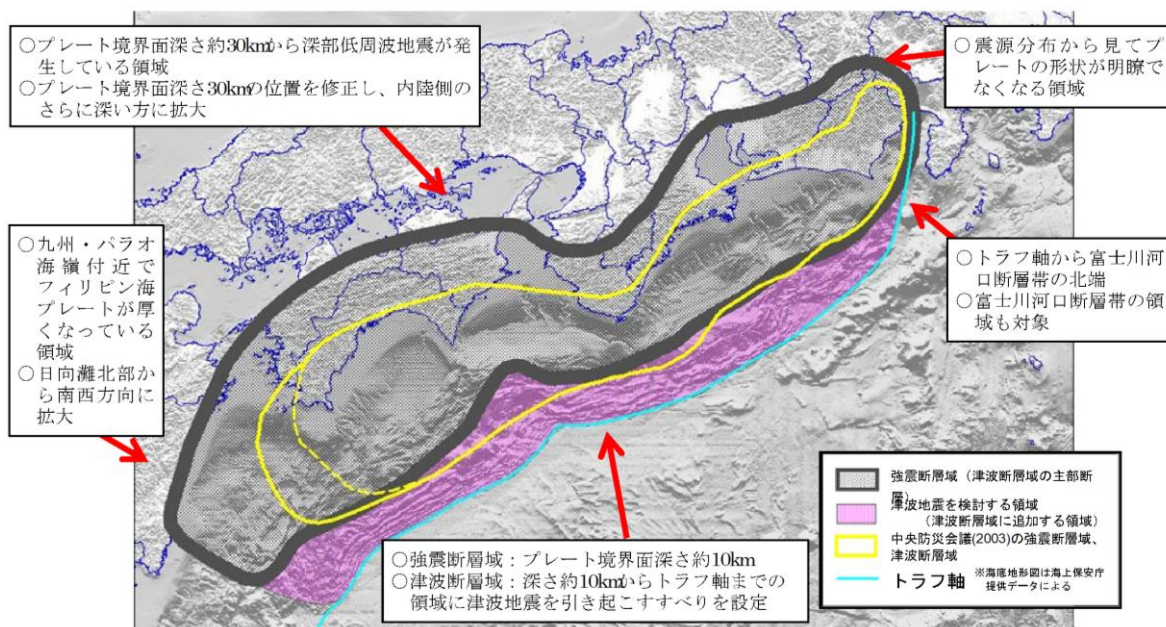


図 I.3-2-2 南海トラフ沿いで発生が知られているプレート間地震 <sup>11</sup>

また、断層モデルの設定ケースを表 I.3-2-1 のように設定した。

表 I.3-2-1 南海トラフ巨大地震・津波断層モデルの設定条件

津波断層モデル	強震断層モデル
津波を引き起こす断層のすべりは震源断層面に一様に発生するのではなく、特定の領域が大きくすべる(この領域を「大すべり域」及び「超大すべり域」という。)ことで大きな津波が発生する。そのため、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震や世界の巨大地震の特徴等を踏まえて、大すべり域と超大すべり域を11ケース設定した。	強い揺れ(強震動)を引き起こす地震波は、震源断層面に一様に発生するのではなく、特定の領域(強震動生成域)において発生する。そのため、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震や世界の巨大地震の特徴等を踏まえて、強震動生成域を4ケース設定した。さらに、これらを補完するため、経験的手法によるケースも設定した。

## イ 周防灘断層帯の地震

周防灘東部に分布する周防灘断層帯については、平成 28 年 7 月に地震調査研究推進本部の長期評価が公表された。平成 10、11、13、15 年度に海上保安庁によって行われた調査をはじめ、既往の調査研究成果に基づいて評価されている。

周防灘断層帯主部は、山口県防府市の南方沖から大分県の国東半島北西沖に至る断層帯で、長さ約 44km、概ね北北東-南南西方向に延び、右横ずれを主体とし、北西側隆起の成分を伴う断層とされている。

秋穂沖断層区間は、山口県防府市の南西沖に分布する活動区間で、長さ約 23km、概ね北東-南西方向に延び、右横ずれを主体とし、北西側隆起の成分を伴う断層とされている。

断層の主な特性を表 I.3-2-2 に示す。

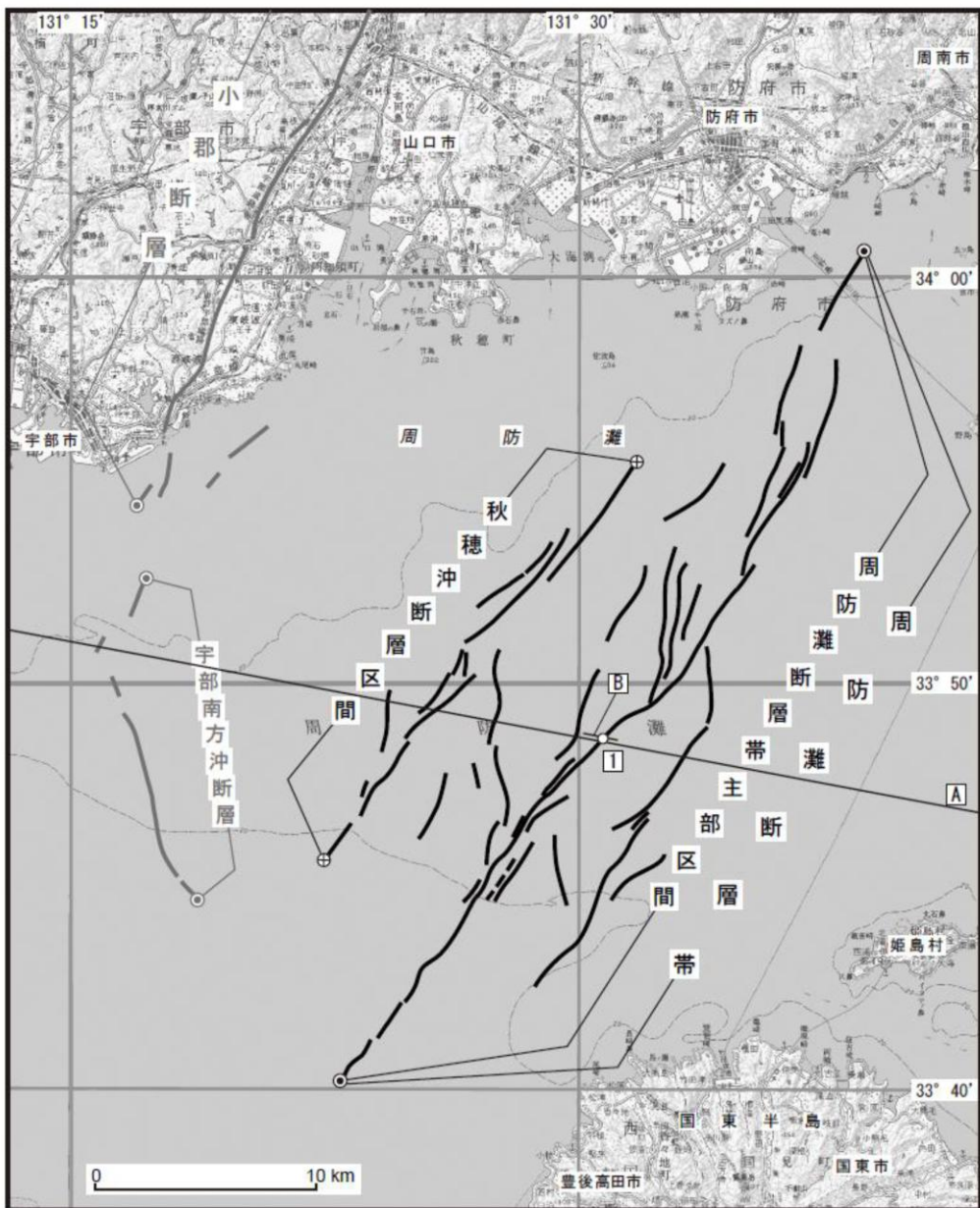


図 I.3-2-3 周防灘断層帯の評価において考慮した断層<sup>12</sup>

表 I. 3-2-2 (1) 周防灘断層帯の特性<sup>12</sup>

項目	特性	信頼度 (注3)	根拠 (注4)
1. 断層帯の位置・形態			
(1)断層帯を構成する断層	<p>(周防灘断層帯主部区間) 山口県防府市の南方沖から大分県の国東半島北西沖にかけて分布する断層（海上保安庁水路部（2000）による F.3 断層、F.9 断層、F.15 断層など）</p> <p>(秋穂（あいお）沖断層区間) 山口県防府市の南西沖に分布する断層（海上保安庁水路部（2000）による F.5 断層、F.6 断層、F.18 断層、海上保安庁水路部（1999）による F.7 断層など）</p>		文献3、4による。
(2)断層帯の位置・形状	<p>地表（海底）における断層帯の位置・形状</p> <p>断層帯の位置 (全体) 北東端：北緯 34° 00.6′ 東経 131° 38.4′ 南西端：北緯 33° 40.2′ 東経 131° 22.9′ 長さ 約 44 km 一般走向 N30° E</p> <p>(周防灘断層帯主部区間) 北東端：北緯 34° 00.6′ 東経 131° 38.4′ 南西端：北緯 33° 40.2′ 東経 131° 22.9′ 長さ 約 44 km 一般走向 N30° E</p> <p>(秋穂沖断層区間) 北東端：北緯 33° 55.5′ 東経 131° 31.7′ 南西端：北緯 33° 45.6′ 東経 131° 22.4′ 長さ 約 23 km 一般走向 N38° E</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>文献3、4による。位置及び長さは図2から計測。</p> <p>一般走向は断層帯の両端を結んだ方向（図2参照）。</p>
	<p>地下における断層面の位置・形状</p> <p>(周防灘断層帯主部区間) 長さ及び上端の位置 地表（海底）での長さ・位置と同じ 上端の深さ：0 km 傾斜：高角度 幅：不明</p> <p>(秋穂沖断層区間) 長さ及び上端の位置 地表（海底）での長さ・位置と同じ 上端の深さ：0 km 傾斜：高角度 幅：不明</p>	<p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p>	<p>文献3、4による。</p> <p>文献2に示された音波探査断面から推定。 地震発生層の下限の深さは15-20 km程度。</p>
(3)断層のずれの向きと種類	<p>(周防灘断層帯主部区間) 右横ずれ断層（北西側隆起を伴う）</p> <p>(秋穂沖断層区間) 右横ずれ断層（北西側隆起を伴う）</p>	<p>△</p> <p>△</p>	<p>文献2、4、5の記述及び周辺の地質構造などから推定。</p>

表 I. 3-2-2 (2) 周防灘断層帯の特性<sup>12</sup>

2. 断層帯の過去の活動			
(1) 平均的なずれの速度	(周防灘断層帯主部区間) 概ね 0.2 m/千年 (上下成分)	△	文献 4 に示された地層のずれの量から推定。
	(秋穂沖断層区間) 概ね 0.1 m/千年 (上下成分)	△	
(2) 過去の活動時期	(周防灘断層帯主部区間) 活動 1 (最新活動) 約 1 万 1 千年前以後、約 1 万年前以前	○	文献 5 による。
	(秋穂沖断層区間) 不明		
(3) 1 回のずれの量と平均活動間隔	(周防灘断層帯主部区間) 1 回のずれの量 1 - 2m 程度 (上下成分)	△	断層の長さから推定。  断層の長さから推定。  平均的なずれの速度と 1 回のずれの量 (上下成分) から推定。  断層の長さから推定。
	4m 程度 (右横ずれ成分) 平均活動間隔 概ね 5 千 8 百 - 7 千 5 百年	△	
	(秋穂沖断層区間) 1 回のずれの量 2m 程度 (右横ずれ成分) 平均活動間隔 不明	△	
		△	
(4) 過去の活動区間	(周防灘断層帯主部区間) 全体で 1 区間	△	断層帯の位置関係・形状等から推定。
	(秋穂沖断層区間) 全体で 1 区間	△	
3. 断層帯の将来の活動			
(1) 将来の活動区間及び活動時の地震の規模	(周防灘断層帯主部区間) 地震の規模: M7.6 程度 ずれの量: 4m 程度 (右横ずれ成分)	△	断層帯の位置関係・形状等から推定。 断層の長さから推定。 断層の長さから推定。  断層の長さから推定。 断層の長さから推定。
	(秋穂沖断層区間) 地震の規模: M7.1 程度 ずれの量: 2m 程度 (右横ずれ成分)	△	
		△	
		△	

## ② 南海トラフ巨大地震の断層モデル設定結果

### ア 津波断層モデル

内閣府（2025a）<sup>11</sup>で設定されている表 I. 3-2-3 に示す 11 ケースの断層モデルのうち、山口県の瀬戸内海沿岸へ与える影響が大きいケース①、ケース②、ケース⑤、ケース⑩、ケース⑪の 5 ケースを選定した。

表 I. 3-2-3 南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会の検討ケース

ケース区分	ケース番号	大すべり域+超大すべり域、(分岐断層)
基本的な検討ケース	ケース①	駿河湾～紀伊半島沖
	ケース②	紀伊半島沖
	ケース③	紀伊半島沖～四国沖
	ケース④	四国沖
	ケース⑤	四国沖～九州沖
その他派生的な検討ケース	ケース⑥	駿河湾～紀伊半島沖、(駿河湾～紀伊半島沖)
	ケース⑦	紀伊半島沖、(紀伊半島沖)
大すべり域、超大すべり域が2箇所のパターン	ケース⑧	駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖
	ケース⑨	愛知県沖～三重県沖、室戸岬沖
	ケース⑩	三重県南部沖～徳島県沖、足摺岬沖
	ケース⑪	室戸岬沖、日向灘

対象津波①	南海トラフ巨大地震による津波ケース1 モーメントマグチュード 9.1	<p>使用モデル：ケース① 「駿河湾～紀伊半島沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定</p>
対象津波②	南海トラフ巨大地震による津波ケース2 モーメントマグチュード 9.1	<p>使用モデル：ケース② 「紀伊半島沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定</p>
対象津波③	南海トラフ巨大地震による津波ケース5 モーメントマグチュード 9.1	<p>使用モデル：ケース⑤ 「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定</p>
対象津波④	南海トラフ巨大地震による津波ケース10 モーメントマグチュード 9.1	<p>使用モデル：ケース⑩「三重県南部沖～徳島県沖」と「足摺岬沖」に「大すべり域+超大すべり域」を2箇所設定</p>
対象津波⑤	南海トラフ巨大地震による津波ケース11 モーメントマグチュード 9.1	<p>使用モデル：ケース⑪ 「室戸岬沖」と「日向灘」に「大すべり域+超大すべり域」を2箇所設定</p>

図 I.3-2-4 南海トラフ巨大地震の津波断層モデル位置

## イ 強震断層モデル

内閣府(2025a)<sup>11</sup>では、震度の推定法として表 I.3-2-4 に示す統計的グリーン関数法と経験的手法(距離減衰式)を用いる5ケースの強震断層モデルを設定している。このうち、山口県内へ与える影響が大きい「統計的グリーン関数法の陸側ケース」を強震断層モデルに設定した。

表 I.3-2-4 強震断層モデル(南海トラフ巨大地震)

強震断層モデル		モデル設定の考え方
統計的 グリーン 関数法	基本ケース	中央防災会議による東海地震、東南海・南海地震の検討結果を参考に設定したもの
	東側ケース	基本ケースの強震動生成域を、やや東側の場所に設定したもの
	西側ケース	基本ケースの強震動生成域を、やや西側の場所に設定したもの
	陸側ケース	基本ケースの強震動生成域を、可能性のある範囲で最も陸域側の場所に設定したもの
経験的手法(距離減衰式)		震源からの距離に従い地震の揺れの強さがどの程度減衰するかを経験的に示す推定手法



図 I.3-2-5 強震断層モデル位置

### ③ 周防灘断層帯主部の地震の断層モデル設定結果

#### ア 津波断層モデル

津波断層モデルの設定については、すべり角、すべり量の設定方法の考え方について比較検討し、最終的に地震調査研究推進本部の長期評価のモデルをもとに、表 I.3-2-5、表 I.3-2-6、図 I.3-2-6 に示す周防灘断層帯（縦ずれのみ）及び周防灘断層帯（横ずれあり）の断層モデルを採用した。

表 I.3-2-5 津波断層モデルの断層パラメータ（周防灘断層帯 縦ずれのみ）

項目		山口県	地震調査研究推進本部「長期評価」	備考
地震の規模M		7.6	活動区間 全体で1区間 地震の規模 M7.6程度 ずれの量 1-2m程度（上下成分） 4m程度（右横ずれ成分）	前回想定と同じ。「長期評価」通り。
断層の位置	緯度 (°)	34.01	(北東端) 北緯34° 00.6′ (南西端) 北緯33° 40.2′	「長期評価」の北東端を原点とした。
	経度 (°)	131.64	(北東端) 東経131° 38.4′ (南西端) 東経131° 22.9′	「長期評価」の北東端を原点とした。
断層の大きさ	上端深さ d(km)	0	0km	前回想定と同じ。「長期評価」通り。
	長さ L(km)	44	約44km	前回想定と同じ。「長期評価」通り。
	幅 W(km)	15.963	不明	地震発生層の厚さを15kmとする（「原子力発電所の津波評価技術(2002)」、および、前回想定津波報告書より）。したがって、断層の幅は15km/sin(傾斜角)より設定。
	すべり量 D(m)	1.80	平均的なずれの速度 0.23m/千年、0.24/千年（上下成分） 過去の活動時期 活動1（最新活動） 約1万1千年前以後、約1万年前以前 1回のずれの量と平均活動時間 1回のずれの量 ・1-2m 程度（上下成分） ・4m程度（右横ずれ成分） 平均活動間隔 ・概ね5千8百-7千5百年	「長期評価」の平均的なずれの速度と平均活動間隔から上限すべり量を算出。 0.24(m/千年)×7千5百年=1.8(m) (前回想定時点の「長期評価」の記載内容からに変更がないため前回想定と同じ。)
断層の方向	走行 $\theta$ (°)	210	N30° E	前回想定と同じ。「長期評価」通り。
	傾斜角 $\delta$ (°)	70	高角度	J-SHISの震源パラメータより設定。
	すべり角 $\lambda$ (°)	90	断層のずれの向きと種類 右横ずれ断層（北西側隆起を伴う）	前回想定と同様に、横ずれに伴う縦ずれ（上限すべり量）成分のみを評価し、すべり角 $\lambda$ は便宜上90°として設定。

表 I. 3-2-6 津波断層モデルの断層パラメータ (周防灘断層帯 横ずれあり)

項目		山口県	地震調査研究推進本部「長期評価」	備考
地震の規模M		7.6	活動区間 全体で1区間 地震の規模 M7.6程度 ずれの量 1-2m程度(上下成分) 4m程度(右横ずれ成分)	前回想定と同じ。「長期評価」通り。
断層の位置	緯度 (°)	34.01	(北東端) 北緯34° 00.6' (南西端) 北緯33° 40.2'	「長期評価」の北東端を原点とした。
	経度 (°)	131.64	(北東端) 東経131° 38.4' (南西端) 東経131° 22.9'	「長期評価」の北東端を原点とした。
断層の大きさ	上端深さ d(km)	0	0km	前回想定と同じ。「長期評価」通り。
	長さ L(km)	44	約44km	前回想定と同じ。「長期評価」通り。
	幅 W(km)	15.963	不明	地震発生層の厚さを15kmとする(「原子力発電所の津波評価技術(2002)」および、前回想定津波報告書より)。したがって、断層の幅は15km/sin(傾斜角)より設定。
	すべり量 D(m)	3.44	平均的なずれの速度 0.23m/千年、0.24/千年(上下成分) 過去の活動時期 活動1(最新活動) 約1万1千年前以後、約1万年前以前 1回のずれの量と平均活動時間 1回のずれの量 ・1-2m程度(上下成分) ・4m程度(右横ずれ成分) 平均活動間隔 ・概ね5千8百-7千5百年	「原子力発電所の津波評価技術(2002)」の「本編参考資料4基準断層モデルの設定方法-海域活断層-」に従って設定。 ・kanamori(1977)によるモーメントマグニチュード $\log M_0(N \cdot m) = 1.5M_w + 9.1$ ・地震モーメントの定義 $M_0 = \mu LDW$ ・剛性率 $\mu = 3.5 \times 10^{10} (N/m^2)$ $D = M_0 / \mu LW$ (前回想定と同じ設定方法であるが、傾斜角が異なるため数値は変更となった。)
断層の方向	走行 $\theta$ (°)	210	N30° E	前回想定と同じ。「長期評価」通り。
	傾斜角 $\delta$ (°)	70	高角度	J-SHISの震源パラメータより設定。
	すべり角 $\lambda$ (°)	155	断層のずれの向きと種類 右横ずれ断層(北西側隆起を伴う)	「長期評価」記載の右横ずれ量4.4m(松田式(1980))、最新活動時における上下変位量の読取値1.8mを用いて設定。

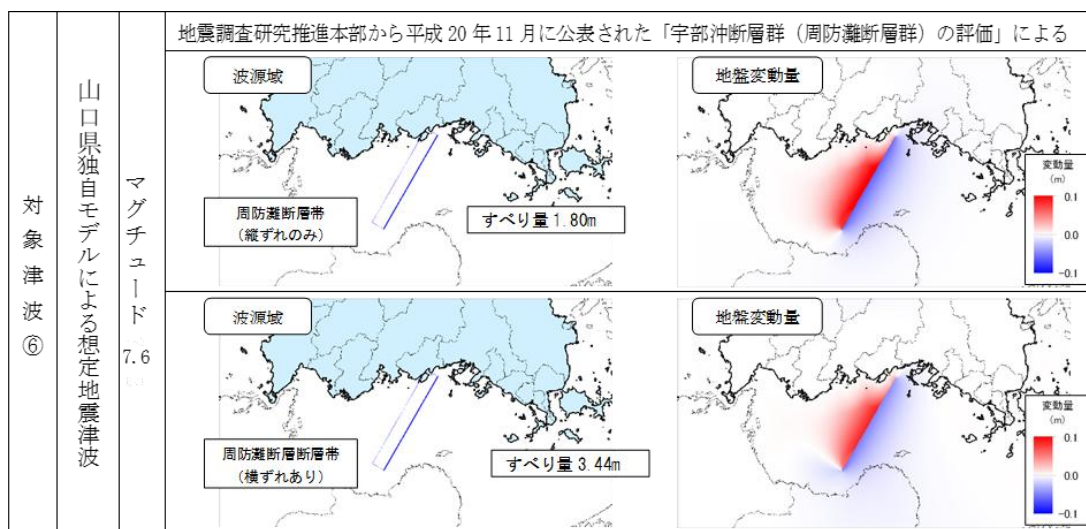


図 I. 3-2-6 周防灘断層帯の地震の津波断層モデル

## イ 強震断層モデル

地震調査研究推進本部の長期評価によると、周防灘断層帯は周防灘断層帯主部区間と秋穂沖断層帯区間に2区分されている。同評価によると、それぞれが1つの区間として活動してきた可能性があると考えられていることから、本調査では、2区間が同時に破壊する連動は考慮しないものとした。

地震調査研究推進本部(2020)<sup>13</sup>では、震源断層を特定した地震動予測地図として周防灘断層帯の強震動予測のための断層モデルのパラメータが示されている。本調査では、この想定断層パラメータを採用した。

本調査では、J-SHISが公開している250mメッシュの震度分布を用いて、震度5強以上の暴露人口を算定し、暴露人口が最大となる周防灘断層帯主部区間Case-2を対象として被害想定を実施した。

周防灘断層帯主部の想定断層パラメータの諸元及び断層モデルを表I.3-2-7及び図I.3-2-7に示す。

表 I.3-2-7(1) 想定断層の諸元①

巨視的震源パラメータ	「長期評価」または設定方法	設定値
断層長さ $L$ [km]	「約44km」	44
地震規模 $M$	$M = \{\log(L) + 2.9\} / 0.6$	7.6
地震モーメント $M_0$ [Nm]	$\log M_0 = 1.17 \cdot M + 10.72$	3.80E+19
モーメントマグニチュード $M_w$	$M_w = \{\log(M_0) - 9.1\} / 1.5$	7.0
断層モデル原点(地中) [°N]	地中における端	34.019
断層モデル原点(地中) [°E]		131.673
走向 $\theta$ [度]	長期評価の端点を結んだ方向	212.4
傾斜角 $\delta$ [度]	長期評価に基づく	70
すべり角 $\lambda$ [度]	「右横ずれ断層」	180
地震発生層上限深さ $H_s$ [km]	地震基盤と2kmの深い方	2
地震発生層下限深さ $H_d$ [km]	長期評価に基づく	20
断層モデル上端深さ $D_{top}$ [km]	$D_{top} = H_s$	2
断層モデル長さ $L_{model}$ [km]	「レシピ」の(イ)の手順に従う	46
断層モデル幅 $W_{model}$ [km]	「レシピ」の(イ)の手順に従う	18
断層モデル面積 $S_{model}$ [km <sup>2</sup> ]	$S_{model} = L_{model} \times W_{model}$	828
静的平均応力降下量 $\Delta\sigma$ [MPa]	$\Delta\sigma = 7/16 \cdot (M_0 / R^3), R = (S_{model} / \pi)^{1/2}$	3.9
平均滑り量 $D$ [m]	$D = M_0 / (\mu \cdot S_{model})$	1.5

表 I. 3-2-7(2) 想定断層の諸元②

微視的震源パラメータ		設定方法	ケース1~4
短周期レベル	レベル $A$ [Nm/s <sup>2</sup> ]	$A = 2.46 \times 10^{10} \times (M_0 \times 10^7)^{1/3}$	1.78E+19
全アスペリティ	面積 $S_a$ [km <sup>2</sup> ]	$S_a = \pi r^2, r = (7\pi/4) \cdot \{M_0 / (A \cdot R)\} \cdot \beta^2$	218.9
	実効応力 $\sigma_a$ [MPa]	$\sigma_a = \Delta\sigma_a = (S / S_a) \cdot \Delta\sigma$	14.7
	平均すべり量 $D_a$ [m]	$D_a = \gamma_D \cdot D, \gamma_D = 2.0$	2.9
	地震モーメント $M_{0a}$ [Nm]	$M_{0a} = \mu \cdot D_a \cdot S_a$	2.01E+19
アスペリティ1	面積 $S_{a1}$ [km <sup>2</sup> ]	$S_{a1} = S_a \cdot (2/3)$	146.0
	実効応力 $\sigma_{a1}$ [MPa]	$\sigma_{a1} = \sigma_a$	14.7
	平均すべり量 $D_{a1}$ [m]	$D_{a1} = (\gamma_1 / \sum \gamma_i^3) \cdot D_a$	3.3
	地震モーメント $M_{0a1}$ [Nm]	$M_{0a1} = \mu \cdot D_{a1} \cdot S_{a1}$	1.48.E+19
	計算用面積 $L_{a1} \times W_{a1}$ [km×km]	2kmメッシュサイズ	12 × 12
アスペリティ2	面積 $S_{a2}$ [km <sup>2</sup> ]	$S_{a2} = S_a \cdot (1/3)$	73.0
	実効応力 $\sigma_{a2}$ [MPa]	$\sigma_{a2} = \sigma_a$	14.7
	平均すべり量 $D_{a2}$ [m]	$D_{a2} = (\gamma_2 / \sum \gamma_i^3) \cdot D_a$	2.3
	地震モーメント $M_{0a2}$ [Nm]	$M_{0a2} = \mu \cdot D_{a2} \cdot S_{a2}$	5.25.E+18
	計算用面積 $L_{a2} \times W_{a2}$ [km×km]	2kmメッシュサイズ	10 × 8
背景領域	面積 $S_b$ [km <sup>2</sup> ]	$S_b = S_{\text{model}} - S_a$	609.1
	実効応力 $\sigma_b$ [MPa]	$\sigma_b = (D_b / W_b) \cdot (\pi^{1/2} / D_a) \cdot r \cdot \sum \gamma_i^3 \cdot \sigma_a$	2.8
	平均すべり量 $D_b$ [m]	$D_b = M_{0b} / (\mu \cdot S_b)$	0.9
	地震モーメント $M_{0b}$ [Nm]	$M_{0b} = M_0 - M_{0a}$	1.79E+19

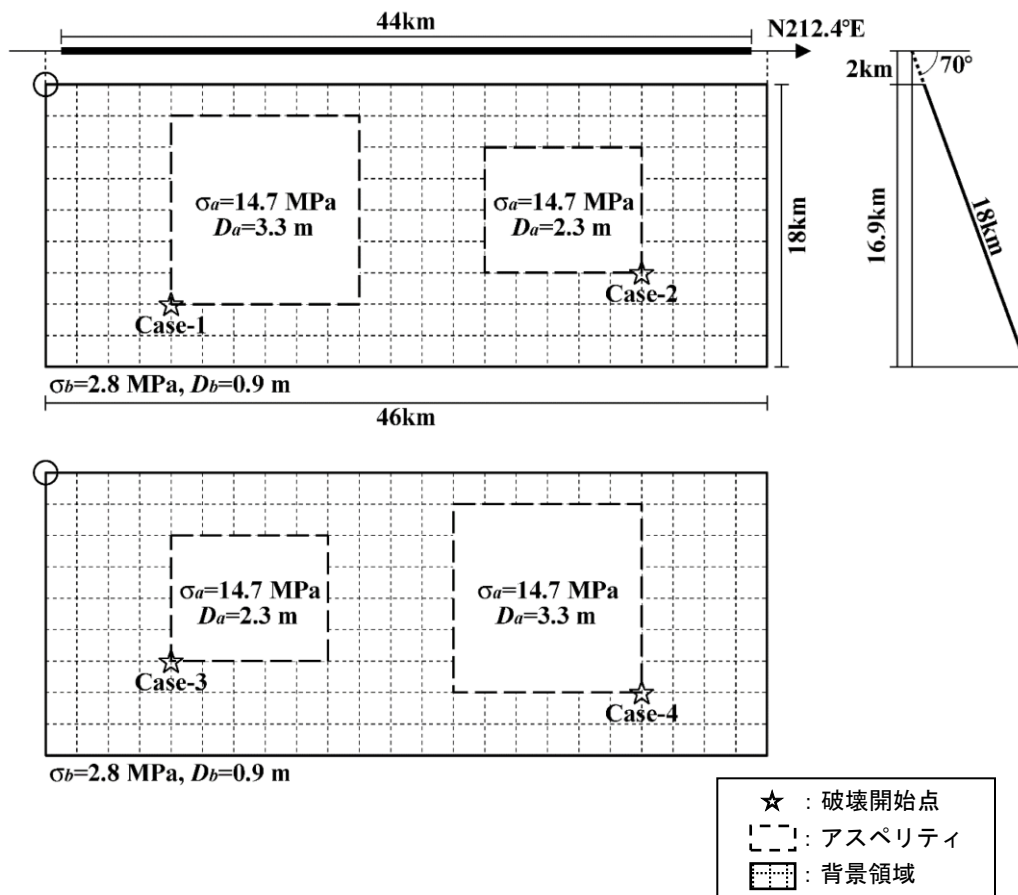


図 I. 3-2-7 断層モデル (周防灘断層帯主部)

### (3) 被害想定手法（前回調査からの主な変更点）

#### ① 検討方針

物的・人的被害想定は、前回調査を基本として、内閣府（2025b）<sup>14</sup>の内容を参考にしながら、項目や手法、被害関数（各種損壊率、人的被害率など）の見直しを行った。

#### ② 算定単位

算定単位は、250mメッシュ（人口集中地区（以下、「DID地区」という。）は125mメッシュ）で算定した。なお、項目によっては、個別（箇所別）等の単位で想定を行った。

#### ③ 想定結果出力単位

本調査では、県単位及び市町単位で被害を算出した。

なお、合併後の市域は広域化しており、海岸部と内陸部、山間部と平野部など、同一市町内でも災害リスクが異なる。そのため、地域特性に応じた防災・減災対策を検討できるよう、建物被害・人的被害・避難者・関連死者数の4項目については、県・市町単位に加え、平成の大合併前の旧市町村単位でも算定を行った。

#### ④ 想定シーン（特異日の追加）

##### ア 特異日の検討

前回調査では、内閣府（2012）<sup>15</sup>が示す基本3シーンの「冬・深夜」「夏・昼」「冬・夕方」を対象に被害想定を行った。

しかし、近年は平常時を想定した基本3シーンに該当しない災害も発生しており、令和6年能登半島地震では、帰省者が多く滞在する元日に地震が発生したことで、平常時より被災人口が増加した。このように、観光や帰省などによって滞留人口が多くなるシーンを「特異日」と位置づけ、これらを考慮した被害想定を行う必要がある。

本調査では、ソフトバンク株式会社の人流統計サービス「全国うごき統計」の2023年の滞在人口調査データ（以下、「人流データ」という。）が、国勢調査を上回る場合を「特異日」とし、その特異日の被害想定の要否について検討した。

## イ 検討結果

人流データと国勢調査の月別人口を比較した結果を図 I.3-3-1 に示す。1月の年始、5月の大型連休、8月の盆時期において人流データが国勢調査を上回った。

これらのうち、国勢調査との乖離が最も大きく、県内人口が最大となる8月を対象に、日别人流データから人口が最大となる日を抽出したところ、盆時期にあたる8月13日が最大となった。同日の20時時点の人口は1,392,314人であり、国勢調査の夜間人口1,337,116人を上回った。また、人流データの人口分布において、沿岸部の人口が集中する一部区域に浸水の可能性があることが確認できた。

以上のことから、本調査では、基本3シーンに「特異日」である「盆・夜」を含めた計4シーンで被害想定を行う。

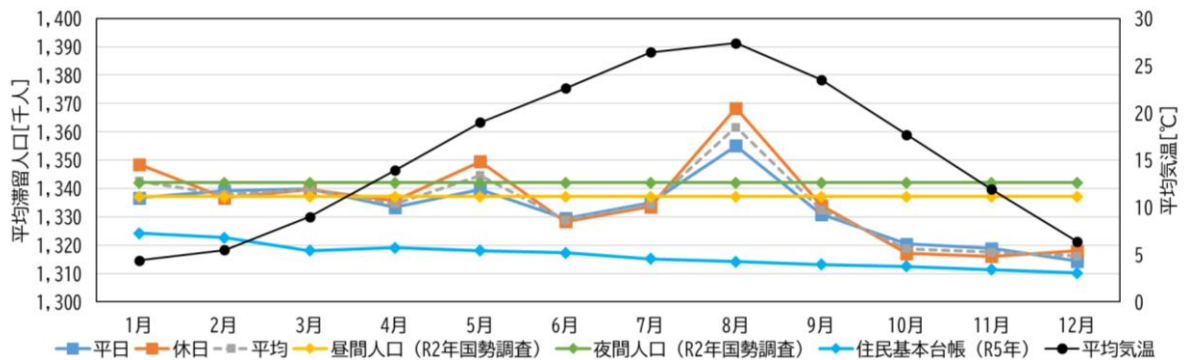


図 I.3-3-1 山口県における 2023 年月別人流データと国勢調査の平均滞留人口推移の比較

### ⑤ 地震火災による建物被害の算定

内閣府の被害想定及び山口県の気象状況を踏まえて、以下のとおり設定した。

表 I.3-3-1 風速の設定

風 速		備 考
平均風速	風速 3 m/s	平均風速+2 $\sigma$ : 風速 2.97m/s ※
最大風速	風速 8 m/s	最大風速+2 $\sigma$ : 風速 7.86m/s ※
	風速 15 m/s	関東大震災時

※山口県の 2023 年 1 月～2024 年 1 月の風速

### ⑥ 浸水想定における河川遡上の対象河川

前回調査では、浸水想定において河川遡上を考慮する河川は、河川幅が 30m 以上、平水流量時の等流水深が 10cm 以上となる 13 河川を対象としていたが、河川幅が 30m 以下の中小河川においても河川遡上による浸水被害の可能性はある。

本調査では、河口幅 15m 以上の 125 河川のうち、浸水被害への影響が大きいと想定される 31 河川（前回調査の 13 河川を含む）を選定し、浸水想定を行った。

対象河川の選定経緯・方法の詳細については、「第Ⅲ編 手法編」に記載する。

なお、今回対象とした 31 河川以外においても河川遡上が発生し、河川からの浸水が発生する可能性があることに留意する必要がある。

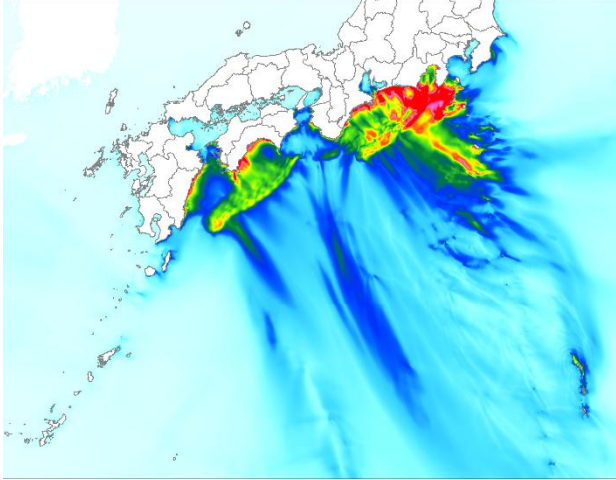
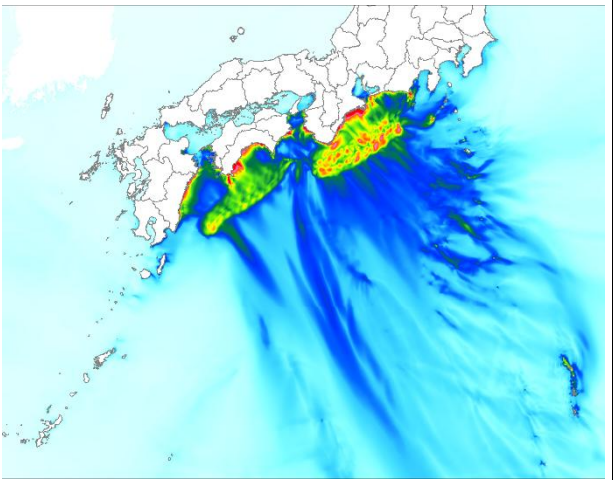
#### 4. 瀬戸内海の津波浸水想定

##### (1) 最大水位分布

瀬戸内海側で想定する南海トラフ巨大地震のケース①、②、⑤、⑩、⑪の 5 ケースと周防灘断層帯による地震に伴う津波について、想定断層ごとに海域の最大水位分布図を以下に示す。

##### ① 南海トラフ巨大地震



<p>ケース① 「駿河湾～紀伊半島沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定</p>	<p>ケース② 「紀伊半島沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定</p>
	
<p>ケース⑤ 「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定</p>	<p>ケース⑩ 「三重県南部沖～徳島県沖」と「足摺岬沖」に「大すべり域+超大すべり域」を 2 箇所設定</p>

ケース⑩ 「室戸岬沖」と「日向灘」に「大すべり域  
+ 超大すべり域」を2箇所設定

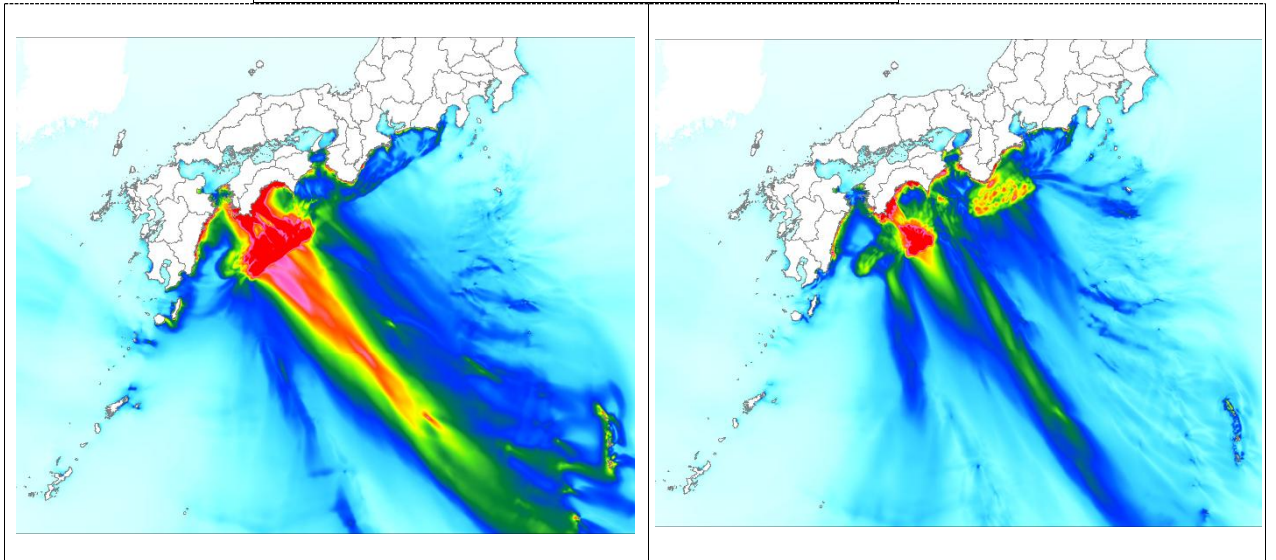
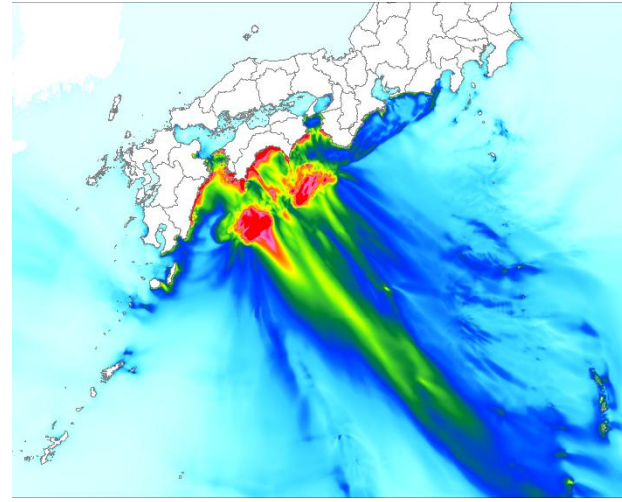


図 I.4-1-1 最大水位分布（南海トラフ巨大地震）（1）



図 I . 4-1-2 最大水位分布（南海トラフ巨大地震）（2）

② 周防灘断層帯による地震

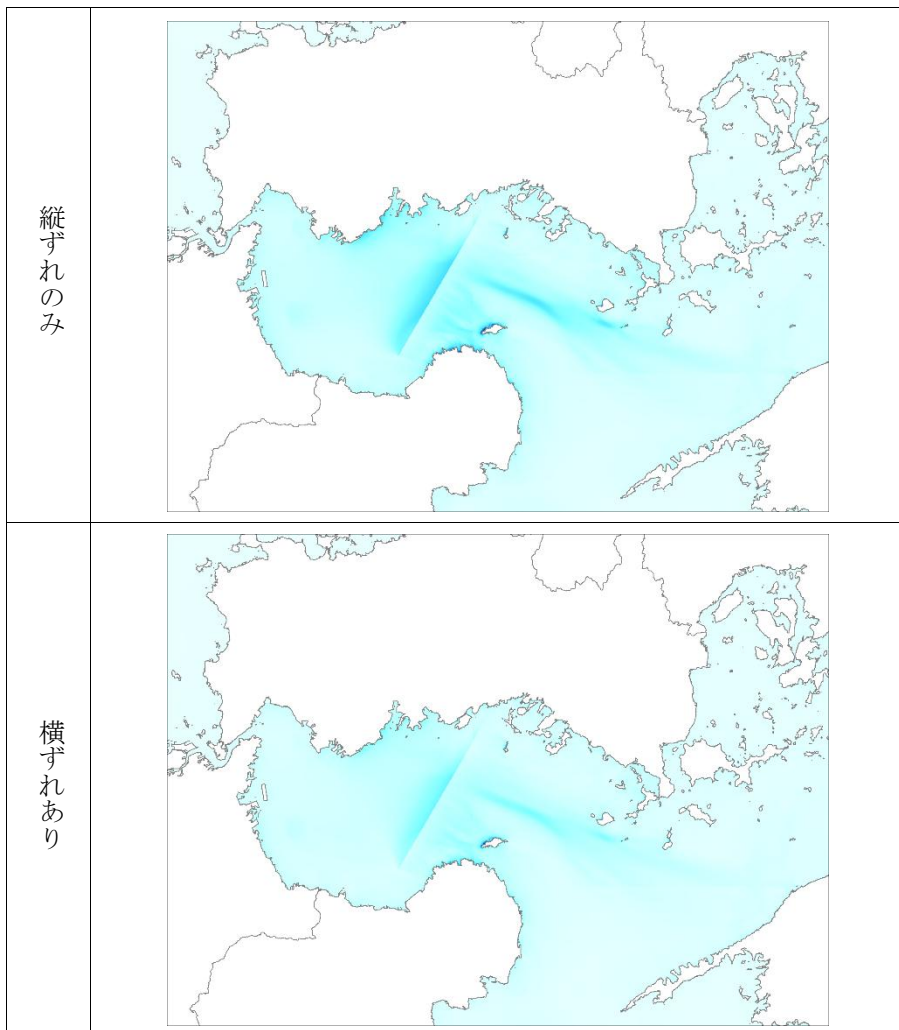


図 I . 4-1-3 最大水位分布（周防灘断層帯による地震）

(2) 最高津波水位・最高津波水位到達時間、海面変動影響開始時間

主要な港湾・漁港での最高津波水位、最高津波水位到達時間、地震後の海面に+30cm (被害想定において海辺にいる人の中に死者が発生する恐れのある水位の変化) 及び +1m (被害想定において海辺にいる人の100%が死亡する恐れのある水位の変化) の変動が生じる時間の海面変動影響開始時間を以下に示す。なお、南海トラフ巨大地震及び周防灘断層帯主部のいずれにおいても、最高水位が最大及び時間が最短となる断層モデルの結果を示す。

表 I.4-2-1 主要な港湾・漁港の最高津波水位・最高津波水位到達時間、海面変動影響開始時間

市町	代表地点名	南海トラフ巨大地震				周防灘断層帯主部				【参考】 内閣府 (R7.3) 最大 津波高 (m)		
		最高津波水位 (m)	うち 津波波高 (m)	最高津波 水位到達 時間 (分)	海面変動 +30cm 時間 (分)	海面変動 +1m 時間 (分)	最高津波水位 (m)	うち 津波波高 (m)	最高津波 水位到達 時間 (分)		海面変動 +30cm 時間 (分)	海面変動 +1m 時間 (分)
下関市	下関漁港	1.5	0.4	642	425	-	1.2	0.1	97	-	-	5
	下関港(岬之町)	2.4	1.3	254	220	240	1.4	0.3	66	-	-	
	下関港(長府)	3.5	1.7	249	210	225	2.3	0.5	60	55	-	
宇部市	宇部港	2.8	1.0	387	204	-	2.6	0.8	36	26	-	4
	丸尾港	2.9	1.3	314	135	155	2.6	1.0	25	15	-	
山口市	相原漁港	2.6	1.0	335	157	-	1.8	0.3	80	-	-	5
	秋穂漁港(秋穂地区)	3.0	1.4	310	135	302	2.7	1.1	24	17	-	
	秋穂漁港(大海地区)	3.0	1.4	312	132	136	2.5	1.0	21	17	-	
防府市	西浦漁港	2.7	1.1	310	128	305	2.0	0.5	13	12	-	4
	三田尻中関港(中関地区)	2.5	1.0	308	122	140	2.1	0.5	8	7	-	
	三田尻中関港(三田尻地区)	2.8	1.2	126	119	123	2.2	0.6	26	24	-	
	富海漁港	3.2	1.6	133	119	130	2.2	0.6	54	20	-	
下松市	徳山下松港(下松市地区)	3.3	1.7	131	117	122	2.1	0.6	51	33	-	4
岩国市	由宇港	2.7	0.9	419	165	-	2.0	0.2	232	-	-	4
	岩国港	3.0	1.2	223	160	210	2.0	0.2	250	-	-	
光市	徳山下松港(光地区)	3.7	2.2	123	103	106	2.5	0.9	75	31	-	5
	光漁港	3.6	2.0	117	98	113	2.4	0.8	56	37	-	
柳井市	柳井港	3.6	2.1	176	54	106	2.1	0.5	151	149	-	5
周南市	福川漁港	3.5	1.9	139	123	127	2.3	0.8	181	32	-	4
	徳山下松港(徳山地区)	3.4	1.8	143	120	132	2.2	0.6	40	35	-	
山陽 小野田市	殖生漁港	3.6	1.8	250	212	222	2.4	0.6	93	55	-	4
	小野田港	3.3	1.5	248	208	226	2.3	0.5	112	46	-	
周防 大島町	久賀港	2.8	1.2	181	160	178	1.7	0.2	121	-	-	4
	白木港	2.8	1.3	197	130	191	1.8	0.2	218	-	-	
	伊保田港	2.6	1.0	197	135	-	1.7	0.2	203	-	-	
	安下庄港	3.1	1.6	170	47	125	2.0	0.4	128	128	-	
	小松港	3.6	2.0	174	56	108	1.9	0.3	148	-	-	
和木町	小瀬川河口	3.0	1.2	220	161	207	2.0	0.1	251	-	-	3
上関町	室津港	3.6	2.0	128	103	113	2.1	0.5	52	50	-	4
田布施町	尾津漁港	3.3	1.8	123	103	115	2.2	0.6	65	60	-	4
平生町	平生港	3.0	1.4	127	107	119	2.1	0.6	66	63	-	4

※「最高津波水位」は、海岸線から沖合約30mの地点における津波水位の最大値(地盤変動量を考慮した値)を示し、小数点以下第2位を切上げ。

※「津波波高」は、津波水位から朔望平均満潮位を引いたもので、地震による水位変化の値。

※「海面変動+30cm時間」は、代表地点で地震発生直後海面に+30cm(被害想定において海辺にいる人の中に死者が発生する恐れのある水位の変化)の変動が生じるまでの時間で、「海面変動+1m時間」は、代表地点で地震発生直後海面に+1m(被害想定において海辺にいる人の100%が死亡する恐れのある水位の変化)の変動が生じるまでの時間である。

なお、「-」は、設定の水位変化が生じる津波が到達していないことを示す。

※「最高津波水位」、「海面変動+30cm時間」及び「海面変動+1m時間」が生じる津波断層モデルが異なる場合がある。

### (3) 最高津波水位分布

南海トラフ巨大地震、周防灘断層帯による地震、及びこれらを重ね合わせた最大包絡（以下、「最大包絡」という。）の3パターンの津波水位について、海岸線に沿った色区分図で示す。なお、南海トラフ巨大地震は全5ケースの最大値、周防灘断層帯による地震は縦ずれのみ、及び横ずれありの2ケースの最大値を示す。

#### ① 南海トラフ巨大地震



図 I.4-3-1 最高津波水位分布 (南海トラフ巨大地震 西部)

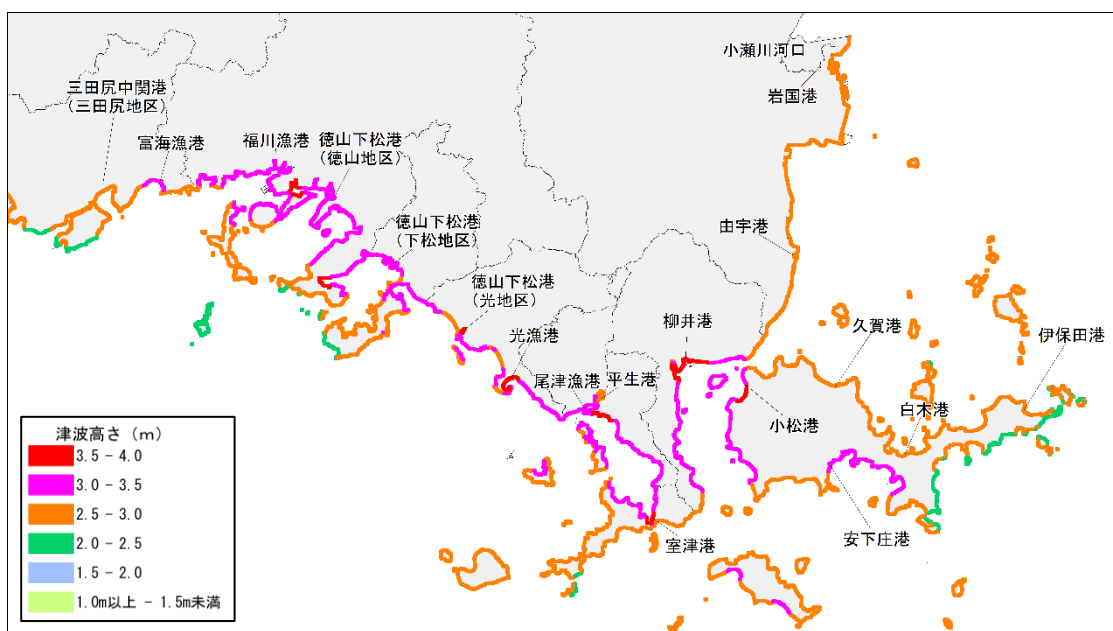


図 I.4-3-2 最高津波水位分布 (南海トラフ巨大地震 東部)

② 周防灘断層帯による地震



図 I. 4-3-3 最高津波水位分布 (周防灘断層帯による地震 西部)



図 I. 4-3-4 最高津波水位分布 (周防灘断層帯による地震 東部)

③ 最大包絡（南海トラフ巨大地震＋周防灘断層帯による地震）



図 I . 4-3-5 最高津波水位分布（最大包絡 西部）

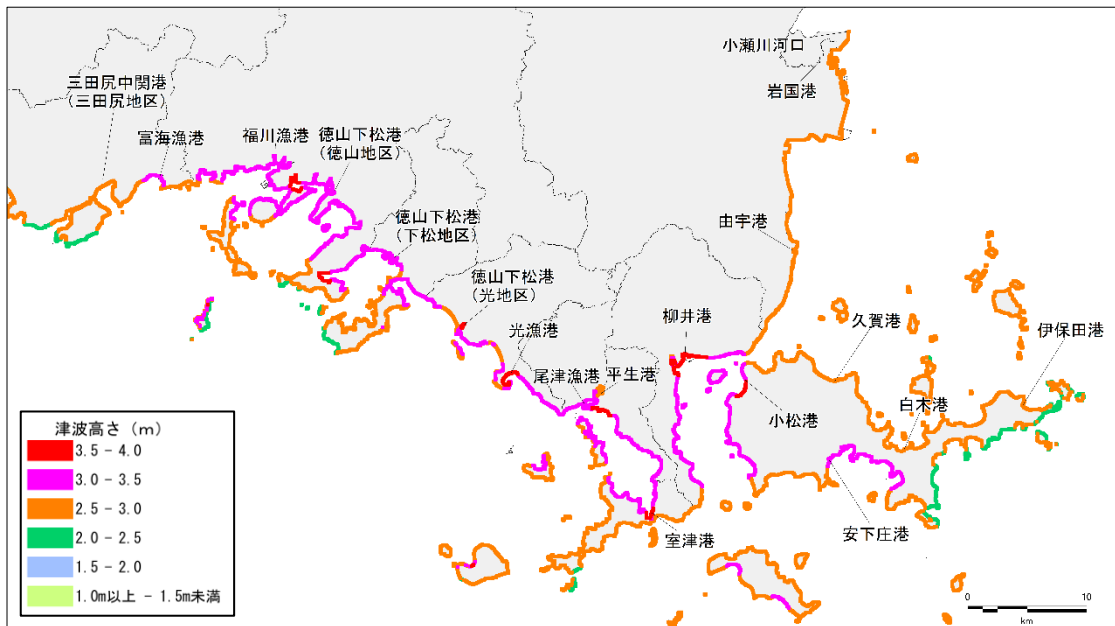


図 I . 4-3-6 最高津波水位分布（最大値 東部）

最大値における市町ごとの最高津波水位

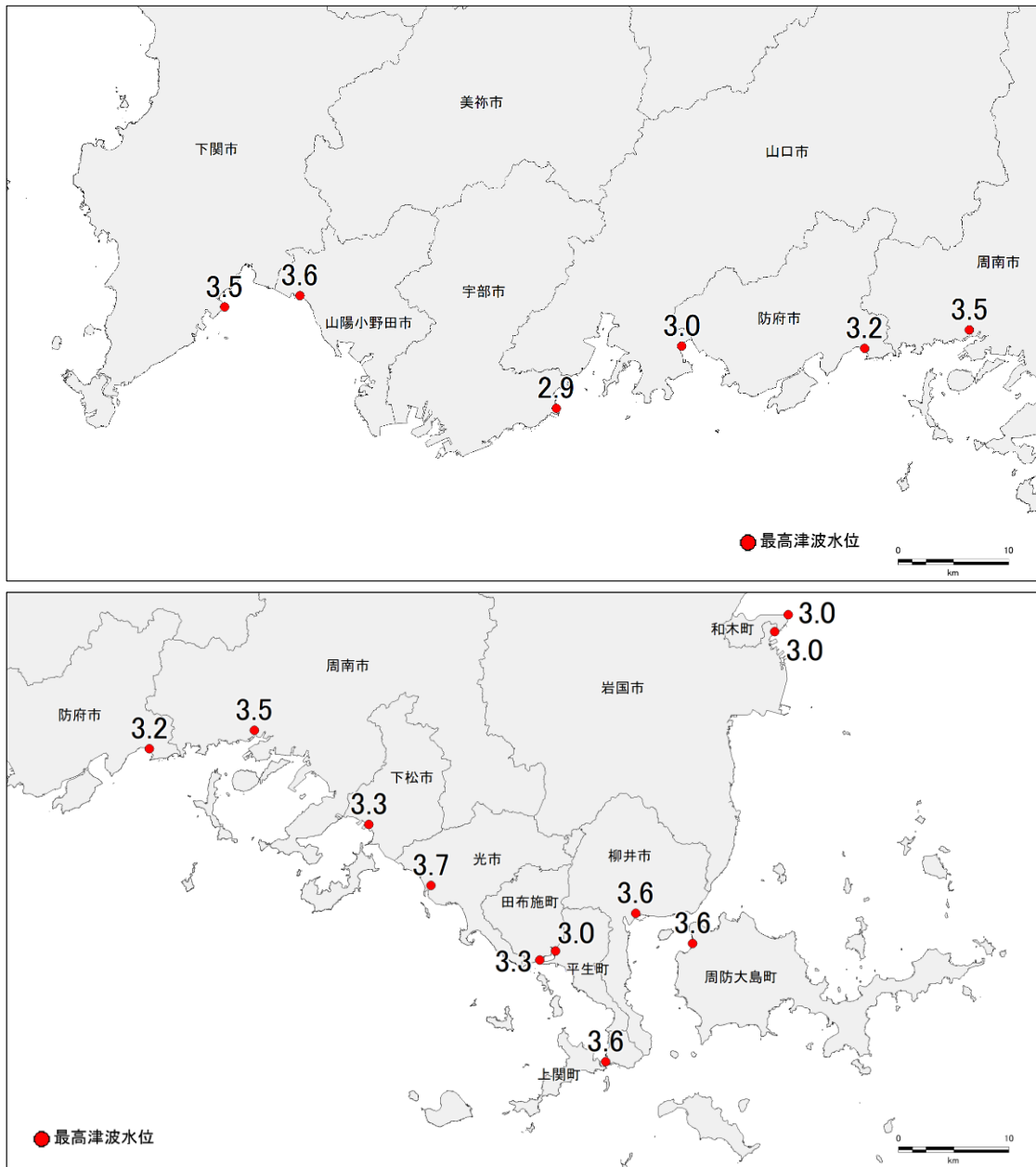


図 I.4-3-7 最高津波水位 (最大包絡)

#### (4) 水位変動

主要な港湾・漁港の代表地点のうち、**図 I.4-4-1** に示す地点での水位時系列を**図 I.4-4-2**～**図 I.4-4-5** に示す。なお、各時系列には、代表地点で地震発生直後海面に +30cm (被害想定において海辺にいる人の中に死者が発生する恐れのある水位の変化) 及び +1m (被害想定において海辺にいる人の 100%が死亡する恐れのある水位の変化) の変動が生じるまでの時間も示す。



図 I.4-4-1 水位時系列表示地点位置図

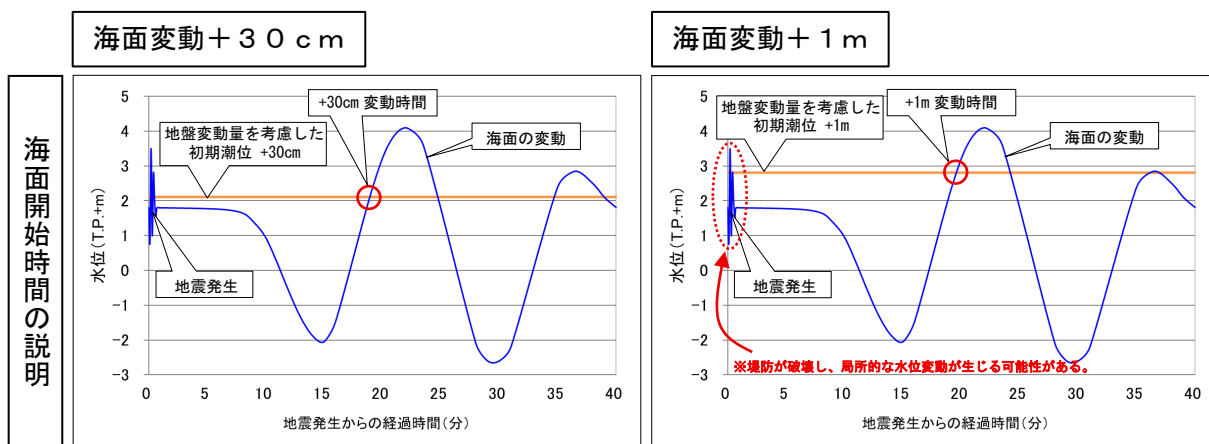


図 I.4-4-2 海面変動影響開始時間の説明

# 南海トラフ巨大地震

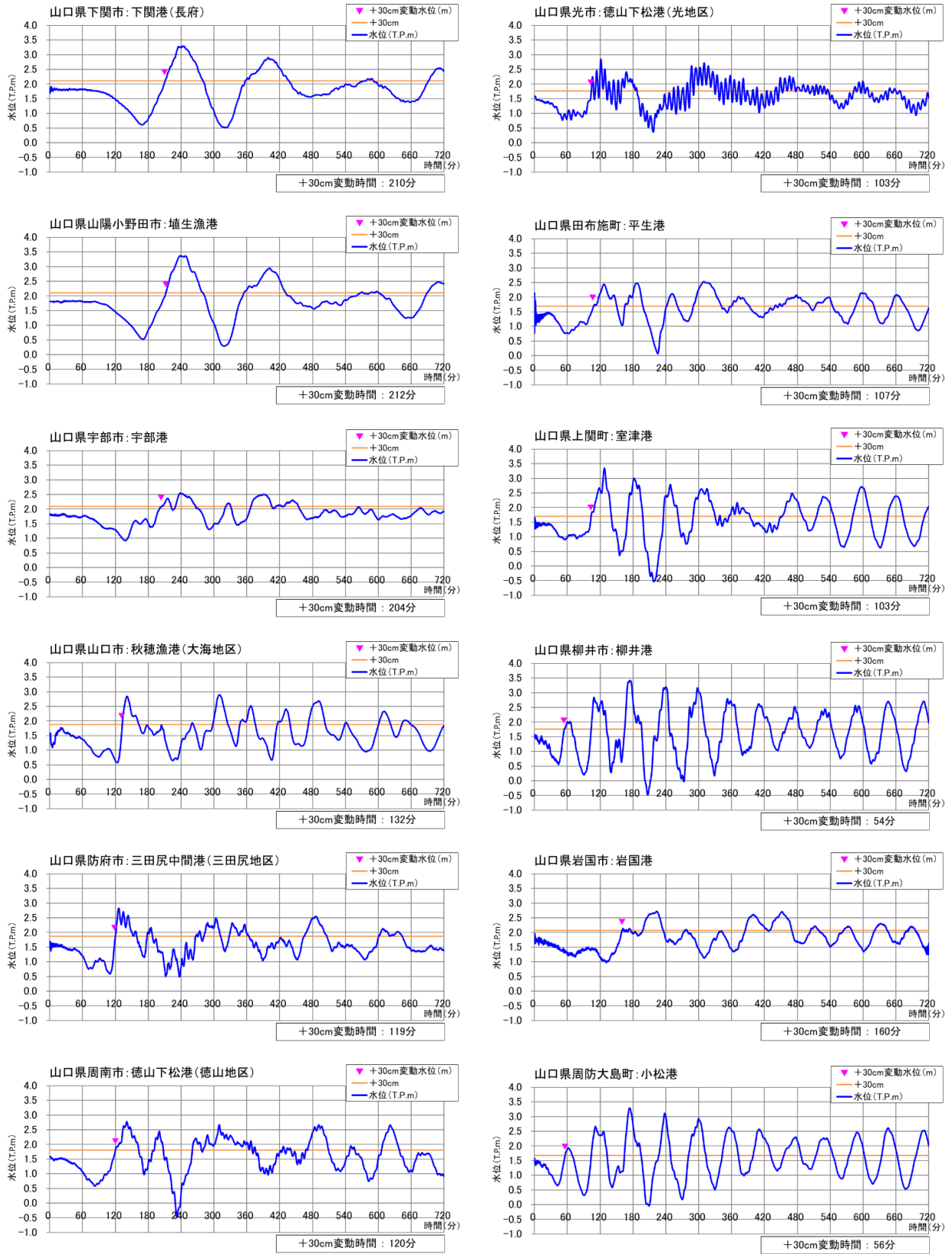


図 I . 4-4-3 海面変動+30cm 時間予測図 (南海トラフ巨大地震) (1)

# 南海トラフ巨大地震

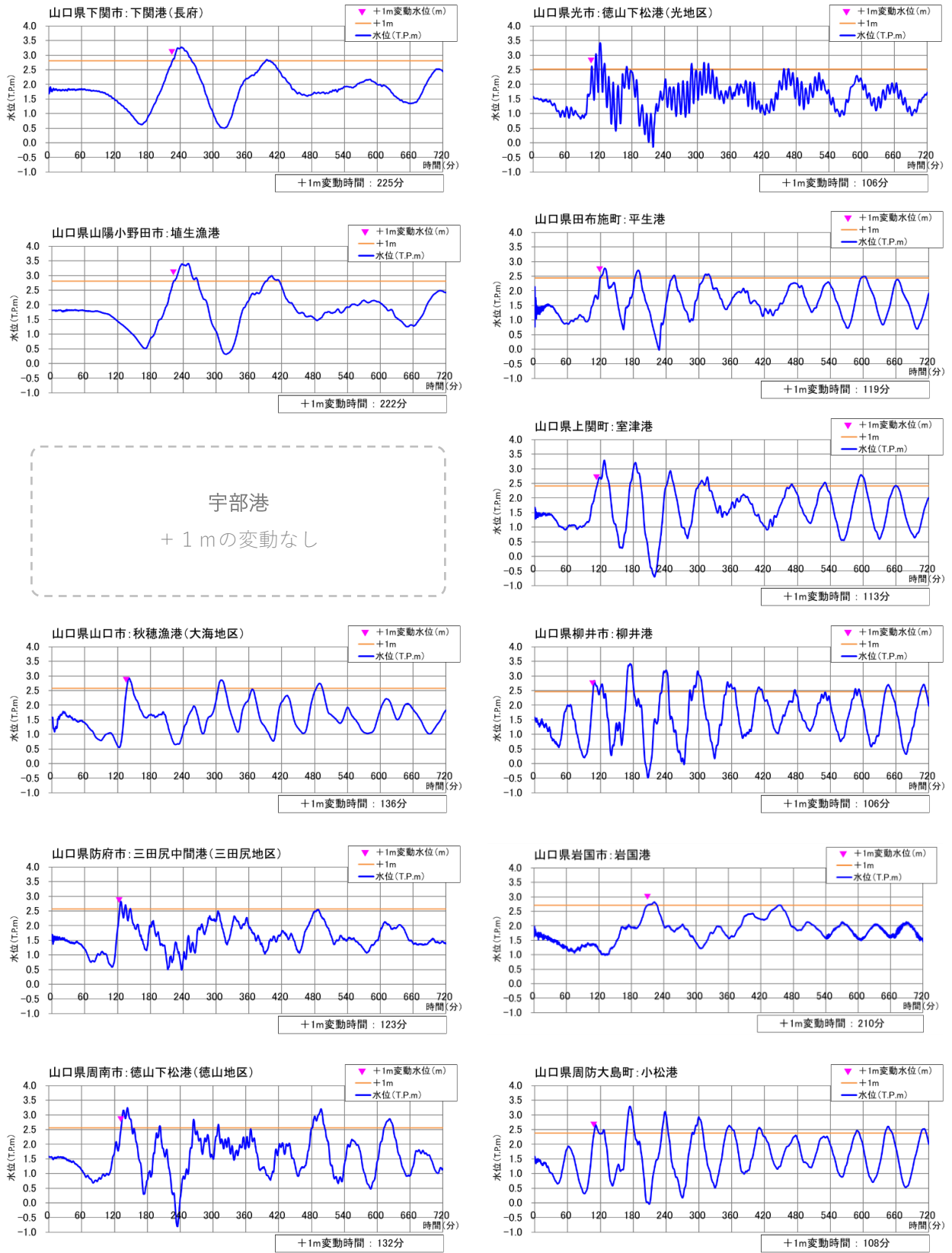


図 I . 4-4-4 海面変動+1m 時間予測図 (南海トラフ巨大地震) (2)

## 周防灘断層帯の地震

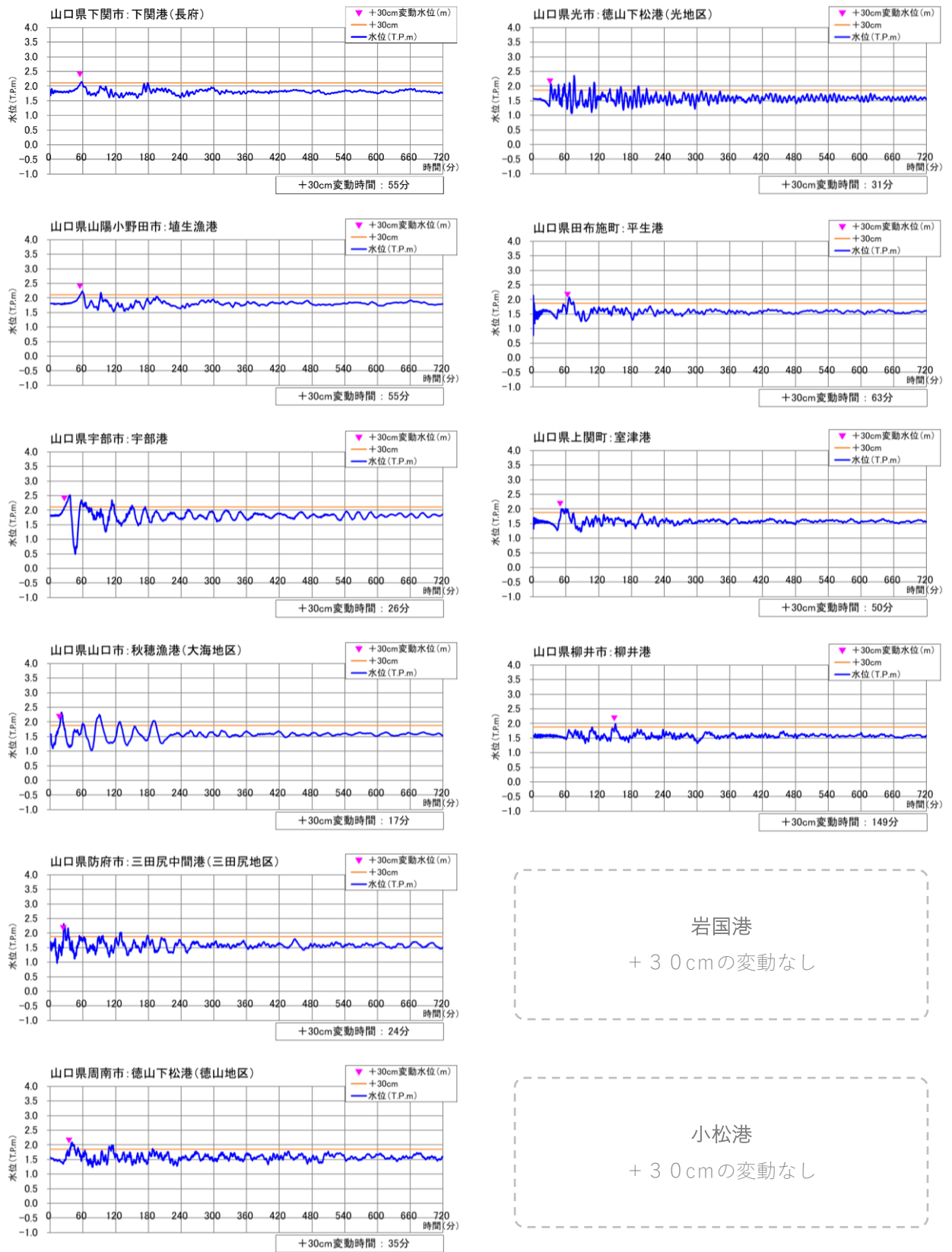


図 I . 4-4-5 海面変動+30cm 時間予測図 (周防灘断層帯による地震)

### (5) 浸水面積

瀬戸内海沿岸 15 市町の浸水面積を、令和 7 年 3 月に公表された内閣府の公表値（県単位で浸水面積が最大となるケース 11）と併せて表 I.4-5-1 に示す。

なお、県推計の浸水深は、南海トラフの巨大地震（5 ケース）及び周防灘断層帯主部（縦ずれのみ、横ずれあり）の最大包絡を示す。

表 I.4-5-1 浸水面積（最大包絡）

市町	県推計結果 (ha)						内閣府 (R7.3) (ha)					
	1cm以上	30cm以上	1m以上	2m以上	5m以上	10m以上	1cm以上	30cm以上	1m以上	2m以上	5m以上	10m以上
下関市	658	559	415	226	*	-	430	310	110	20	*	-
宇部市	746	634	386	76	-	-	110	50	20	*	-	-
山口市	1,736	1,565	1,156	490	-	-	210	130	60	20	-	-
防府市	1,140	991	713	331	*	-	210	140	70	40	-	-
下松市	193	122	47	23	-	-	100	80	50	30	-	-
岩国市	1,695	1,486	991	307	*	-	100	90	60	20	-	-
光市	107	79	46	27	-	-	110	90	60	30	-	-
柳井市	519	457	277	79	-	-	500	430	220	90	-	-
周南市	621	483	275	95	-	-	460	330	130	50	-	-
山陽小野田市	934	854	701	447	-	-	50	50	20	10	-	-
周防大島町	549	444	257	96	-	-	370	310	200	90	-	-
和木町	76	66	35	2	-	-	*	*	-	-	-	-
上関町	160	147	112	55	-	-	170	160	130	60	-	-
田布施町	190	162	72	12	-	-	140	110	40	10	-	-
平生町	445	376	198	40	-	-	170	140	70	20	-	-
県計	9,768	8,425	5,681	2,304	*	-	3,150	2,420	1,240	510	*	-

※ 河川等を除いた陸域部の浸水面積で、小数点以下第 1 位を四捨五入。

※ 「県計」は四捨五入の関係で各市町の合計と合わないことがある。

※ 県推計結果の「\*」は 1 ha 未満、「-」は浸水なし。

※ 内閣府公表値は 10ha 単位、「\*」は 10ha 未満、「-」は浸水なし。

(6) 津波浸水想定図

津波浸水想定図は、南海トラフ巨大地震及び周防灘断層帯による地震の津波浸水想定を重ね合わせ、瀬戸内海沿岸における最大の浸水域・浸水深について作成した。県全体図版を図 I.4-6-1 及び図 I.4-5-2 に示す。

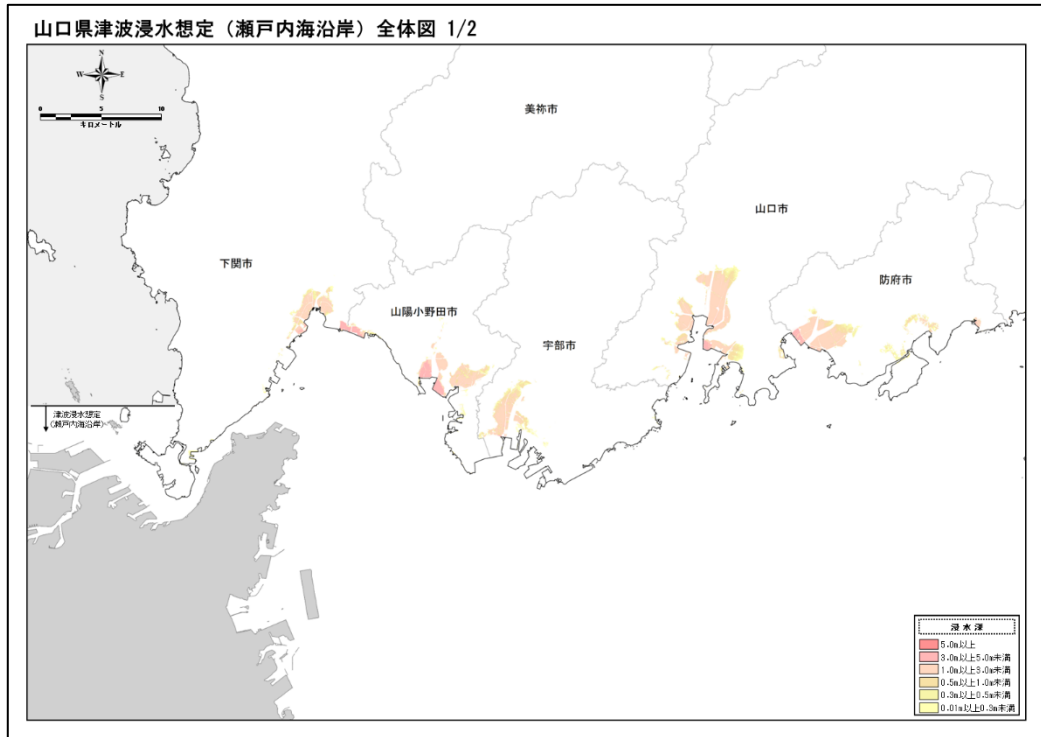


図 I.4-6-1 津波浸水想定図(1)

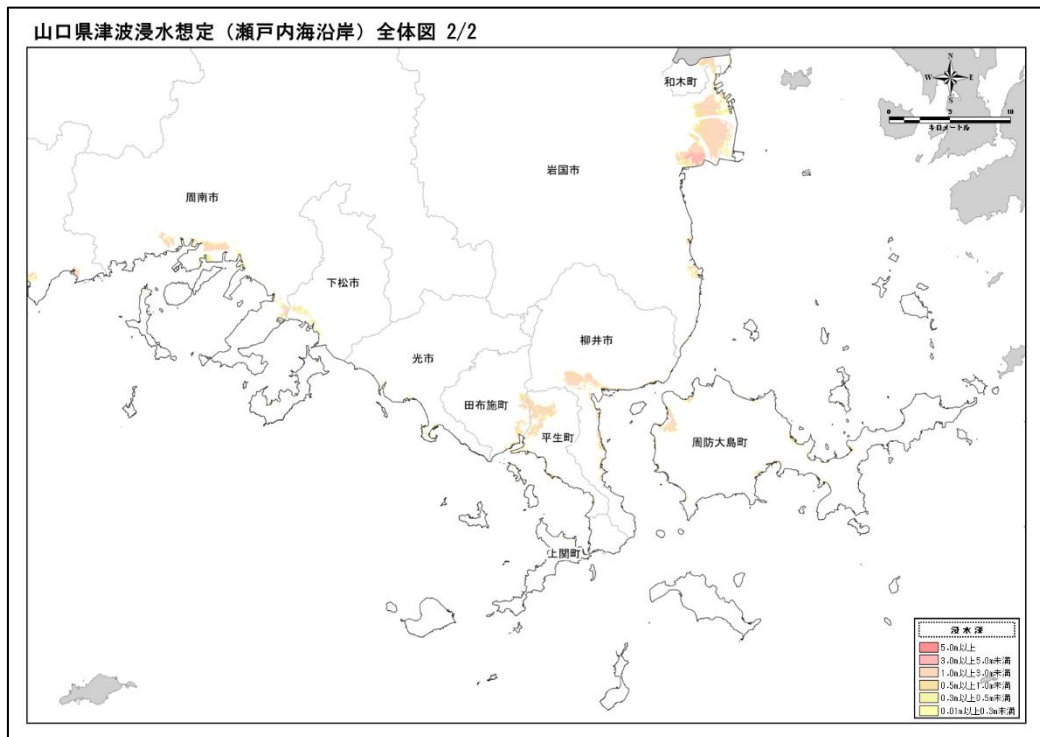


図 I.4-6-2 津波浸水想定図(2)

(7) 留意事項

津波浸水想定では、山口県に津波が押し寄せる前の地震発生直後から即時に浸水が発生する箇所が生じた。これは、津波浸水想定では悪条件下において、地震発生により堤防が破壊・沈下することを想定し、津波計算を実施しているためである。地震発生時の堤防の設定イメージを図 I.4-7-1 に示す。また、例として、図 I.4-7-2 に平生港における津波波形を示す。地震堤防の破壊・沈下によって津波到達よりも早く浸水が発生し、水位変動が生じていることが確認できる。

実際に、地震発生時には津波が到達する前から浸水が生じる可能性があることに留意する必要がある。

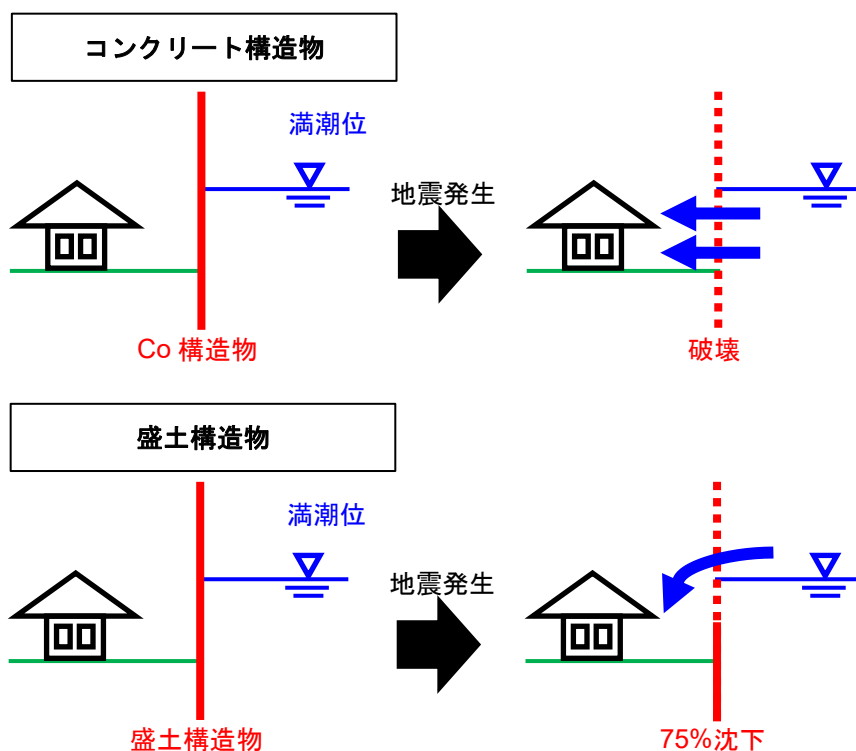


図 I.4-7-1 地震発生時の堤防の破壊状況

地震堤防の破壊・沈下によって津波到達よりも早く浸水が発生し、水位変動が生じている。

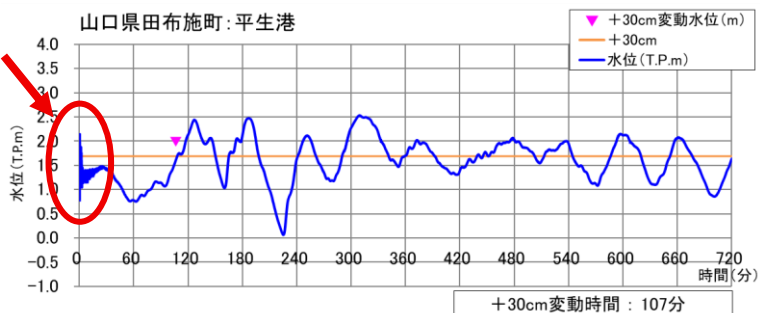


図 I.4-7-2 平生港における水位変動

## 5. 南海トラフ巨大地震及び周防灘断層帯による地震の被害想定

### (1) 想定地震・津波

地震動・津波により本県全域において、大きな被害が想定される南海トラフ巨大地震及び周防灘断層帯による地震を対象とする。

#### ① 想定地震動

南海トラフ巨大地震について、内閣府（2025a）<sup>11</sup>が推計した強震断層モデルの被害想定ケースのうち、本県で被害が最も大きくなった「陸側ケース」を対象とする。

#### ② 想定津波

南海トラフ巨大地震の津波断層モデルは、内閣府（2025a）<sup>11</sup>が設定している11ケースの津波断層モデルのうち、瀬戸内海沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される「ケース①」、「ケース②」、「ケース⑤」、「ケース⑩」、「ケース⑪」の5ケースを検討対象のモデルとする。各ケースで計算を行い、各被害項目において被害が最大となるケースを採用する。

周防灘断層帯による地震については、「縦ずれのみ」、「横ずれあり」の2ケースを検討対象のモデルとして計算を行い、各被害項目において被害が大きい方のケースを採用する。

## (2) 発災季節と発災時刻

本調査で想定するシーンは、内閣府(2025b)<sup>14</sup>が南海トラフ巨大地震で設定している発災季節と発災時刻(基本3シーン)に、観光や帰省で滞留人口が多くなる「盆・夜(特異日)」を加えた計4シーンとする。なお、風速については、山口県での平均風速3m/sと風速8m/s、関東大震災時の風速15m/sとする。

表 I.5-2-1 想定する発災季節と発災時刻

ケース	発災季節・時刻・風速	特 徴
①	冬・深夜 (5時) 風速3m/s 風速8m/s 風速15m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神・淡路大震災と同じ時間帯で、多くの方が自宅で就寝中。</li> <li>・建物倒壊、屋内収容物転倒等自宅での被災による人的被害が最大となるケース。</li> <li>・また、津波からの避難が遅れることにもなる。</li> </ul> <p>対象人口：夜間人口</p>
②	夏・昼 (12時) 風速3m/s 風速8m/s 風速15m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィス、繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。</li> <li>・海水浴客をはじめとする観光客が多く沿岸部等にいる。</li> <li>・木造建物内滞留人口は、1日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は①と比較して少ない。</li> </ul> <p>対象人口：昼間人口</p>
③	冬・夕方 (18時) 風速3m/s 風速8m/s 風速15m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。</li> <li>・オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。</li> <li>・鉄道、道路もほぼ帰宅ラッシュ時に近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。</li> </ul> <p>対象人口：(0.6×昼間人口)+(0.4×夜間人口)</p>
④	盆・夜 (20時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客や帰省者が多く滞留している</li> </ul> <p>対象人口：人流データ(盆20時時点の人口)</p>

### (3) 想定項目

以下の各想定項目について被害量の想定を行う。

表 I.5-3-1 想定項目

想定項目		想定する被害量	想定単位・想定項目
自然現象	地震動	震度分布	125m・250mメッシュごと
	液状化	液状化危険度分布(P <sub>1</sub> 値、沈下量)	125m・250mメッシュごと
	土砂災害	急傾斜地崩壊、地すべり、山腹崩壊の各危険箇所ごとの危険度ランク	土砂災害危険箇所ごと
	津波	到達時間、津波高さ、浸水深	5m・10mメッシュごと
建物被害	揺れ	全壊・半壊棟数	現19市町、旧56市町村ごと 125m・250mメッシュごと
	液状化	全壊・半壊棟数	〃
	土砂災害	全壊・半壊棟数	〃
	火災	* 焼失棟数	〃
人的被害	津波	* 全壊・半壊棟数	〃
	建物倒壊	* 死者・負傷者・重傷者数	現19市町、旧56市町村ごと
	土砂災害	* 死者・負傷者・重傷者数	〃
	火災	* 死者・負傷者・重傷者数	〃
	津波	* 死者・負傷者・重傷者数	〃
	屋内収容物移動・転倒	* 死者・負傷者・重傷者数 (建物倒壊による人的被害の内数)	〃
	ブロック塀等の倒壊	* 死者・負傷者・重傷者数	〃
	自動販売機の転倒	* 死者・負傷者・重傷者数	〃
	屋外落下物	* 死者・負傷者・重傷者数	〃
	災害時要援護者	* 死者(死者数合計の内数)	〃
	揺れによる建物被害に伴う要救助者(自力脱出困難者)	* 自力脱出困難者数	〃
	津波被害に伴う要救助者・要捜索者	* 要救助者・要捜索者数	〃
	災害関連死者	* 災害関連死者数	〃
	交通人的被害	被害の定性的評価	道路上、鉄道
ライフライン施設	上水道	上水道断水率 上水道被害箇所数、断水人口、浄水場被害箇所数、復旧予測	市町ごと、125m・250mメッシュごと 市町ごと
	下水道	下水道被害率 下水道被害延長、機能支障人口、処理場の被害箇所数、復旧予測	市町ごと、125m・250mメッシュごと 市町ごと
	電力	* 停電率 電柱被害本数、電柱被害率、停電軒数、復旧予測	市町ごと、125m・250mメッシュごと 市町ごと
	通信(固定電話)	* 固定電話不通率 固定電話不通回線数、復旧予測	市町ごと、125m・250mメッシュごと 市町ごと
	通信(携帯電話)	* 携帯電話不通ランク 携帯電話不通エリア数	市町ごと、125m・250mメッシュごと 市町ごと
	ガス	* 供給停止戸数、供給停止率	供給ブロックごと
	流通小売	定性的評価	—
	交通施設	緊急輸送道路	* 緊急輸送道路上の橋梁、トンネル、盛土、切土斜面の各被害箇所数
道路		* 国道・高速道路・有料道路、国道・高速道路・有料道路以外の被害箇所数	市町ごと、125m・250mメッシュごと
鉄道		* 新幹線及び在来線の被害箇所数	市町ごと、125m・250mメッシュごと
港湾		* 係留施設の施設被害度	係留施設ごと
空港		被害の定性的評価	宇部空港、岩国錦帯橋空港
生活支障	避難者	* 避難者数(避難所、避難所外)	現19市町、旧56市町村ごと
	帰宅困難者	* 帰宅困難者数	市町ごと
	物資不足量	* 食糧、飲料水、毛布の不足量	〃
	仮設トイレ不足量	* 仮設トイレ不足量	〃
	医療機能支障	* 要転院患者数、医療需要過不足数	二次医療圏ごと
	仮設住宅必要数	* 仮設住宅必要数	市町ごと
	ゼロメートル地帯の湛水	定性的評価	—
その他施設等	保健衛生、感染症、遺体処理	定性的評価	—
	石油コンビナート地区被害	火災、漏洩、破損箇所数	コンビナート地区ごと
	孤立集落の発生	孤立集落数、孤立世帯数	市町ごと
	重要施設	* 災害対策拠点、医療拠点、避難拠点の地震時使用性	重要施設ごと
	ため池	危険度	ため池ごと
	災害廃棄物	* 災害廃棄物発生量、津波堆積物発生量	市町ごと
	道路閉塞	家屋等の倒れ込みによる道路リンクの閉塞率	市町ごと、125m・250mメッシュごと
	エレベーター内閉じ込め	エレベーター停止台数、エレベーター内閉じ込め者数	市町ごと
	人口造成地	定性的評価	—
	文化財	* 文化財の被害数	文化財ごと
漁船・水産関連施設	定性的評価	漁港ごと	
地下空間	定性的評価	—	
その他の定性的な評価が可能な事項	長周期地震動、道路上への落石・崩土、大規模集客施設、災害応急対策、複合災害、治安	—	
経済被害	直接被害	* 被害額	市町ごと
	間接被害	* 被害額	県域

※\*は、条件により被害量が異なる想定項目

季節・時間帯・風速条件により被害量が異なるものは、条件の違いを考慮して以下のケースについて被害想定を行う。

表 I.5-3-2 被害想定実施ケース

想定項目	想定する被害量	被害想定実施ケース												
		冬・深夜			夏・昼			冬・夕方			盆・夜			
		風速 3m/s	風速 8m/s	風速 15m/s	風速 3m/s	風速 8m/s	風速 15m/s	風速 3m/s	風速 8m/s	風速 15m/s	風速 3m/s	風速 8m/s	風速 15m/s	
建物被害	火災	全壊（焼失）棟数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
人的被害	建物倒壊	死者・負傷者・重傷者数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
	土砂災害	死者・負傷者・重傷者数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
	火災	死者・負傷者・重傷者数	—	—	○	—	—	○	—	—	○	—	—	○
	津波	死者数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
	屋内収容物移動・転倒	死者・負傷者・重傷者数 （建物倒壊による人的被害の内数）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
	ブロッコ等の倒壊	死者・負傷者・重傷者数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
	自動販売機の転倒	死者・負傷者・重傷者数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
	屋外落下物	死者・負傷者・重傷者数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
	災害時要援護者	死者（死者数合計の内数）	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	自力脱出困難者	自力脱出困難者数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
要救助者・要捜索者	要救助者・要捜索者数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	
災害関連死者	災害関連死者	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	
ライフライン施設	電力	停電件数、復旧日数	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	通信	固定電話と携帯電話の不通回線数、復旧日数	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
生活支障	避難者	避難者数（避難所、避難所外）	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	帰宅困難者	帰宅困難者数	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—
	物資不足量	食糧、飲料水、毛布の不足量	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	仮設トイレ不足量	仮設トイレ不足量	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	医療機能支障	要転院患者数、医療需要過不足数	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	仮設住宅必要数	仮設住宅必要数	—	—	○	—	—	○	—	—	○	—	—	○
その他施設等	重要施設	災害対策拠点、医療拠点、避難拠点の地震時使用性	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	文化財	被害量	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	震災廃棄物	災害廃棄物発生量、津波堆積物発生量	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
経済被害	直接被害	被害額	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
	間接被害	被害額	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—

※○：被害想定実施ケース

#### (4) 想定手法

##### ① 被害想定手法の検討

今回調査では、前回調査の手法を踏まえつつ、内閣府（2025b）<sup>14</sup>が令和7年3月に公表した最新の想定手法及び他県の手法を参考に見直しをおこなった。

##### ② 社会条件データの収集・整理

社会条件データは、今回すべて最新のデータを収集する。

##### ③ 被害量の算定

- ・250m×250mに区分（DID地区は125m×125m）し、主にメッシュごとの被害量を算出する。
- ・土砂災害危険箇所、緊急輸送道路、港湾、空港、石油コンビナート地区、孤立集落、重要施設、ため池については、箇所・施設ごとに被害を想定する。
- ・津波による被害は、「堤防が機能しない場合」（地震：堤防は地震によって破壊、津波：津波が堤防を越えると堤防は破壊）に対する被害量を算出する。

## (5) 想定結果の概要

### ① 南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震は、東海、東南海、南海、日向灘等のトラフ沿いに震源を持つ地震規模 M9.0 の海溝型地震（プレート間地震）であり、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震と同じタイプの地震である。山口県域は震源からの距離が比較的離れているが、揺れ、液状化、津波による影響を受ける。

この地震による県内の震度は、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町の 7 市町で震度 6 弱以上が想定される。

津波浸水想定では、最高津波水位は光市で T.P. +3.7m となり、最高津波水位が最短で到達するのは地震発生から約 2 時間後になると想定される。

建物全壊・焼失棟数は最大で 9,738 棟と想定され、このうち津波によるものが 5,844 棟と最も多く、次に多いのが液状化による 3,124 棟である。死者数は最大で 502 人と想定され、このうち 474 人（94%）が津波によるものである。

ライフラインや交通施設の被害は、主に揺れの大きい県東部や津波の影響を受ける沿岸部において多い。発災当日・1 日後の避難者は約 24.6 万人、経済被害額は約 1.9 兆円と想定される。

次頁に南海トラフ巨大地震による被害想定結果を示す。

表 I.5-5-1 南海トラフ巨大地震の被害想定結果一覧

想定項目	地震規模	M9.0	
	地震タイプ	プレート間	
地震動・液状化	最大震度	震度6強	
	震度6弱以上のエリア位置	岩国市、柳井市 周防大島町、和木町 上関町、田布施町、平生町	
	液状化危険度がかなり高い面積 (P <sub>L</sub> >15の面積率)	県全面積の0.8%	
土砂災害	発生危険度が高い箇所 (危険度ランクA)	急傾斜地崩壊	203 箇所
		地すべり	14 箇所
		山腹崩壊	57 箇所
津波	最高津波水位	T.P.+ 3.7 m (光市)	
	最高津波の到達時間	最短で約 2 時間 (光市)	
	1 cm以上の浸水面積	9,762 ha	
	30cm以上の浸水面積	8,419 ha	
	1 cm以上の浸水面積 (南海トラフ地震・周防灘断層帯 最大包絡)	9,768 ha	
	30cm以上の浸水面積 (南海トラフ地震・周防灘断層帯 最大包絡)	8,425 ha	
建物被害	全壊の主な原因 (割合)	津波 (62%)、液状化 (33%)	
	全壊棟数・焼失棟数 ※1	9,738 棟	
	(全壊棟数) ※1	9,490 棟	
	(焼失棟数) ※1	248 棟	
	半壊棟数	49,137 棟	
人的被害	死者の主な原因 (割合)	津波 (94%)	
	死者数 ※2	502 人	
	(うち津波が原因) ※2	474 人	
	負傷者数 ※3	1,446 人	
	重傷者数 (負傷者数の内数) ※3	129 人	
	自力脱出困難者 ※3	91 人	
	災害時要援護者 ※2	213 人	
	津波被害に伴う要救助者 ※4	2,005 人	
災害関連死者 ※1	641~1,282 人		
ライフライン被害	上水道 (発災直後の断水人口)	85,592 人	
	下水道 (発災直後の機能支障人口)	4,244 人	
	電力 (発災直後の停電軒数) ※1	13,443 軒	
	通信 (発災直後の固定電話不通回線数) ※1	7,546 回線	
	ガス (発災直後のガス供給停止戸数) ※1	4,672 戸	
交通施設被害	緊急輸送道路 (被害箇所数) ※損傷程度: 軽微・小規模を除く	14 箇所	
	道路 (被害箇所数)	国道等 (揺れ)	37 箇所
		国道等 (津波)	17 箇所
		その他 (揺れ)	176 箇所
		その他 (津波)	87 箇所
	鉄道 (被害箇所数)	新幹線 (揺れ)	3 箇所
		新幹線 (津波)	0 箇所
		在来線 (揺れ)	113 箇所
		在来線 (津波)	59 箇所
	港湾 (揺れによる被害箇所数)	103 箇所	
生活支障	避難者 (発災当日・1日後の避難者数) ※1	245,720 人	
	帰宅困難者数 (平日の昼間)	67,113 人	
	物資需要量 (発災当日・1日後の食料需要量) ※1	57.7 万食	
	仮設トイレ必要量 (発災当日・1日後の必要基数) ※1	1,602.9 基	
	医療機能支障 (医療需要過不足数) [ <0: 不足 ]	入院 ※2	不足しない
		外来 ※1	県全体では不足しない
	必要仮設住宅数 ※1	33,735 棟	
	石油コンビナート (被害箇所数) ※1	17 箇所	
	孤立集落 (孤立世帯数)	6,381 世帯	
	重要施設 (機能支障可能性がある施設数) ※1	284 箇所	
	ため池 (危険度ランクA)	箇所数	0 箇所
		影響人口	0 人
		影響戸数	0 戸
	災害廃棄物発生量	災害廃棄物 ※1	192.1 万t
		津波堆積物 ※1	234.3 万t
	道路閉塞 (幅員3m未満)	10~20% ※1	0.5 %
		20~50% ※1	0.1 %
50%超 ※1		0.0 %	
エレベーター内閉じ込め者 ※5	18 人		
文化財 ※1	2 件		
直接被害	1.9 兆円		

※1 冬・夕方、風速15m/s  
 ※2 冬・深夜、風速15m/s  
 ※3 盆・夜、風速15m/s  
 ※4 夏・昼  
 ※5 朝7~8時

## ② 周防灘断層帯による地震

周防灘断層帯における地震は、山口県防府市の南方沖から大分県国東半島北西沖にかけて延びる全長約 44km の活断層帯を震源とする活断層型地震である。

山口県域のうち山口市や防府市沿岸部は震源域に近接しているため、周防灘断層帯主部区間において地震が発生した場合は、強い揺れに加え、液状化や津波による影響を受ける可能性がある。

この地震による県内の震度は、下関市、宇部市、山口市、防府市、周南市、山陽小野田市の 6 市町で震度 6 弱以上が想定される。

津波浸水想定では、最高津波水位は山口市で T.P. +2.7m となり、最高津波水位が最短で到達するのは地震発生から 24 分後になると想定される。

建物全壊・焼失棟数は最大で 10,343 棟と想定され、このうち液状化によるものが 3,633 棟と最も多く、次に多いのが 3,220 棟の揺れによるものである。死者数は最大で 652 人と想定され、このうち 452 人（約 69%）が津波によるものである。

ライフラインや交通施設の被害は、主に揺れの大きい県南部や津波の影響を受ける沿岸部において多い。発災当日・1 日後の避難者は約 33.6 万人、直接経済被害額は約 2.2 兆円と想定される。

次頁に周防灘断層帯による地震に伴う被害想定結果を示す。

表 I.5-5-2 周防灘断層帯による地震の被害想定結果一覧

想定項目	地震規模	M7.0	
	地震タイプ	地殻内	
地震動・液状化	最大震度	震度7	
	震度6弱以上のエリア位置	下関市、宇部市、山口市 防府市、周南市 山陽小野田市	
	液状化危険度がかなり高い面積 (P <sub>1</sub> >15の面積率)	県全面積の1.4%	
土砂災害	発生危険度が高い箇所 (危険度ランクA)	急傾斜地崩壊	206 箇所
		地すべり	10 箇所
		山腹崩壊	76 箇所
津波	最高津波水位	T.P. + 2.7 m (山口市)	
	最高津波の到達時間	最短で 24 分	
	1 cm以上の浸水面積	5,678 ha	
	30cm以上の浸水面積	4,895 ha	
建物被害	全壊の主な原因 (割合)	液状化 (46%)、揺れ (41%)	
	全壊棟数・焼失棟数	棟	
	(全壊棟数)	※1 7,904 棟	
	(焼失棟数)	※1 2,439 棟	
	半壊棟数	40,170 棟	
人的被害	死者の主な原因 (割合)	津波 (69%)	
	死者数	※2 652 人	
	(うち津波が原因)	※2 452 人	
	負傷者数	※3 2,939 人	
	重傷者数 (負傷者数の内数)	※3 505 人	
	自力脱出困難者	※2 714 人	
	災害時要援護者	※2 273 人	
	津波被害に伴う要救助者	※4 486 人	
	災害関連死者	※1 838~1,677 人	
ライフライン被害	上水道 (発災直後の断水人口)	151,742 人	
	下水道 (発災直後の機能支障人口)	16,212 人	
	電力 (発災直後の停電軒数)	※1 21,312 軒	
	通信 (発災直後の固定電話不通回線数)	※1 12,461 回線	
	ガス (発災直後のガス供給停止戸数)	※1 7,935 戸	
交通施設被害	緊急輸送道路 (被害箇所数) ※損傷程度: 軽微・小規模を除く	21 箇所	
	道路 (被害箇所数)	国道等 (揺れ)	93 箇所
		国道等 (津波)	5 箇所
		その他 (揺れ)	285 箇所
		その他 (津波)	41 箇所
	鉄道 (被害箇所数)	新幹線 (揺れ)	19 箇所
		新幹線 (津波)	0 箇所
		在来線 (揺れ)	227 箇所
		在来線 (津波)	21 箇所
港湾 (揺れによる被害箇所数)	143 箇所		
生活支障	避難者 (1日後の避難者数)	※1 335,650 人	
	帰宅困難者数 (平日の昼間)	65,618 人	
	物資需要量 (発災当日・1日後の食料需要量)	※1 75.5 万食	
	仮設トイレ必要量 (発災当日・1日後の必要基数)	※1 2,096.1 基	
	医療機能支障 (医療需要過不足数)	入院 ※4 不足しない	
	[<0: 不足]	外来 ※4 244人の不足	
必要仮設住宅数	※1 12,967 棟		
その他施設等被害	石油コンビナート (被害箇所数)	※1 30 箇所	
	孤立集落 (孤立世帯数)	4,934 世帯	
	重要施設 (機能支障可能性がある施設数)	※1 798 箇所	
	ため池 (危険度ランクA)	箇所数	9 箇所
		影響人口	4,437 人
	災害廃棄物発生量	影響戸数	1,479 戸
		災害廃棄物 ※1	162 万t
	道路閉塞 (幅員13m未満)	津波堆積物 ※1	136.3 万t
		10~20% ※1	1.9 %
		20~50% ※1	0.4 %
エレベーター内閉じ込め者	50%超 ※1,6	*0.0 %	
文化財	※5	118 人	
文化財	※1	0 件	
経済被害	直接被害	2.2 兆円	

※1 冬・夕方、風速15m/s

※2 冬・深夜、風速15m/s

※3 益・夜、風速15m/s

※4 夏・昼

※5 朝7~8時

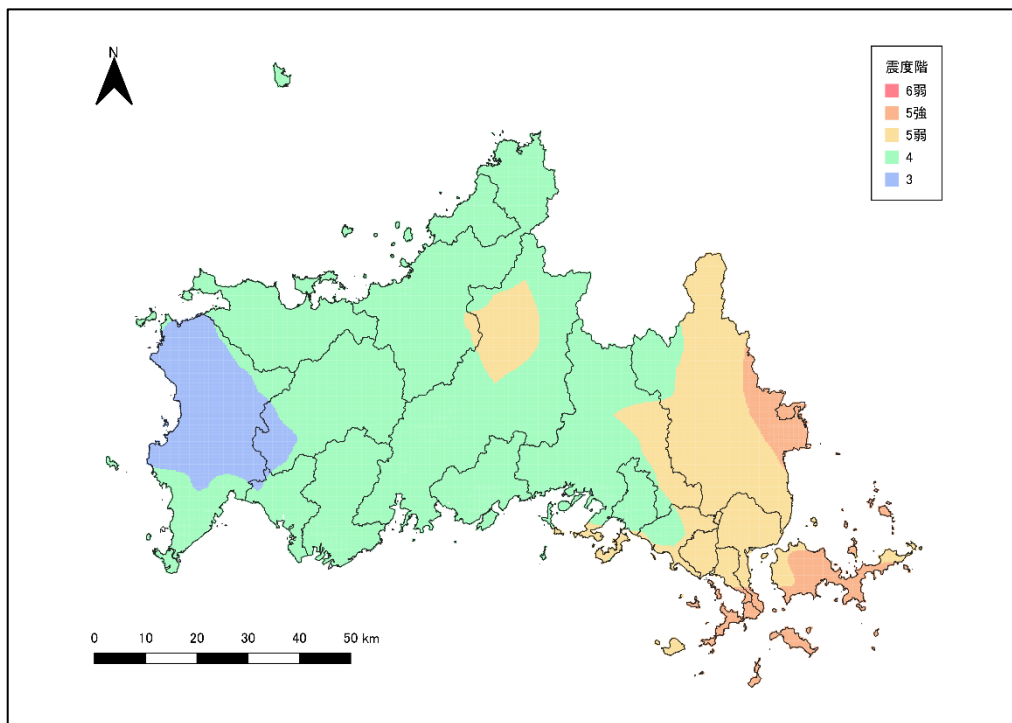
※6 0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合 (値が完全な0ではない場合) は、「\*0.0」で表示している。

## (6) 地震動

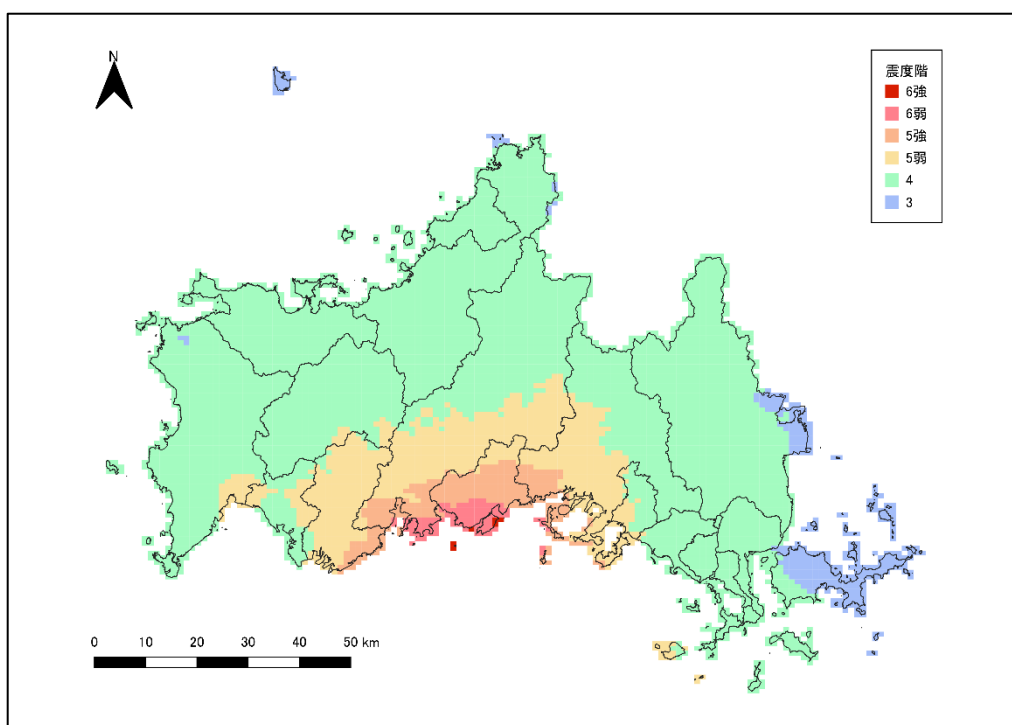
### ① 工学的基盤の地震動

想定地震に想定地震に対する山口県全域の1 km メッシュの工学的基盤における加速度波形を統計的グリーン関数法によって求め、震度を算出する。

山口県全域に対する工学的基盤の震度分布を次頁に示す。



(a) 南海トラフ巨大地震



(b) 周防灘断層帯による地震

図 I.5-6-1 工学的基盤震度分布

## ② 地表における地震動

地表の震度は、山口県全域の工学的基盤の加速度波形から震度を求め、浅部地盤で増幅される震度の増分を加えて250mメッシュごとに算出した。

市町ごとの最大震度及び山口県全域に対する震度別面積の割合を下表に示す。また、次頁に地表震度分布を示す。

表 I.5-6-1 市町ごとの最大震度

市町	最大震度	
	南海トラフ 巨大地震	周防灘断層帯 による地震
下関市	5弱 (4.7)	6弱 (5.8)
宇部市	5強 (5.3)	6強 (6.3)
山口市	5強 (5.0)	7 (7.3)
萩市	5弱 (4.8)	5弱 (4.8)
防府市	5弱 (4.9)	7 (6.6)
下松市	5強 (5.2)	5強 (5.4)
岩国市	6弱 (5.9)	5弱 (4.8)
光市	5強 (5.4)	5強 (5.2)
長門市	4 (4.4)	5弱 (4.6)
柳井市	6強 (6.0)	4 (4.4)
美祢市	5弱 (4.5)	5強 (5.2)
周南市	5強 (5.3)	6弱 (5.9)
山陽小野田市	5弱 (4.8)	6弱 (5.5)
周防大島町	6弱 (5.7)	4 (4.3)
和木町	6弱 (5.7)	4 (4.1)
上関町	6弱 (5.6)	5弱 (4.7)
田布施町	6弱 (5.7)	5弱 (4.7)
平生町	6弱 (5.7)	5弱 (4.7)
阿武町	5強 (5.4)	5弱 (4.6)

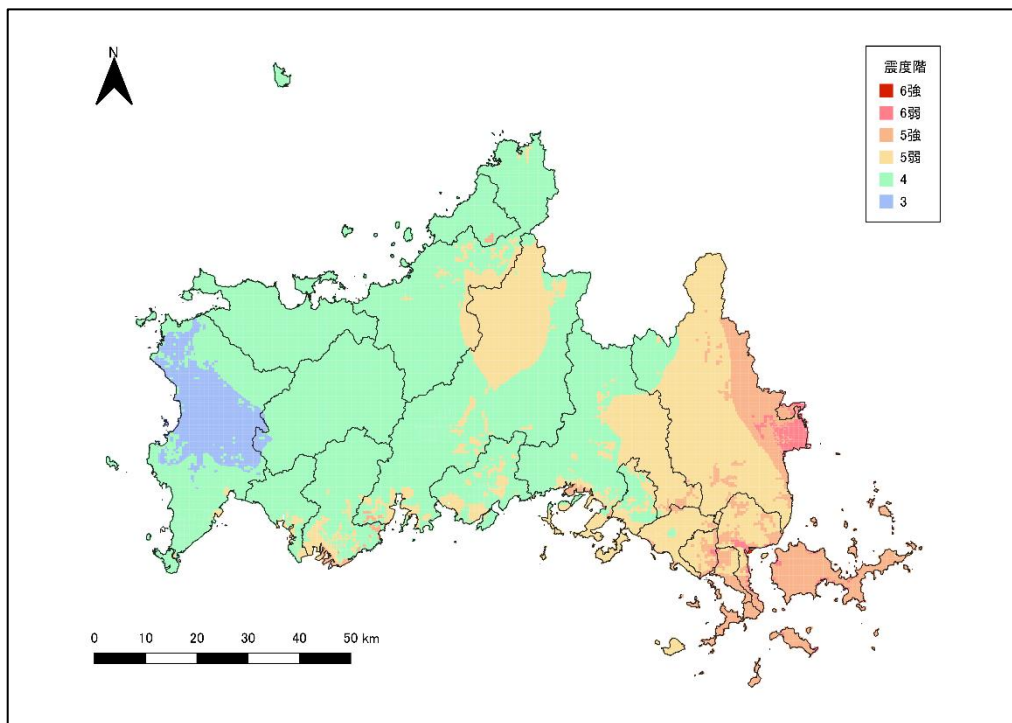
震度階級	計測震度
5弱	4.5以上5.0未満
5強	5.0以上5.5未満
6弱	5.5以上6.0未満
6強	6.0以上6.5未満
7	6.5以上

※ ( )内は計測震度

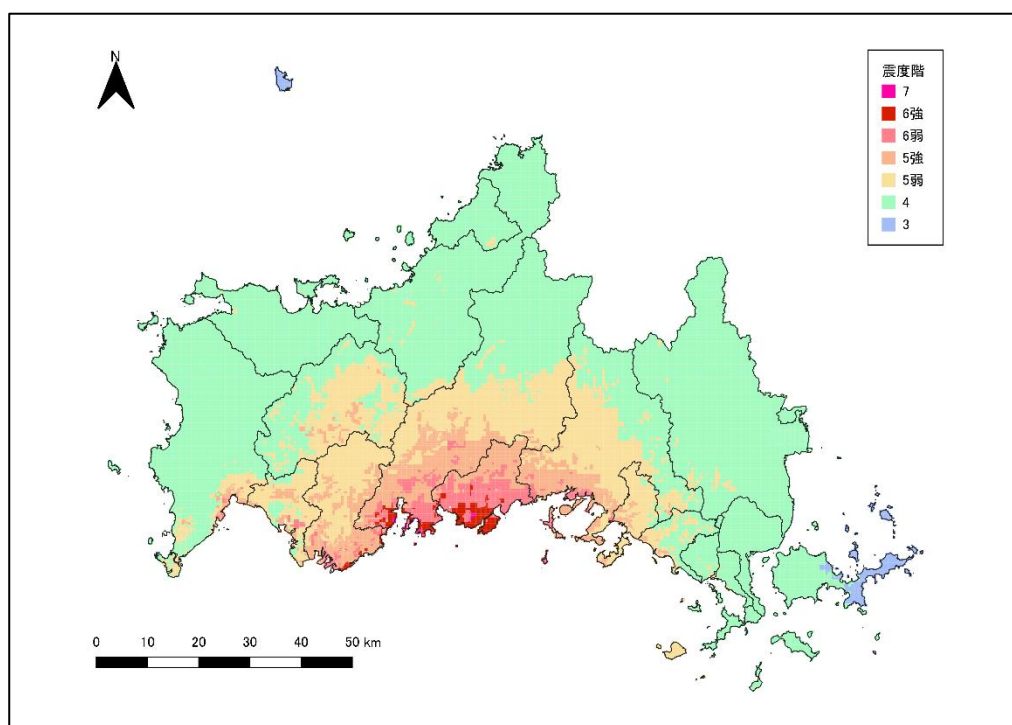
表 I.5-6-2 震度別面積率

震度	震度別面積率 (%)	
	南海トラフ巨大地震	周防灘断層帯による地震
7	—	0.1未満
6強	0.1未満	0.8
6弱	0.9	2.9
5強	7.8	8.8
5弱	26.7	21.9
4以下	64.6	65.5

※被害は山口県全域での集計値



(a) 南海トラフ巨大地震



(b) 周防灘断層帯による地震

図 I.5-6-2 地表震度分布

(7) 地盤災害

① 液状化

震度分布と土質状況をもとにメッシュごとの液状化指数 ( $P_L$  値) と沈下量を算出し、液状化の危険度を想定する。 $P_L$  値と液状化危険度の関係は以下のとおりである。

- $30.0 < P_L$  : 極めて高い
- $15.0 < P_L \leq 30.0$  : かなり高い
- $5.0 < P_L \leq 15.0$  : 高い
- $0.0 < P_L \leq 5.0$  : 低い
- $P_L = 0.0$  : かなり低い

山口県全域に対する危険度ランク別面積の割合を下表に示す。

表 I.5-7-1 液状化危険度別面積率

$P_L$ 値	液状化危険度別面積率 (%)	
	南海トラフ巨大地震	周防灘断層帯による地震
$30.0 < P_L$	0.1	0.8
$15.0 < P_L \leq 30.0$	0.7	0.6
$5.0 < P_L \leq 15.0$	1.4	1.5
$0.0 < P_L \leq 5.0$	1.5	2.1
$P_L = 0.0$	96.3	95.0

※被害は山口県全域での集計値

液状化による沈下量別面積の割合を下表に示す。なお、液状化による建物被害の想定は沈下量により算出する。

表 I.5-7-2 液状化による沈下量別面積の割合

沈下量	沈下量別面積率 (%)	
	南海トラフ巨大地震	周防灘断層帯による地震
$0.5 \leq S$	—	—
$0.3 \leq S < 0.5$	0.1未満	0.4
$0.1 \leq S < 0.3$	1.2	1.1
$0.0 \leq S < 0.1$	2.5	3.5
$S = 0.0$	96.3	95.0

※被害は山口県全域での集計値

## ② 土砂災害

急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所、山腹崩壊危険地区について、各危険箇所に設定された耐震ランク（a、b、c）と危険箇所が含まれるメッシュの予測震度から危険度ランク（A、B、C）を判定する。対象とする土砂災害危険箇所は、公共施設を含む保全人家を有するものとし、対策済みのものは対象外とする。

各危険箇所における危険度ランク別箇所数を下表に示す。なお、同一メッシュ内に複数の危険箇所がある場合には最も発生可能性が高い危険度ランクを表示している。

ここでの地震時危険度は、あくまで相対的なランクであるものの、次のように定義される。

- 危険度ランク A：発生する可能性が高い
- 危険度ランク B：発生する可能性がある
- 危険度ランク C：発生する可能性は低い

表 I.5-7-3 土砂災害危険度ランク別箇所数（南海トラフ巨大地震）

危険度ランク	急傾斜地崩壊		地すべり		山腹崩壊	
	箇所数 (箇所)	割合 (%)	箇所数 (箇所)	割合 (%)	箇所数 (箇所)	割合 (%)
A	203	1.8	14	6.4	57	2.9
B	967	8.5	33	14.9	207	10.4
C	10,233	89.7	174	78.7	1,719	86.7
合計	11,403	100.0	221	100.0	1,983	100.0

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-7-4 土砂災害危険度ランク別箇所数（周防灘断層帯による地震）

危険度ランク	急傾斜地崩壊		地すべり		山腹崩壊	
	箇所数 (箇所)	割合 (%)	箇所数 (箇所)	割合 (%)	箇所数 (箇所)	割合 (%)
A	206	1.8	10	4.5	76	3.8
B	780	6.8	23	10.4	162	8.2
C	10,417	91.4	188	85.1	1,745	88.0
合計	11,403	100.0	221	100.0	1,983	100.0

※被害は山口県全域での集計値

(8) 建物被害

① 揺れ、液状化、土砂災害、津波による建物被害

揺れ、液状化、土砂災害、津波を原因とする建物の全壊、半壊棟数をメッシュ単で算出し、山口県全域で原因別に集計した結果を以下に示す。

なお、全壊棟数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース1」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の算出結果を下表に示す。

南海トラフ巨大地震（ケース1）において、全壊棟数は9,490棟で、津波によるものが5,844棟と最も多く、全体の約62%を占めている。次に多いのが液状化による被害で3,124棟（全体の約33%）となる。

半壊棟数は49,137棟で、津波によるものが32,768棟と最も多く、全体の約67%を占め、次に液状化による被害で11,073棟（全体の約23%）となる。

表 I.5-8-1 原因別全壊棟数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

全壊棟数（棟）										合計※1 （棟）
木造				小計	非木造				小計	
揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
359	3,084	24	5,072	8,539	134	40	5	772	951	9,490

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

表 I.5-8-2 原因別半壊棟数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

半壊棟数（棟）										合計※1 （棟）
木造				小計	非木造				小計	
揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
4,483	8,705	52	24,090	37,330	750	2,368	12	8,678	11,807	49,137

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値

※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）において、全壊棟数は7,904棟で、液状化によるものが3,633棟と最も多く、全体の約46%を占めている。次に多いのが揺れによる被害で3,220棟（全体の約41%）となる。

半壊棟数は40,170棟で、液状化によるものが15,020棟と最も多く、全体の約37%を占め、次に津波による被害で14,833棟（全体の約37%）となる。

表 I.5-8-3 原因別全壊棟数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

全壊棟数（棟）											合計 <sup>※1</sup> （棟）
木造				小計	非木造				小計		
揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波			
2,711	3,576	15	886	7,188	509	57	5	144	716	7,904	

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

表 I.5-8-4 原因別半壊棟数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

半壊棟数（棟）											合計 <sup>※1</sup> （棟）
木造				小計	非木造				小計		
揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波			
8,193	11,690	29	10,950	30,862	2,084	3,330	11	3,883	9,308	40,170	

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値

※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

## ② 火災による建物被害

火災による焼失棟数をメッシュ単位で算出する。火災の発生危険性は、発災季節・時間帯と風速条件によって異なるため、冬・深夜、夏・昼、冬・夕方の3シーンについて、風速条件として風速3m/s、風速8m/s、風速15m/sの3ケースを想定する。

南海トラフ巨大地震における山口県全域の火災による建物被害について、風速別の結果を下表に示す。

火災による焼失棟数は、冬・夕方の場合が最も多く、風速3m/sで59棟、風速8m/sで155棟、風速15m/sの最悪の条件で248棟の焼失が想定される。

表 I.5-8-5 火災による建物被害（南海トラフ巨大地震）

風速	冬・深夜			夏・昼			冬・夕方		
	出火 (件)	残出火 (件)	焼失 (棟)	出火 (件)	残出火 (件)	焼失 (棟)	出火 (件)	残出火 (件)	焼失 (棟)
風速3m/s	1	0	0	7	0	0	12	3	59
風速8m/s	1	0	0	7	1	33	12	6	155
風速15m/s	1	0	0	7	1	46	12	6	248

※山口県全域での集計値

周防灘断層帯による地震における山口県全域の火災による建物被害について、風速別の結果を下表に示す。

火災による焼失棟数は、冬・夕方の場合が最も多く、風速3m/sで717棟、風速8m/sで1,208棟、風速15m/sの最悪の条件で2,439棟の焼失が想定される。

表 I.5-8-6 火災による建物被害（周防灘断層帯による地震）

風速	冬・深夜			夏・昼			冬・夕方		
	出火 (件)	残出火 (件)	焼失 (棟)	出火 (件)	残出火 (件)	焼失 (棟)	出火 (件)	残出火 (件)	焼失 (棟)
風速3m/s	5	3	86	22	18	432	36	30	717
風速8m/s	5	3	138	22	19	700	36	32	1,208
風速15m/s	5	3	261	22	19	1,412	36	32	2,439

※山口県全域での集計値

③ 全壊と火災による建物被害のまとめ

全壊棟数と焼失棟数の合計が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース1」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の算出結果を下表に示す。

表 I.5-8-7 全壊棟数・焼失棟数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

全壊棟数（棟）										合計※1 （棟）	焼失 棟数 （棟）	全壊・ 焼失棟数 （棟）
木造				小計	非木造				小計			
揺れ	液状化	土砂 災害	津波		揺れ	液状化	土砂 災害	津波				
359	3,084	24	5,072	8,539	134	40	5	772	951	9,490	248	9,738

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

表 I.5-8-8 全壊棟数・焼失棟数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

全壊棟数（棟）										合計※1 （棟）	焼失 棟数 （棟）	全壊・ 焼失棟数 （棟）
木造				小計	非木造				小計			
揺れ	液状化	土砂 災害	津波		揺れ	液状化	土砂 災害	津波				
2,711	3,576	15	886	7,188	509	57	5	144	716	7,904	2,439	10,343

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

## (9) 人的被害

### ① 建物倒壊等による人的被害

建物倒壊（屋内収容物移動・転倒による被害を含む）、土砂災害、火災、津波、ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする死者、負傷者、重傷者（負傷者の内数）を市町・旧市町村単位で算出する。

津波による被害については、避難行動パターン（避難の有無、避難開始の時期）のうち早期避難者比率が低い場合により算出する。

山口県全域で集計した原因別人的被害の総数について、南海トラフ巨大地震の結果を下表に示す。また、周防灘断層帯による地震に伴う結果は次頁に示す。

南海トラフ巨大地震で死者数が最大となるのは「津波ケース5、冬・深夜、風速15m/s」で502人となり、原因別では津波によるものが474人（約94%）と最も多い。また、負傷者数が最大となるのは「津波ケース10、盆・夜、風速15m/s」で1,446人となり、原因別では建物倒壊等によるものが1,362人（約94%）と最も多い。

表 I.5-9-1 原因別人的被害（南海トラフ巨大地震）

	原因別人的被害（人）					計
	建物倒壊 <sup>※3</sup>	土砂災害	火災	津波 <sup>※4</sup>	その他 <sup>※5</sup>	
死者数 <sup>※1</sup>	26 (6)	2	*0	474	0	502
負傷者数 <sup>※2</sup>	1,362 (156)	3	11	4	67	1,446
重傷者数 <sup>※2</sup>	98 (31)	1	3	1	26	129

※1 死者数最大ケースは「津波ケース5 冬・深夜 風速15m/s」

※2 負傷者・重傷者数最大ケースは「津波ケース10 盆・夜 風速15m/s」

※3 ()内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す

※4 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで、津波倒壊よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

（詳細は、「I編 4.（7）留意事項」（I-42ページ）を参照。）

※5 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※6 重傷者数は負傷者数の内数

※7 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある

※8 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

周防灘断層帯による地震で死者数が最大となるのは「縦ずれのみ、冬・深夜、風速15m/s」で652人となり、原因別では津波によるものが452人（約69%）と最も多い。また、負傷者数が最大となるのは「横ずれあり、盆・夜、風速15m/s」で2,939人となり、原因別では建物倒壊等によるものが2,391人（約81%）と最も多い。

表 I.5-9-2 原因別人的被害（周防灘断層帯による地震）

	原因別人的被害（人）					計
	建物倒壊 <sup>※3</sup>	土砂災害	火災	津波 <sup>※4</sup>	その他 <sup>※5</sup>	
死者数 <sup>※1</sup>	188 (32)	1	10	452	0	652
負傷者数 <sup>※2</sup>	2,391 (491)	2	99	26	422	2,939
重傷者数 <sup>※2</sup>	303 (103)	1	28	9	165	505

※1 死者数最大ケースは「主部区間 縦ずれのみ 冬・深夜 風速15m/s」

※2 負傷者・重傷者数最大ケースは「主部区間 横ずれあり 盆・夜 風速15m/s」

※3 ()内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す

※4 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで、津波倒壊よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

（詳細は、「I編 4. (7) 留意事項」（I-42ページ）を参照。）

※5 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※6 重傷者数は負傷者数の内数

※7 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある

## ② 自力脱出困難者

建物の倒壊によって下敷き・生き埋めとなり、救出が必要となる自力脱出困難者の人数を市町単位に算出する。山口県全域で集計した自力脱出困難者数を下表に示す。なお、自力脱出困難者数は、過去の事例に基づき消防団により救出された要救助者の率から算出したもので、死者数とは重複しない。

南海トラフ巨大地震における自力脱出困難者数は盆・夜で最大となり、周防灘断層帯による地震では屋内滞留人口の多い冬・深夜で最大となった。

表 I.5.9-3 自力脱出困難者数（南海トラフ巨大地震）

自力脱出困難者(人)			
冬・深夜	夏・昼	冬・夕方	盆・夜
73	80	72	91

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5.9-4 自力脱出困難者数（周防灘断層帯による地震）

自力脱出困難者(人)			
冬・深夜	夏・昼	冬・夕方	盆・夜
714	589	604	648

※被害は山口県全域での集計値

### ③ 津波被害に伴う要救助者

津波の最大浸水深より高い階の滞留者を要救助者として算出する。山口県全域で集計した要救助者数を下表に示す。

南海トラフ巨大地震及び周防灘断層帯による地震で津波被害に伴う要救助者は夏・昼で最大となった。

表 I.5.9-5 津波被害に伴う要救助者・要遭難者（南海トラフ巨大地震、ケース1）

要救助者・要捜索者（人）			
冬・深夜	夏・昼	冬・夕方	盆・夜
1,486	2,005	1,788	1,812

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5.9-6 津波被害に伴う要救助者・要遭難者（周防灘断層帯による地震、横ずれあり）

要救助者・要捜索者（人）			
冬・深夜	夏・昼	冬・夕方	盆・夜
399	486	444	454

※被害は山口県全域での集計値

### ④ 災害関連死

東日本大震災の岩手県・宮城県や、令和6年能登半島地震の石川県における災害関連死者数と最大避難者数の関係に基づいて推計する。なお、避難者数が最大となる冬・夕方、風速 15m/s の条件で想定する。

災害関連死者数の合計が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース11」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の算出結果を以下に示す。

表 I.5-9-7 災害関連死者数（南海トラフ巨大地震、ケース11）

災害関連死者（人）	
最小	最大
641	1,282

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-9-8 災害関連死者数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

災害関連死者（人）	
最小	最大
838	1,677

※被害は山口県全域での集計値

#### ⑤ 交通人的被害（道路）

交通人的被害（道路）において想定される様相は以下のとおりである。

- ・ 橋梁の落下・崩壊に伴う事故、道路上への落石・道路の陥没等により、走行中の車両が巻き込まれる交通事故が発生する。
- ・ ドライバーの運転ミスによる交通事故が発生する。
- ・ 停電により信号が消灯し、交通事故や大規模な渋滞が発生する。
- ・ 道路損壊や交通事故、渋滞によって、緊急搬送車両が目的地へ到着できず、救助活動が遅延する。
- ・ 街路樹や電柱等の倒壊により、道路が通行不能となる。

#### ⑥ 交通人的被害（鉄道）

交通人的被害（鉄道）において想定される様相は以下のとおりである。

- ・ 列車脱線に伴い、沿線の住宅及び周囲の歩行者等を巻き込む二次被害が発生する。
- ・ 揺れによる線路の変形、線路脇の法面の崩壊・落石等により、列車が運行不能となる。
- ・ 列車の急停止に伴い、列車内の乗客の人的被害が発生する。

(10) ライフライン被害

① 上水道

県内の簡易水道や水道管（導水管、送水管、給水管を除く配水本管、配水支管）について、被害箇所数をメッシュ単位で算出し、市町ごとの断水人口を想定する。

上水道被害について、山口県全域での集計結果を下表に示す。

表 I.5-10-1 上水道の被害（南海トラフ巨大地震）

上水道											浄水場 被害 箇所数 (箇所)
総延長 (km)	被害 箇所数 (箇所)	給水人口 (人)	断水人口等（復旧予測）								
			被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
			断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	
10,376	172	1,342,058	85,592	6.4	48,519	3.6	9,446	0.7	0	0.0	0

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-10-2 上水道の被害（周防灘断層帯による地震）

上水道											浄水場 被害 箇所数 (箇所)
総延長 (km)	被害 箇所数 (箇所)	給水人口 (人)	断水人口等（復旧予測）								
			被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
			断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	
10,376	569	1,342,058	151,742	11.3	103,641	7.7	9,982	0.7	0	0.0	0

※被害は山口県全域での集計値

## ② 下水道

汚水管及び合流管を対象とし、県内の流域下水道、公共下水道、農業集落排水及び漁業集落排水の埋設管（取り付け管を除く幹線・枝線管きょ）について、被害延長をメッシュ単位で算出し、市町ごとの下水道機能支障人口を想定する。

下水道被害について、山口県全域での集計結果を下表に示す。

表 I.5-10-3 下水道の被害（南海トラフ巨大地震）

総延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)	処理人口 (人)	機能支障人口等（復旧予測）								処理場の 被害箇所数 (箇所)
				被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
				支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	
7,082	40	0.6	901,150	4,244	0.5	4,212	0.5	4,166	0.5	0	0.0	0

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-10-4 下水道の被害（周防灘断層帯による地震）

総延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)	処理人口 (人)	機能支障人口等（復旧予測）								処理場の 被害箇所数 (箇所)
				被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
				支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	
7,082	116	1.6	901,150	16,212	1.8	16,182	1.8	16,128	1.8	0	0.0	0

※被害は山口県全域での集計値

### ③ 電力

火災、揺れ、津波による停電軒数をメッシュ単位で算出する。電力被害は火災の影響を受けるため、火災による焼失棟数が最大となる冬・夕方 風速 15m/s の条件で被害想定を行う。

停電軒数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース1」、周防灘断層帯地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

南海トラフ巨大地震（ケース1）において、山口県全域で集計した停電軒数及び停電の復旧予測を下表に示す。

なお、1日後以降の停電軒数は、津波により建物全壊した需要家数に相当する停電軒数を応急復旧対象外として除いている。

表 I.5-10-5 停電軒数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

電柱			電灯					
本数 (本)	被害 本数 (本)	被害率 (%)	電灯軒数 (軒)	停電軒数				停電率 (%)
				火災 (軒)	揺れ (軒)	津波 (軒)	計 (軒)	
316,137	39	*0.0	940,739	236	6,689	6,518	13,443	1.4

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

表 I.5-10-6 停電の復旧予測（南海トラフ巨大地震、ケース1）

電灯軒数	直後				1日後		4日後		1週間後	
	停電軒数			停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)
	津波被害 (軒)	津波以外 の被害 (軒)	計 (軒)							
940,739	6,518	6,925	13,443	1.4	6,925	0.7	0	0.0	0	0.0

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要家数に相当する停電軒数6,518軒を応急復旧対象外として除いている。

周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）において、山口県全域で集計した停電軒数及び停電の復旧予測を下表に示す。

なお、1日後以降の停電軒数は、津波により建物全壊した需要家数に相当する停電軒数を応急復旧対象外として除いている。

表 I.5-10-7 停電軒数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

電柱			電灯					
本数 (本)	被害 本数 (本)	被害率 (%)	電灯軒数 (軒)	停電軒数				
				火災 (軒)	揺れ (軒)	津波 (軒)	計 (軒)	停電率 (%)
316,137	292	0.1	940,739	2,847	16,970	1,496	21,312	2.3

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

表 I.5-10-8 停電の復旧予測（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

電灯軒数	直後				1日後		4日後		1週間後	
	停電軒数			停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)
	津波被害 (軒)	津波以外 の被害 (軒)	計 (軒)							
940,739	1,496	19,816	21,312	2.3	19,816	2.1	0	0.0	0	0.0

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要家数に相当する停電軒数1,496軒を応急復旧対象外として除いている。

#### ④ 通信

##### ア 固定電話

県内の固定電話の回線数を対象として、火災、揺れ、津波、停電による不通回線数をメッシュ単位で算出する。通信の被害は火災の影響を受けるため、火災による焼失棟数が最大となる冬・夕方かつ風速 15m/s の条件で被害想定を行う。

固定電話不通回線数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース 1」、周防灘断層帯地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

南海トラフ巨大地震（ケース 1）において、山口県全域で集計した固定電話不通回線数及び復旧予測を下表に示す。

なお、1 日後以降の不通回線数は、津波により建物全壊した需要家数に相当する不通回線数を応急復旧対象外として除いている。

表 I.5-10-9 固定電話不通回線数（南海トラフ巨大地震、ケース 1）

電柱			回線							
本数 (本)	被害 本数 (本)	被害率 (%)	回線数 (回線)	不通回線					計 (回線)	不通率 (%)
				火災 (回線)	揺れ (回線)	津波 (回線)	停電 (回線)			
203,707	23	*0.0	410,374	94	16	2,551	4,885		7,546	1.8

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

表 I.5-10-10 固定電話不通回線の復旧予測（南海トラフ巨大地震、ケース 1）

回線数 (回線)	直後				1 日後		1 週間後		1 ヶ月後		
	不通回線			計 (回線)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)
	津波被害 (回線)	津波以外の 被害 (回線)									
410,374	2,551	4,995	7,546	1.8	4,995	1.2	4,995	1.2	0	0.0	

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1 日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要家数に相当する不通回線数 2,551 回線を応急復旧対象外として除いている。

周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）において、山口県全域で集計した固定電話不通回線数及び復旧予測を下表に示す。

なお、1日後以降の不通回線数は、津波により建物全壊した需要家数に相当する不通回線数を応急復旧対象外として除いている。

表 I.5-10-11 固定電話不通回線数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

電柱			回線							
本数 (本)	被害 本数 (本)	被害率 (%)	回線数 (回線)	不通回線					計 (回線)	不通率 (%)
				火災 (回線)	揺れ (回線)	津波 (回線)	停電 (回線)			
203,707	172	0.1	410,374	1,494	173	469	10,325		12,461	3.0

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

表 I.5-10-12 固定電話不通回線の復旧予測（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

回線数 (回線)	直後				1日後		1週間後		1ヶ月後	
	不通回線		計 (回線)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)
	津波被害 (回線)	津波以外の 被害 (回線)								
410,374	469	11,992	12,461	3.0	11,992	2.9	11,992	2.9	0	0.0

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要家数に相当する不通回線数469回線を応急復旧対象外として除いている。

## イ 携帯電話

携帯電話が通話規制による輻輳でなく、物理的に不通となる可能性をメッシュごとに3段階で評価する。携帯電話の被害は火災の影響を受けるため、火災による焼失棟数が最大となる冬・夕方かつ風速 15m/s の条件で被害想定を行う。

携帯電話不通回線数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース1」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

山口県全域で集計した携帯電話の不通エリア数を下表に示す。

なお、各ランクは次のように定義される。

ランクA：非常につながりにくい

ランクB：つながりにくい

ランクC：ややつながりにくい

表 I.5-10-13 携帯電話の不通エリア数（南海トラフ巨大地震）

（単位：メッシュ）

エリア数	不通エリア数			
	ランクA	ランクB	ランクC	合計
47,695	135	112	157	404

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-10-14 携帯電話の不通エリア数（周防灘断層帯による地震）

（単位：メッシュ）

エリア数	不通エリア数			
	ランクA	ランクB	ランクC	合計
47,695	25	53	242	320

※被害は山口県全域での集計値

## ⑤ ガス

県内の都市ガス供給エリアにおける低圧導管ブロックを対象として、供給停止戸数を算出する。供給停止判断は、製造設備の津波浸水、停電、揺れによる機能停止を考  
えて、ブロックが供給停止するものとする。

供給停止戸数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース1」、  
周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

南海トラフ巨大地震における山口県全域で集計したガス供給停止戸数を下表に示  
す。

表 I.5-10-15 ガス供給停止戸数（南海トラフ巨大地震）

供給戸数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)
156,582	4,672	3.0

※被害は山口県全域での集計値

周防灘断層帯による地震における山口県全域で集計したガス供給停止戸数を下表  
に示す。

表 I.5-10-16 ガス供給停止戸数（周防灘断層帯による地震）

供給戸数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)
156,582	7,935	5.1

※被害は山口県全域での集計値

## ⑥ 流通・小売

流通・小売で想定される様相は以下のとおりである。

### ア 物流の寸断

- ・道路施設、鉄道、港湾施設が被害を受けることで、広域で交通が寸断され、  
物流が長期間停止する。そのため、避難所への物資輸送にも大幅な遅れが  
発生する。

### イ 小売店舗の営業停止

- ・停電や断水が発生した場合、多くの小売店（スーパー、コンビニ等）が営業  
停止する。
- ・小売店舗が営業停止となることで、被災した住民は、食料や飲料、生活必需  
品等が入手困難となる。また、営業している小売店には人が集中するため、  
買い占めや品薄問題も発生する。

## (11) 交通施設被害

### ① 道路

#### ア 緊急輸送道路

緊急輸送道路のうち山口県が管理する橋梁(橋長 15m 以上)、トンネル、盛土、切土・斜面を対象として、揺れや液状化による被害箇所数をメッシュ単位で算出する。なお、橋梁については損傷程度別に被害箇所数を算出する。

山口県全域で集計した被害箇所数を下表に示す。

表 I.5-11-1 緊急輸送道路の被害箇所数(南海トラフ巨大地震)

損傷程度別橋梁数(箇所)					被害箇所数(箇所)			
軽微	小規模	中規模	大規模	合計	トンネル	盛土	切土・斜面	合計
258	62	2	0	322	2	1	9	12

※被害は山口県全域での集計値

※緊急輸送道路そのものの被害箇所ではなく、緊急輸送道路上の道路施設の被害である。

表 I.5-11-2 緊急輸送道路の被害箇所数(周防灘断層帯による地震)

損傷程度別橋梁数(箇所)					被害箇所数(箇所)			
軽微	小規模	中規模	大規模	合計	トンネル	盛土	切土・斜面	合計
275	108	6	5	394	1	2	7	10

※被害は山口県全域での集計値

※緊急輸送道路そのものの被害箇所ではなく、緊急輸送道路上の道路施設の被害である。

## イ 道路

東日本大震災の被害実績を踏まえた道路施設被害率を用いて、県内の道路に対し、揺れと津波浸水による被害箇所を算出する。

なお、本調査における「国道等」とは、一般国道、高速道路及び有料道路を指し、「その他」とは、国道等以外の道路（都道府県道、市町村道）を指す。

道路被害箇所数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース1」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

山口県全域で集計した被害箇所数を下表に示す。

表 I.5-11-3 道路の被害箇所数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

道路延長(km)			被害箇所数(箇所)						
国道等	その他	合計	国道等			その他			合計
			揺れ	津波	小計	揺れ	津波	小計	
2,376	16,066	18,442	37	17	53	176	87	263	316

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

表 I.5-11-4 道路の被害箇所数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

道路延長(km)			被害箇所数(箇所)						
国道等	その他	合計	国道等			その他			合計
			揺れ	津波	小計	揺れ	津波	小計	
2,376	16,066	18,442	93	5	99	285	41	326	424

※被害は山口県全域での集計値

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

## ② 鉄道

東日本大震災の被害実績を踏まえた鉄道施設被害率を用いて、県内の新幹線、在来線などを対象として揺れと津波浸水による被害箇所を算出する。

道路被害箇所数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース5」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

山口県全域で集計した被害箇所数を下表に示す。

表 I.5-11-5 新幹線・在来線の被害箇所数（南海トラフ巨大地震、ケース5）

被害箇所数（箇所）			
新幹線		在来線等	
揺れ	津波	揺れ	津波
3	0	113	59

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-11-6 新幹線・在来線の被害箇所数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

被害箇所数（箇所）			
新幹線		在来線等	
揺れ	津波	揺れ	津波
19	0	227	21

※被害は山口県全域での集計値

### ③ 港湾

国際拠点港湾、重要港湾及び地方港湾において、山口県が管理する係留施設（岸壁、物揚場）を対象として、揺れ及び津波による港湾施設の被害箇所数を算出する。

港湾施設の被害箇所数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース 11」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

山口県全域で集計した港湾施設被害箇所数を下表に示す。

なお、被害想定対象とする港湾施設については、「**第Ⅲ編 手法編**」に示す。

表 I.5-11-7 港湾施設の被害箇所数（南海トラフ巨大地震、ケース 11）

被害箇所数（箇所）	
揺れ	津波
103	0

※被害は山口県全域での集計

表 I.5-11-8 港湾施設の被害箇所数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

被害箇所数（箇所）	
揺れ	津波
143	0

※被害は山口県全域での集計

#### ④ 空港

山口宇部空港及び岩国錦帯橋空港を対象とし、空港機能の維持に重要な滑走路等について、津波浸水の影響、震度、液状化危険度、地盤沈下量から地震時の使用可能性を定性的に評価する。

##### ア 山口宇部空港

津波による浸水の影響はないが、周防灘断層帯による地震の場合、滑走路・誘導路部において震度が全体的に6強でPL値も5～15程度であることから、舗装部のクラックだけでなく、その他周辺護岸やエプロンの大規模変状の被害が考えられることから、空港を一時閉鎖し、広域点検及び応急復旧が必要となる。

表 I.5-11-9 山口宇部空港の被害程度

想定地震	震度	PL値	沈下量 (m)	液状化危険度
南海トラフ巨大地震	5強	0～5	0～0.1	可能性が低い
周防灘断層帯による地震	6強	5～15	0～0.1	可能性が高い

##### イ 岩国錦帯橋空港

南海トラフ巨大地震において、津波による浸水の影響の可能性はある。また、滑走路・誘導路部において震度が全体的に6弱でPL値も5～15程度であることから、舗装部のクラックや不同沈下、埋設物の損傷等の被害が考えられる。そのため、運用を一時停止し、沈下計測や舗装部・埋設物の健全性の確認等の点検を行い、被害状況に応じて空港を閉鎖する必要がある。

表 I.5-11-10 岩国錦帯橋空港の被害程度

想定地震	震度	PL値	沈下量 (m)	液状化危険度
南海トラフ巨大地震	6弱	5～15	0～0.1	可能性が高い
周防灘断層帯による地震	4	0	0	可能性はない

## (12) 生活支障

### ① 避難者

津波浸水、建物被害、ライフライン被害に伴い、発災1日後、1週間後、1ヶ月後の避難所避難者数及び避難所外避難者数を市町単位で算出する。建物被害やライフライン被害は火災による影響を受けるため、避難者数が最大となる冬・夕方かつ風速15m/sの条件で想定を行う。

避難者数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース11」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

また、各想定地震の避難所避難者数をもとに、避難所避難者数の内数として避難所に避難する要配慮者を算出する。

山口県全域で集計した避難者数及び要配慮者数を下表に示す。

表 I.5-12-1 避難者数及び要配慮者数（南海トラフ巨大地震、ケース11）

発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
計	避難者（人）			計	避難者（人）			計	避難者（人）		
	避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者		避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者		避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者
245,720	160,290	(83,233)	85,433	132,110	97,723	(51,212)	34,387	132,290	39,687	(20,758)	92,603

※被害は山口県全域での集計値

※「要配慮者」は「避難所（避難所避難者）」の内数

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

表 I.5-12-2 避難者数及び要配慮者数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
計	避難者（人）			計	避難者（人）			計	避難者（人）		
	避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者		避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者		避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者
335,650	209,610	(103,517)	126,040	265,900	154,540	(74,199)	111,360	266,050	79,815	(38,189)	186,240

※被害は山口県全域での集計値

※「要配慮者」は「避難所（避難所避難者）」の内数

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

## ② 帰宅困難者

各地区に滞留する就業、就学者のうち、代表交通手段が鉄道、バス、自動車、二輪車の「帰宅距離別滞留人口」に対して、東日本大震災の帰宅実態調査結果に基づく外出距離別帰宅困難率を乗じて算出する。なお、帰宅困難者数は平日の昼間に地震が発生した場合を想定している。

山口県全域で集計した帰宅困難者数を下表に示す。

表 I.5-12-3 帰宅困難者数（南海トラフ巨大地震）

外出者数 (人)	帰宅困難者		滞留者	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
686,731	67,113	10	75,614	11

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-12-4 帰宅困難者数（周防灘断層帯による地震）

外出者数 (人)	帰宅困難者		滞留者	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
686,731	65,618	10	73,718	11

※被害は山口県全域での集計値

### ③ 物資需要量

避難所生活者を対象として、食糧・給水・生活必需品需要量を算出する。想定は、被害が最大となる冬・夕方かつ風速 15m/s の条件で行う。

物資需要量が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース 11」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

なお、下表に示す食糧需要と給水需要は 1 日当りの需要量である。

表 I.5-12-5 物資需要量（南海トラフ巨大地震、ケース 11）

発災当日・1日後			1週間後			1ヶ月後		
食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)
57.7	53.7	32.1	35.2	30.4	19.5	14.3	12.2	7.9

※被害は山口県全域での集計値  
※生活必需品は毛布を対象

表 I.5-12-6 物資需要量（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

発災当日・1日後			1週間後			1ヶ月後		
食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)
75.5	74.5	41.9	55.6	48.5	30.9	28.7	24.2	16.0

※被害は山口県全域での集計値  
※生活必需品は毛布を対象

④ 仮設トイレ必要量

避難所生活者を対象者として、仮設トイレ必要量を算出する。想定は、被害が最大となる冬・夕方かつ風速 15m/s の条件で行う。

なお、仮設トイレの必要容量は1日当りの必要容量を示す。

表 I.5-12-7 仮設トイレ必要量（南海トラフ巨大地震、ケース 11）

発災当日・1日後		1週間後		1ヶ月後	
必要基数 (基)	必要容量 (万L)	必要基数 (基)	必要容量 (万L)	必要基数 (基)	必要容量 (万L)
1,602.9	57.7	977.2	35.2	396.9	14.3

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-12-8 仮設トイレ必要量（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

発災当日・1日後		1週間後		1ヶ月後	
必要基数 (基)	必要容量 (万L)	必要基数 (基)	必要容量 (万L)	必要基数 (基)	必要容量 (万L)
2,096.1	75.5	1,545.4	55.6	798.2	28.7

※被害は山口県全域での集計値

⑤ 医療機能支障

平常時入院者数のうち、医療機関自体の破損、ライフラインの途絶による要転院患者数の算出と、入院需要発生数から医療機関の重傷者受け入れ許容量を差し引いたときの医療需要過不足数の算出を、二次医療圏単位で行う。

転院数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース 11」、周防灘断層帯地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。

山口県全域で集計した要転院患者数と医療需要過不足数を下表に示す。過不足数の正の値は、不足しないことを表す。

表 I.5-12-9 要転院患者数と医療需要過不足数（南海トラフ巨大地震、ケース 11）

(単位：人)

二次医療圏	空床数	冬・深夜			夏・昼			冬・夕方			盆・夜		
		転院	過不足		転院	過不足		転院	過不足		転院	過不足	
			入院	外来		入院	外来		入院	外来		入院	外来
岩国	420	19	237	-416	19	212	-431	19	218	-366	19	211	-416
柳井	274	0	180	-293	0	171	-476	0	180	-323	0	146	-619
周南	534	*0	500	352	*0	505	339	*0	505	350	*0	506	351
山口・防府	819	0	717	518	0	721	520	0	721	521	0	721	521
宇部・小野田	1,240	0	1,230	701	0	1,230	686	0	1,230	697	0	1,230	698
下関	1,000	0	702	317	0	703	317	0	703	318	0	702	318
長門	112	0	112	92	0	112	92	0	112	92	0	112	92
秋	188	1	130	52	1	130	53	1	130	52	1	130	53
合計	4,590	20	3,810	1,320	20	3,790	1,100	20	3,800	1,340	20	3,760	998

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-12-10 要転院患者数と医療需要過不足数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

(単位：人)

二次医療圏	空床数	冬・深夜			夏・昼			冬・夕方			盆・夜		
		転院	過不足		転院	過不足		転院	過不足		転院	過不足	
			入院	外来		入院	外来		入院	外来		入院	外来
岩国	420	10	275	133	10	279	138	10	278	136	10	278	136
柳井	274	1	190	87	1	203	95	1	201	93	1	205	93
周南	534	0	513	280	0	509	86	0	484	158	0	486	157
山口・防府	819	0	491	-1,010	0	498	-1,040	0	433	-985	0	418	-1,080
宇部・小野田	1,240	1	1,110	262	1	1,100	161	1	1,070	207	1	1,080	211
下関	1,000	68	617	266	68	616	222	68	613	248	68	611	201
長門	112	*0	78	64	*0	78	64	*0	78	64	*0	78	64
秋	188	40	86	35	40	86	35	40	85	34	40	85	34
合計	4,590	120	3,360	114	120	3,370	-244	120	3,250	-45	120	3,240	-178

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

## ⑥ 必要仮設住宅数

住所を失った世帯（建物棟数）に対して、利用可能な賃貸住宅の空き家を差し引いた時の必要仮設住宅数を市町単位で算出する。

なお、市町ごとに必要仮設住宅数を算出することから、市町ごとで需要数に対して空き家の余剰分が発生する場合、山口県全域での必要仮設住宅数の集計値は需要数－空き家数の値とは一致しない。

必要仮設住宅数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「津波ケース1」、周防灘断層帯地震は「縦ずれのみ」の被害量を算出する。なお、建物被害棟数が最大となる冬・夕方かつ風速15m/sの条件とする。

山口県全域で集計した必要仮設住宅数を下表に示す。

表 I.5-12-11 必要仮設住宅数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

冬・夕方 風速15m/s		
応急住宅 需要数 (棟)	賃貸住宅の 空き家 (棟)	必要仮設 住宅数 (棟)
58,879	53,598	33,735

※山口県全域での集計値

表 I.5-12-12 必要仮設住宅数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

冬・夕方 風速15m/s		
応急住宅 需要数 (棟)	賃貸住宅の 空き家 (棟)	必要仮設 住宅数 (棟)
50,516	53,598	12,967

※山口県全域での集計値

## ⑦ ゼロメートル地帯の長期湛水

ゼロメートル地帯での長期湛水で想定される様相は以下のとおりである。

- ・ゼロメートル地帯は、津波による浸水が発生すると自然排水ができず、排水作業が必要となるため、湛水が長期化する可能性がある。
- ・自宅そのものに被害がなく在宅で生活可能な人であっても、周辺の湛水によって道路が通行不能となることで、日常生活に様々な支障が生じる。
- ・湛水エリアにおける排水や復旧作業が長期化した場合は、作業人員の不足やコスト増大等の問題も発生する。

## ⑧ 保健衛生、防疫、遺体処理等必要資源

保健衛生、防疫、遺体処理等において想定される様相は以下のとおりである。

### ア 避難所での衛生環境

- ・発災後、避難所に多くの避難者が集中することで仮設トイレの必要数の確保が困難となる。さらに道路の寸断や交通途絶により搬入が遅延し、避難者数に対して必要な基数を早期に確保できない状況が生じる。

### イ 冬季の感染症リスク

- ・避難所に避難者が集中した場合、一人あたりの居住スペースが狭くなり、隣との距離も近くなることで、冬季にはインフルエンザ等の感染症が避難所内で流行するリスクが高まる。
- ・感染者が急増した場合、避難所内の医薬品が不足し、医療従事者の確保が困難となる。

### ウ 夏季の熱中症、脱水症状の増加

- ・夏に発災した場合、停電等で冷房設備が使用できない避難所は高温環境となるため、高齢者や幼児を中心に熱中症リスクが高まる。
- ・衛生面の不安やトイレ利用のためらい等により水分摂取を控える傾向が生じ、脱水による熱中症を発症しやすくなる。
- ・避難所生活の疲労・ストレス・睡眠不足による体力低下や、炎天下での復旧作業等の慣れない重労働も熱中症リスクを増大させる要因となる。

### エ 遺体処理等

- ・地震や土砂災害により主要道路が寸断され、遺体の搬送に遅れが生じる。
- ・停電や燃料不足によって稼働できる火葬炉が平常時より減少する。

(13) その他施設等の被害

① 石油コンビナート地区

阪神・淡路大震災と東日本大震災の危険物施設被害実態に基づき、地震動による石油コンビナート地区ごとの危険物の火災、流出、破損箇所数を算出する。

山口県全域で集計した被害箇所数を下表に示す。

表 I.5-13-1 石油コンビナート施設の被害箇所数（南海トラフ巨大地震）

地区名	施設数	被害箇所数（箇所）			
		出火	漏洩	破損等	計
岩国・大竹地区	497	0	0	0	0
周南地区	1,544	0	0	0	0
宇部・小野田地区	517	*0	*0	16	17
六連島地区	25	0	0	0	0
合計	2,583	*0	*0	16	17

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-13-2 石油コンビナート施設の被害箇所数（周防灘断層帯による地震）

地区名	施設数	被害箇所数（箇所）			
		出火	漏洩	破損等	計
岩国・大竹地区	497	0	*0	3	4
周南地区	1,544	*0	1	19	20
宇部・小野田地区	517	0	*0	5	6
六連島地区	25	0	0	0	0
合計	2,583	*0	2	28	30

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

## ② 孤立集落の発生

県内の農業集落、漁業集落のうち、孤立に至る可能性のある集落を対象とし、震度5強以上のエリアにある集落又は、その集落（町丁目単位）の50%以上が浸水する集落とその集落に含まれる世帯数を算出する。山口県全域で集計した孤立集落数と孤立世帯数を下表に示す。

表 I.5-13-3 孤立集落における世帯数（南海トラフ巨大地震）

農業集落		漁業集落		合計	
孤立集落数 （集落）	孤立世帯数 （世帯）	孤立集落数 （集落）	孤立世帯数 （世帯）	孤立集落数 （集落）	孤立世帯数 （世帯）
87	2,700	33	3,681	120	6,381

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-13-4 孤立集落における世帯数（周防灘断層帯による地震）

農業集落		漁業集落		合計	
孤立集落数 （集落）	孤立世帯数 （世帯）	孤立集落数 （集落）	孤立世帯数 （世帯）	孤立集落数 （集落）	孤立世帯数 （世帯）
78	2,345	14	2,589	92	4,934

※被害は山口県全域での集計値

### ③ 重要施設

以下の重要施設について地震時の使用性を施設ごとに算出する。なお、被害が最大となる冬・夕方かつ風速 15m/s の条件で算出を行う。

山口県全域で集計した地震時使用性区分ごとの施設数を下表に示す。

- ・災害対策本部及び消防活動拠点となる施設（県庁舎、市町村庁舎、警察署、消防署等）
- ・避難拠点施設（学校、公民館、福祉施設等）
- ・医療拠点施設（主要病院）

地震時使用性の指標は次のとおり定義される。

- ×：機能に支障をきたす可能性がある
- △：概ね使用可能であるが、一部使用に制限が生じる可能性がある
- ：使用可能である

表 I.5-13-5 重要施設の地震時使用性（南海トラフ巨大地震、ケース1）

(単位：箇所)

	×	△	○	合計
災害対策拠点施設	106	18	700	824
避難拠点施設	167	35	1,382	1,584
医療拠点施設	11	2	43	56
合計	284	55	2,125	2,464

※被害は山口県全域の集計値

表 I.5-13-6 重要施設の地震時使用性（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

(単位：箇所)

	×	△	○	合計
災害対策拠点施設	226	16	582	824
避難拠点施設	568	36	980	1,584
医療拠点施設	4	0	52	56
合計	798	52	1,614	2,464

※被害は山口県全域の集計値

#### ④ ため池

県内のため池のうち、破堤した場合の被害予測戸数が10戸以上かつ貯水容量5,000m<sup>3</sup>以上の589箇所（重ね池を考慮した場合551箇所）のため池を対象として、堤体・基礎地盤の耐震性と震度分布から地震時の危険度を算出する。山口県全域で集計した危険度ランク別のため池数、影響人口、影響戸数を下表に示す。

「影響戸数」は、ため池が破堤した場合に、被害が及ぶ範囲内にある人家戸数を指す。「影響人口」は、令和2年国勢調査の山口県の1世帯当たり人員2.18人（≒3人）を用いて算出する。

なお、危険度ランクは次のように定義される。

- A：ため池の破壊による災害発生の危険性が高い
- B：ため池の破壊による災害発生の危険性がやや高い
- C：ため池の破壊による災害発生の危険性が低い

表 I.5-13-7 ため池の危険度ランク（南海トラフ巨大地震）

項目	危険度ランク			合計
	A	B	C	
箇所数（箇所）	0	3	548	551
影響人口（人）	0	249	189,705	189,954
影響戸数（戸）	0	83	63,235	63,318

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-13-8 ため池の危険度ランク（周防灘断層帯による地震）

項目	危険度ランク			合計
	A	B	C	
箇所数（箇所）	9	33	509	551
影響人口（人）	4,437	13,506	172,011	189,954
影響戸数（戸）	1,479	4,502	57,337	63,318

※被害は山口県全域での集計値

⑤ 災害廃棄物発生

建物の全壊等によるがれきや片付けごみ及び公物等の災害廃棄物、津波により生じる土砂・泥状物等の津波堆積物の発生量、災害廃棄物の必要仮置き場面積を算出する。なお、建物被害棟数が最大となる冬・夕方かつ風速 15m/s の条件とする。

山口県全域で集計した災害廃棄物発生量を下表に示す。

表 I.5-13-9 災害廃棄物発生量（南海トラフ巨大地震、ケース1）

解体廃棄物 木造 (万t)	解体廃棄物 非木造 (万t)	片付けごみ 及び公物等 (万t)	津波堆積物 (万t)	仮置き場 面積 (ha)	災害 廃棄物量 (万t)
100.8	22.5	68.8	234.3	63.4	192.1

※被害は山口県全域での集計値

※津波堆積物は南海トラフ巨大地震の最大包絡

表 I.5-13-10 災害廃棄物発生量（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

解体廃棄物 木造 (万t)	解体廃棄物 非木造 (万t)	片付けごみ 及び公物等 (万t)	津波堆積物 (万t)	仮置き場 面積 (ha)	災害 廃棄物量 (万t)
92.1	16.9	52.9	136.3	53.7	162.0

※被害は山口県全域での集計値

※津波堆積物は周防灘断層帯による地震の最大包絡

## ⑥ 道路閉塞

道路の閉塞により、人命救助、消防活動・避難等が困難となることから、阪神・淡路大震災時の調査データに基づき、家屋等の倒れ込みによる道路リンクの閉塞率をメッシュごとに算出する。山口県全域で集計した幅員 13m 未満の道路延長に対する道路リンク閉塞率の割合を下表に示す。

表 I.5-13-11 道路リンク閉塞率の割合（南海トラフ巨大地震）

道路リンク閉塞率の割合						
0%	0～2%	2～5%	5～10%	10～20%	20～50%	50%超
85.6%	10.1%	2.3%	1.4%	0.5%	0.1%	0.0%

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-13-12 道路リンク閉塞率の割合（周防灘断層帯による地震）

道路リンク閉塞率の割合						
0%	0～2%	2～5%	5～10%	10～20%	20～50%	50%超
73.0%	19.2%	3.5%	2.0%	1.9%	0.4%	*0.0%

※被害は山口県全域での集計値

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

⑦ エレベータ内閉じ込め

安全装置作動に伴う停止、揺れによる故障に伴う停止、停電による停止によってエレベータ内に閉じ込められる人数を、エレベータ設置建物数及びエレベータ台数を算定して、メッシュごとに算出する。なお、エレベータ内閉じ込め者数は朝7～8時に地震が発生した場合を想定している。

山口県全域で集計したエレベータ内閉じ込め者数を下表に示す。

表 I.5-13-13 エレベータ内閉じ込め者数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

被害エレベータ台数（台）				エレベータ内閉じ込め者数（人）			
安全装置	揺れ故障	停電停止	合計	安全装置	揺れ故障	停電停止	合計
7	66	504	577	*0	3	14	18

※被害は山口県全域での集計値

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-13-14 エレベータ内閉じ込め者数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

被害エレベータ台数（台）				エレベータ内閉じ込め者数（人）			
安全装置	揺れ故障	停電停止	合計	安全装置	揺れ故障	停電停止	合計
170	1,820	1,910	3,900	6	59	53	118

※被害は山口県全域での集計値

⑧ 人口造成地（造成盛土等）

人口造成地において想定される様相は以下のとおりである。

- ・造成地の崩壊により宅地地盤が変位し、建物の倒壊・損等の被害が生じる。
- ・造成地崩壊に伴う建物被害によって、人的被害発生の可能性が高まる。
- ・全壊・半壊に至らない建物であっても、地盤変動に伴う地表面の傾斜等によって居住が困難となる場合がある。
- ・造成地崩壊により流出した土砂が道路上に堆積し、道路が寸断されることで、避難や救助活動に支障が生じる。
- ・崩壊した地盤が、その後の降雨等によって再度崩壊し、建物被害や人的被害が拡大するおそれがある。

## ⑨ 文化財

揺れ・延焼火災・津波浸水によって被害を受ける国宝・重要文化財をメッシュごとに算出する。山口県全域で集計した文化財の被害件数を下表に示す。

なお、南海トラフ巨大地震の津波浸水による被害2件の内訳は、下関市で1件、上関町で1件である。

表 I.5-13-15 文化財被害件数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

（単位：件数）

揺れ	延焼火災	津波浸水	合計
0	0	2	2

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-13-16 文化財被害件数（周防灘断層帯地震による地震、縦ずれのみ）

（単位：件数）

揺れ	延焼火災	津波浸水	合計
0	0	0	0

※被害は山口県全域での集計値

## ⑩ 漁業施設（漁船）

山口県内の各漁港（93港）に停泊している漁船を（5,014隻）対象として、津波によって被害を受ける漁船数を算出する。なお、津波の流速分布を基に被害を受ける可能性がある漁港を選定し、漁船は各漁港の係留施設前面泊地に停泊していると想定し、各漁港単位で被害隻数を算出する。山口県全域で集計した漁船の被害漁港及び漁船数を下表に示す。

表 I.5-13-17 漁船想定被害隻数（南海トラフ巨大地震、ケース11）

被害漁港 （漁港数）	被害漁船 （隻数）
29	1,825

※被害は山口県全域での集計値

表 I.5-13-18 漁船想定被害隻数（周防灘断層帯地震による地震、縦ずれのみ）

被害漁港 （漁港数）	被害漁船 （隻数）
28	1,705

※被害は山口県全域での集計値

#### ⑪ 地下空間（地下街）

地下空間において想定される様相は以下のとおりである。

- ・ 揺れにより、天井や壁面部材が落下し、人的被害が発生する。
- ・ 停電が発生すると、昼間であっても採光が困難となり、避難行動や救助活動において支障が生じる。
- ・ 出入口が限定されているため、一斉に避難行動を開始すると群衆雪崩などによる人的被害が発生する可能性がある。

## ⑫ その他の定性的な評価が可能な事項

### ア 長周期地震動による被害の様相

長周期地震動において想定される被害の様相は以下のとおりである。

周防灘断層帯で発生する地震は活断層型であり、長周期地震動による影響は比較的軽微であると想定される。このため、南海トラフ巨大地震と比較すると、長周期地震動に伴う高層建築物等への被害は小さいと考えられる。

以上を踏まえ、本項では南海トラフ巨大地震における被害の様相を記載する。

- ・地震動の卓越周期と高層建築物の固有周期が一致した場合、揺れが大きく増幅する。
- ・高層建築物の高層階では揺れが大きく、かつ長時間続くため、固定していない家具や什器が転倒し、人的被害が発生する可能性がある。
- ・石油コンビナートのタンクでスロッシング現象が発生した場合、タンク内の液面が大きく動揺し、設備の損傷や内容物漏洩のリスクが高まる。

### イ 道路上への落石・崩土による被害の様相

道路上への落石・崩土において想定される被害の様相は以下のとおりである。

- ・大量の落石や土砂によって道路が通行止めになり、避難や救助に支障が生じる。
- ・落石・崩土によって道路施設や道路構造物が破損する。
- ・走行中の自動車が落石や崩土に巻き込まれ、人的被害が発生する可能性がある。また、落石や崩土に巻き込まれた被災者を救助するために赤外線探知機等の機材が必要となる。
- ・被災者の探索・救助活動は危険な場所での作業となるため、レスキュー部隊等の特殊な人的資源が必要となる。

### ウ 大規模集客施設等の被害の様相

大規模集客施設等において想定される被害の様相は以下のとおりである。

- ・強い揺れに伴い建物が全半壊した場合、施設利用者の人的被害が生じる。
- ・施設内の陳列棚の転倒や商品の落下によって利用者が死傷する可能性がある。
- ・施設の営業時間中は多くの施設利用者が滞留していると想定される。そのため、一斉に避難行動を開始すると入口付近に利用者が滞留し、群衆雪崩等の人的被害が発生する可能性がある。
- ・多くの利用者が滞留する中で、停電や火災の発生、情報提供の遅れなど複数の要因が重なることにより、利用者の心理的不安が増幅しパニックが発生する可能性がある。

## エ 複合災害

複合災害について、中林（2008）<sup>16</sup>は「複数の災害に同時あるいは連続して被災して被害が拡大し、災害対応の困難性が増す災害事象」と定義している。

本項では、地震災害に関連する複合災害を対象に、想定される被害の様相を記載する。

- ・地震発生後に台風や豪雨災害等の風水害が重なる場合、地震動によって緩んだ斜面や地盤が降雨により再び崩壊し、土砂災害発生リスクが高まる。この結果、道路が遮断され、再び孤立集落が生じる可能性があるほか、物資輸送や人員移動が制限されることによって、被災地での救援・復旧・復興活動が遅延する可能性がある。
- ・揺れ・液状化・津波により堤防や護岸等の機能が低下した場合、台風や豪雨に伴う洪水や高潮を十分に防ぐことができず、さらなる建物被害や死傷者の増加が見込まれる。
- ・地震による被害を免れた住家であっても、土砂災害や洪水によって新たに被害を受け、避難所生活を余儀なくされる可能性がある。

## オ 治安

地震発生時の治安において想定される様相は以下のとおりである。

### 1) デマ等の発生

- ・数日後にさらに大きな被害が発生、工業地帯での火災や爆発が発生、全国的な物資の枯渇等、被災者の不安を煽るようなデマ情報が流布する。

### 2) 暴行・傷害事案の発生

- ・物資が不足している避難所や生活環境が劣悪な避難所では、避難者同士または避難者と支援者（行政職員やボランティア等）とのトラブルや暴力事件が発生する可能性がある。

### 3) 悪徳商法や詐欺被害の発生

- ・比較的被害が軽微だった地域を中心に、地震が時間差で発生することを謳い、家屋点検を働きかける悪徳商法が発生する。
- ・偽の義援金サイト等で、義援金や募金を呼び掛ける詐欺被害が発生する。

### 4) 窃盗被害の発生

- ・店員等が避難して不在となった店舗では、物品の窃盗等の被害が発生する。
- ・住民が避難して不在となった住家への空き巣被害が発生する。

## (14) 経済被害

### ① 推計の前提

経済被害の対象を直接被害額として、被害を受けた施設及び資産の復旧、再建に要する費用を被害額として算出する。なお、経済被害は過去に発生した地震の地震被害に関する統計データ等から被害量を算出した想定であり、必ずしも想定どおりの被害が発生するとは限らない。

地震の発生条件は、建物被害棟数が最大となる冬・夕方かつ風速 15m/s とする。

### ② 直接被害額推計結果

#### ア 経済被害の総額

南海トラフ巨大地震において、経済被害額は、約 1.9 兆円と想定される。建物倒壊等による資産への被害額は約 1.3 兆円（総額の 67%）となる。ライフライン及び交通機関、その他（砂防等）からなる社会基盤への被害額は約 0.6 兆円（同 33%）となる。

周防灘断層帯による地震では、経済被害額は約 2.2 兆円と想定される。建物倒壊等による資産への被害額は約 1.4 兆円（総額の 63%）となる。ライフライン及び交通機関、その他（砂防等）からなる社会基盤への被害額は約 0.8 兆円（同 37%）となる。

表 I.5-14-1 経済被害の総額（南海トラフ巨大地震、ケース 1）

項目	建物倒壊等による 資産への被害	社会基盤への被害	合計
経済被害の総額（億円）	12,933	6,412	19,344
経済被害の構成比（%）	67	33	100

表 I.5-14-2 経済被害の総額（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

項目	建物倒壊等による 資産への被害	社会基盤への被害	合計
経済被害の総額（億円）	14,014	8,281	22,295
経済被害の構成比（%）	63	37	100

## イ 被害内容別の被害額

南海トラフ巨大地震においては、建物倒壊等による資産への被害額は、住宅の損害額が約 6,600 億円 (51%) と最も大きな割合を占める。また、社会基盤への被害額については、その他 (砂防等) の被害額が約 2,800 億円 (49%) と最も大きな割合を占める。周防灘断層帯地震においては、建物倒壊等による資産への被害額は、非住宅の損害額が約 6,300 億円 (45%) と最も大きな割合を占める。また、社会基盤への被害額については、交通施設の被害額が約 4,300 億円 (54%) と最も大きな割合を占める。

集計した被害内容別の建物倒壊等による被害額及び社会基盤への被害額を次頁以降に示す。

表 I.5-14-3 建物倒壊等による経済被害（南海トラフ巨大地震）

項目	家計部門			産業及び公共部門				合計
	住宅	家財	小計	非住宅	償却資産	在庫資産	小計	
被害額 (億円)	6,552.7	1,891.4	8,444.1	4,254.0	143.1	91.5	4,488.6	12,932.6
被害額の 構成比(%)	50.7	14.6	65.3	32.9	1.1	0.7	34.7	100.0

表 I.5-14-4 社会基盤への経済被害（南海トラフ巨大地震）

項目	ライフライン						交通施設				その他			合計	
	電力施設	通信施設	ガス施設	上水道施設	下水道施設	小計	道路	鉄道	港湾	小計	その他 土木施設	農地	災害 廃棄物		小計
被害額 (億円)	0.5	31.3	3.5	13.6	128.2	177.0	103.9	39.9	3,097.9	3,241.7	1,416.3	1,154.1	422.7	2,993.1	6,411.8
被害額の 構成比(%)	0.0	0.5	0.1	0.2	2.0	2.8	1.6	0.6	48.3	50.6	22.1	18.0	6.6	46.7	100.0

表 I.5-14-5 建物倒壊等による経済被害（周防灘断層帯）

項目	家計部門			産業及び公共部門				合計
	住宅	家財	小計	非住宅	償却資産	在庫資産	小計	
被害額 (億円)	5,583.6	1,842.1	7,425.7	6,334.1	156.0	97.9	6,588.0	14,013.7
被害額の 構成比(%)	39.8	13.1	53.0	45.2	1.1	0.7	47.0	100.0

表 I.5-14-6 社会基盤への経済被害（周防灘断層帯）

項目	ライフライン						交通施設				その他			合計	
	電力施設	通信施設	ガス施設	上水道施設	下水道施設	小計	道路	鉄道	港湾	小計	その他 土木施設	農地	災害 廃棄物		小計
被害額 (億円)	3.5	51.7	5.9	24.1	370.0	455.2	164.9	61.1	4,295.6	4,521.7	2,054.5	893.1	356.4	3,304.0	8,280.9
被害額の 構成比(%)	0.0	0.6	0.1	0.3	4.5	5.5	2.0	0.7	51.9	54.6	24.8	10.8	4.3	39.9	100.0

### ③ 間接被害額推計結果

被災後の生産低下による影響を、生産関数を用いて県内総生産の減少を求め、間接経済被害額として算出する。

地震の発生条件は、直接経済被害額が最大となる冬・夕方かつ風速 15m/s とする。

表 I.5-14-7 間接経済被害予測結果（南海トラフ巨大地震、ケース 1）

被災前		被災後		GRP低減額 (億円/年)
人口 (人)	資本ストック (億円)	人口 (人)	資本ストック (億円)	
1,342,059	218,423	1,341,720	212,889	951

表 I.5-14-7 間接経済被害予測結果（周防灘断層帯、縦ずれのみ）

被災前		被災後		GRP低減額 (億円/年)
人口 (人)	資本ストック (億円)	人口 (人)	資本ストック (億円)	
1,342,059	218,423	1,341,293	212,610	1,007

## (15) 防災・減災対策の効果

今後の防災対策を推進することによる、人的被害の減災効果を試算した。

津波・建物倒壊による死者数が最大となるケースとして、南海トラフ巨大地震は「ケース5、冬・深夜、風速 15m/s」、周防灘断層帯による地震は「縦ずれのみ、冬・深夜、風速 15m/s」により行った。

### ① 津波からの早期避難による軽減

推計した避難の開始時期の条件については、地震発生後すぐに避難する早期避難者の割合を 20%と設定しているが、県民の津波に対する防災意識の向上が図られ、早期避難者の割合が 100%（地震発生後すぐに全員が避難を開始する）になることで、南海トラフ巨大地震は津波による死者数は 474 人から 134 人に減少（約 72%減少）、周防灘断層帯による地震は津波による死者数は 452 人から 300 人に減少（約 34%減少）する。

この場合でも、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達より早く浸水することによる人的被害は発生する。

一方で、内閣府（2025b）<sup>14</sup>における「堤防が機能する場合」の条件下では、早期避難率 100%の場合の死者数は 0 人となる。

### ② 建物の耐震化促進等による軽減

県内の住宅について、旧耐震基準の建物の建て替えや耐震化により、耐震性を強化し全ての建物の耐震化率を 100%まで向上させるとともに、家具等の転倒・落下防止対策を 100%実施した場合、南海トラフ巨大地震は建物の倒壊等による死者数が 26 人から 0 人となる。また負傷者数については 1,362 人から 93 人に減少（約 93%減少）する。周防灘断層帯による地震は建物の倒壊等による死者数が 188 人から 9 人となる。また負傷者数については 2,391 人から 35 人に減少（約 82%減少）する。

さらに、住宅の耐震化を行うことで、建物倒壊による火気器具や電熱器具からの出火リスクを低減できる。また、建物倒壊による避難路の閉塞を防ぎ、延焼拡大時における避難路の確保にも寄与する。

(16) 市町別総括表

「(6) 地震動」～「(14) 経済被害」の各想定項目について、市町別総括表を以下に示す。旧市町村単位で算出した項目については、旧市町村別総括表も併せて示す。

なお、市町別集計を行っていない項目については、それぞれの集計単位に応じた総括表を示す。

① 地震動・液状化・土砂災害

表 I.5-16-1 市町別基礎データ (地震動・液状化・土砂災害)

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	地震動 震度							液状化 沈下量										土砂災害 危険度ランクA の箇所数 (箇所)		
	面積割合 (%)							面積割合 (%)					PL値 面積割合 (%)					急傾斜地	地すべり	山腹崩壊
	4以下	5弱	5強	6弱	6強	7	S=0.0m	0.0m<S<0.1m	0.1m≤S<0.3m	0.3m≤S<0.5m	0.5m≤S	かなり低い	低い	高い	かなり高い	極めて高い				
												PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL≤30	30<PL				
下関市	99.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	99.0	0.9	0.0	*0.0	0.0	99.0	0.8	0.2	0.0	0.0	0	0	0	
宇部市	82.9	13.6	3.5	0.0	0.0	0.0	92.0	6.2	1.8	0.0	0.0	92.0	6.3	0.8	0.8	0.0	0	0	0	
山口市	65.7	34.0	0.3	0.0	0.0	0.0	97.6	1.5	0.9	0.0	0.0	97.6	1.3	1.0	0.1	0.0	0	0	0	
萩市	88.3	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	99.9	0.1	0.0	0.0	0.0	99.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0	
防府市	77.3	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	92.1	1.7	6.2	0.0	0.0	92.1	3.8	4.1	*0.0	0.0	0	0	0	
下松市	44.3	55.4	0.3	0.0	0.0	0.0	94.0	5.8	0.2	0.0	0.0	94.0	5.8	0.0	0.2	0.0	0	0	0	
岩国市	8.1	67.2	20.6	4.1	0.0	0.0	95.1	3.1	1.7	*0.0	0.0	95.1	1.1	1.7	1.9	0.1	122	6	19	
光市	2.6	87.7	9.7	0.0	0.0	0.0	79.6	11.0	9.4	0.0	0.0	79.6	7.3	13.1	0.0	*0.0	1	0	0	
長門市	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	
柳井市	*0.0	52.9	41.6	5.3	0.2	0.0	87.6	10.1	2.3	0.0	0.0	87.6	3.2	4.7	4.5	*0.0	18	2	2	
美祿市	100.0	*0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	
周南市	58.5	39.3	2.2	0.0	0.0	0.0	96.2	2.5	1.3	0.0	0.0	96.2	1.8	1.0	*0.0	0.9	3	0	7	
山陽小野田市	92.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.8	3.9	0.3	0.0	0.0	95.8	1.7	2.5	0.0	0.0	0	0	0	
周防大島町	0.0	0.9	94.5	4.6	0.0	0.0	89.0	9.3	1.8	0.0	0.0	89.0	0.2	6.2	4.1	0.5	48	3	6	
和木町	0.0	0.0	65.0	35.0	0.0	0.0	69.3	16.5	14.2	0.0	0.0	69.3	0.0	*0.0	30.7	0.0	6	0	5	
上関町	0.0	23.0	76.1	0.8	0.0	0.0	97.1	2.9	0.0	0.0	0.0	97.1	0.6	0.0	2.4	0.0	0	1	5	
田布施町	0.0	67.1	29.4	3.5	0.0	0.0	81.6	12.6	3.3	2.5	0.0	81.6	0.7	9.1	6.1	2.5	4	0	2	
平生町	0.0	33.3	65.8	0.9	0.0	0.0	71.5	14.4	14.1	0.0	0.0	71.5	6.5	13.9	8.2	0.0	1	2	10	
阿武町	97.9	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	1	
合計	64.6	26.7	7.8	0.9	*0.0	0.0	96.4	2.4	1.2	*0.0	0.0	96.3	1.4	1.4	0.7	0.1	203	14	57	

※小数点以下 (%値は小数以下第2位) の四捨五入により合計が合わないことがある。  
 ※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合 (値が完全な0ではない場合) は、「\*0.0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	地震動 震度							液状化 沈下量										土砂災害 危険度ランクA の箇所数 (箇所)		
	面積割合 (%)							面積割合 (%)					PL値 面積割合 (%)					急傾斜地	地すべり	山腹崩壊
	4以下	5弱	5強	6弱	6強	7	S=0.0m	0.0m<S<0.1m	0.1m≤S<0.3m	0.3m≤S<0.5m	0.5m≤S	かなり低い	低い	高い	かなり高い	極めて高い				
												PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL≤30	30<PL				
下関市	90.7	7.1	1.9	0.3	0.0	0.0	96.4	2.3	1.0	0.3	0.0	96.4	1.9	1.1	0.5	0.0	1	0	1	
宇部市	*0.0	58.4	34.9	5.5	1.2	0.0	82.2	14.8	2.4	0.6	0.0	82.2	9.3	5.5	1.2	1.9	9	0	8	
山口市	39.2	35.2	18.6	5.5	1.3	0.2	93.9	3.8	1.5	0.8	0.0	93.9	0.6	3.2	0.1	2.2	69	1	18	
萩市	96.7	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	99.5	0.2	0.3	0.0	0.0	99.5	0.3	0.2	*0.0	0.0	0	0	0	
防府市	0.0	1.0	36.5	45.4	16.5	0.6	82.6	9.2	2.5	5.7	0.0	82.6	5.9	0.0	4.0	7.4	81	6	28	
下松市	7.2	80.0	12.8	0.0	0.0	0.0	91.8	7.3	0.8	0.0	0.0	91.8	1.7	5.9	0.5	*0.0	0	0	1	
岩国市	98.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	99.1	0.8	*0.0	0.0	0.0	99.1	0.8	*0.0	*0.0	*0.0	0	0	0	
光市	58.5	37.9	3.5	0.0	0.0	0.0	79.7	12.9	7.3	0.0	0.0	79.7	3.7	8.7	7.0	0.9	0	0	0	
長門市	99.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	99.9	0.1	0.0	0.0	0.0	99.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0	0	0	
柳井市	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.3	3.4	1.3	0.0	0.0	95.3	3.0	1.3	0.3	0.0	0	0	0	
美祿市	47.3	49.0	3.7	0.0	0.0	0.0	97.8	2.2	0.0	0.0	0.0	97.8	2.2	*0.0	0.0	0.0	1	1	6	
周南市	37.7	42.7	17.1	2.5	0.0	0.0	93.6	3.7	2.8	0.0	0.0	93.6	2.5	1.6	1.3	1.0	41	2	11	
山陽小野田市	18.0	65.2	13.6	3.2	0.0	0.0	87.8	9.5	2.7	0.0	0.0	87.8	7.4	4.4	0.3	0.0	4	0	3	
周防大島町	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	98.1	1.9	0.0	0.0	0.0	98.1	1.9	0.0	0.0	0.0	0	0	0	
和木町	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	
上関町	74.3	25.7	0.0	0.0	0.0	0.0	99.8	0.2	0.0	0.0	0.0	99.8	0.0	0.2	0.0	0.0	0	0	0	
田布施町	94.8	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	86.8	9.8	0.9	2.5	0.0	86.8	9.4	1.3	2.5	0.0	0	0	0	
平生町	96.6	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	92.5	7.3	0.2	0.0	0.0	92.5	7.3	0.2	0.0	0.0	0	0	0	
阿武町	97.9	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	
合計	65.5	21.9	8.8	2.9	0.8	*0.0	95.1	3.4	1.1	0.4	0.0	95.1	2.0	1.5	0.6	0.8	206	10	76	

※小数点以下 (%値は小数以下第2位) の四捨五入により合計が合わないことがある。  
 ※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合 (値が完全な0ではない場合) は、「\*0.0」で表示している。

② 建物被害

ア 市町別想定結果（被害最大ケース）

表 I.5-16-2 市町別 原因別建物被害（南海トラフ巨大地震、ケース1）

(a) 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造					非木造							
	揺れ	液状化	土砂災害	津波	小計	揺れ	液状化	土砂災害	津波	小計			
下関市	0	83	0	227	309	0	2	0	13	15	324	0	324
宇部市	0	371	0	414	785	0	6	0	81	86	871	0	871
山口市	0	98	0	312	409	0	1	0	41	42	451	0	451
萩市	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2
防府市	0	138	0	120	258	0	5	0	33	38	296	0	296
下松市	0	13	0	6	19	0	*0	0	1	2	21	0	21
岩国市	190	800	16	1,229	2,236	88	12	4	260	364	2,600	204	2,804
光市	0	284	*0	21	305	0	4	*0	2	7	312	0	312
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	111	170	1	577	859	27	1	*0	76	104	963	36	999
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0	195	*0	246	441	0	3	*0	57	60	501	0	501
山陽小野田市	0	62	0	1,008	1,069	0	1	0	134	135	1,204	0	1,204
周防大島町	38	578	4	349	969	4	2	*0	13	19	989	8	996
和木町	12	61	*0	128	201	13	1	*0	14	28	229	*0	229
上関町	1	8	1	34	44	*0	*0	*0	2	3	47	0	47
田布施町	4	127	1	43	174	1	1	*0	4	7	181	*0	181
平生町	1	96	1	362	460	*0	1	*0	40	42	502	*0	502
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	359	3,084	24	5,072	8,539	134	40	5	772	951	9,490	248	9,738

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

(b) 原因別建物被害（半壊棟数）

市町	半壊棟数										合計※1
	木造					非木造					
	揺れ	液状化	土砂災害	津波	小計	揺れ	液状化	土砂災害	津波	小計	
下関市	0	176	0	898	1,073	0	45	0	170	215	1,288
宇部市	11	1,083	0	2,742	3,836	42	338	0	1,145	1,525	5,360
山口市	1	286	0	967	1,254	3	46	0	253	302	1,556
萩市	0	6	0	0	6	0	1	0	0	1	7
防府市	0	441	0	769	1,210	0	284	0	425	709	1,919
下松市	*0	42	0	261	304	1	22	0	112	135	439
岩国市	2,342	2,389	35	6,671	11,437	380	732	10	3,070	4,191	15,628
光市	6	875	*0	88	968	15	253	*0	21	289	1,258
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	736	524	1	2,511	3,772	102	70	*0	936	1,109	4,881
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	4	537	*0	1,426	1,968	44	194	*0	720	958	2,926
山陽小野田市	0	201	0	2,756	2,957	0	45	0	838	883	3,840
周防大島町	950	1,289	9	1,976	4,224	50	114	1	188	353	4,576
和木町	162	161	*0	741	1,064	31	68	1	200	300	1,364
上関町	70	20	3	210	303	11	2	*0	31	44	347
田布施町	77	354	1	375	807	30	82	*0	104	217	1,024
平生町	117	321	2	1,704	2,143	40	70	*0	465	575	2,718
阿武町	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計	4,483	8,705	52	24,090	37,330	750	2,368	12	8,678	11,807	49,137

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

表 I.5-16-3 市町別 原因別建物被害（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

(a) 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

市町	全壊棟数										合計※1	焼失棟数	全壊・焼失棟数
	木造					非木造							
	揺れ	液状化	土砂災害	津波	小計	揺れ	液状化	土砂災害	津波	小計			
下関市	1	316	*0	15	332	*0	7	*0	1	9	341	0	341
宇部市	233	579	*0	105	917	58	9	*0	19	87	1,004	381	1,385
山口市	947	953	4	102	2,006	61	8	1	12	82	2,088	269	2,357
萩市	0	176	0	0	176	0	2	0	0	2	178	0	178
防府市	1,521	339	7	36	1,903	368	12	4	10	395	2,297	1,707	4,004
下松市	0	81	0	2	83	0	2	0	*0	2	85	*0	85
岩国市	0	40	0	129	169	0	*0	0	37	38	207	0	207
光市	0	407	0	5	412	0	6	0	1	7	419	0	419
長門市	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*
柳井市	0	65	0	64	129	0	*0	0	14	14	143	0	143
美祢市	0	3	*0	0	4	0	*0	*0	0	*0	4	0	4
周南市	5	313	3	36	357	19	6	1	10	35	392	47	439
山陽小野田市	4	191	*0	232	427	2	2	*0	28	33	459	35	495
周防大島町	0	17	0	65	82	0	*0	0	1	1	84	0	84
和木町	0	0	0	5	5	0	0	0	1	1	6	0	6
上関町	0	*0	0	12	12	0	*0	0	1	1	13	0	13
田布施町	0	92	0	5	97	0	1	0	*0	1	98	0	98
平生町	0	4	0	72	76	0	*0	0	8	8	84	0	84
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,711	3,576	15	886	7,188	509	57	5	144	716	7,904	2,439	10,343

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

(b) 原因別建物被害（半壊棟数）

市町	半壊棟数										合計※1
	木造					非木造					
	揺れ	液状化	土砂災害	津波	小計	揺れ	液状化	土砂災害	津波	小計	
下関市	57	1,019	*0	144	1,221	28	375	*0	16	419	1,640
宇部市	1,393	1,784	1	1,481	4,659	410	563	*0	582	1,554	6,213
山口市	2,195	3,597	8	555	6,356	319	473	1	157	950	7,306
萩市	0	487	0	0	487	0	90	0	0	90	576
防府市	4,118	1,124	13	167	5,422	850	711	8	102	1,670	7,093
下松市	12	260	0	12	284	64	115	0	5	184	468
岩国市	0	121	0	3,253	3,375	0	32	0	1,342	1,374	4,749
光市	1	1,229	0	56	1,286	28	377	0	13	418	1,705
長門市	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
柳井市	0	196	0	1,386	1,582	0	23	0	532	555	2,138
美祢市	5	10	*0	0	15	19	2	*0	0	21	36
周南市	271	941	6	654	1,872	307	363	2	311	982	2,854
山陽小野田市	141	617	*0	1,742	2,500	60	141	*0	480	681	3,181
周防大島町	0	42	0	345	387	0	3	0	22	25	412
和木町	0	0	0	260	260	0	0	0	77	77	337
上関町	0	*0	0	53	53	0	*0	0	8	8	61
田布施町	0	251	0	76	327	0	59	0	21	81	408
平生町	0	12	0	767	780	0	2	0	214	217	997
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,193	11,690	29	10,950	30,862	2,084	3,330	11	3,883	9,308	40,170

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

イ 旧市町村別想定結果（被害最大ケース）

表 I.5-16-4(1) 旧市町村別 原因別建物被害（南海トラフ巨大地震、ケース1）

(a) 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

現19市町	旧56市町村	全壊棟数（棟）									合計※1 （棟）	焼失 棟数 （棟）	全壊・ 焼失棟数 （棟）	
		木造				小計	非木造							小計
		揺れ	液状化	土砂 災害	津波		揺れ	液状化	土砂 災害	津波				
下関市	下関市	0	83	0	227	309	0	2	0	13	15	324	0	324
	菊川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇部市	宇部市	0	371	0	414	785	0	6	0	81	86	871	0	871
	楠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口市	山口市	0	28	0	300	328	0	*0	0	40	40	368	0	368
	徳地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋穂町	0	67	0	8	75	0	*0	0	*0	1	76	0	76
	小郡町	0	0	0	*0	*0	0	0	0	*0	*0	*0	0	*0
	阿知須町	0	1	0	4	5	0	*0	0	*0	*0	5	0	5
	阿東町	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1	0	1
萩市	萩市	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1	0	1
	川上村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田万川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	むつみ村	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1	0	1
	須佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福栄村	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0
	防府市	0	138	0	120	258	0	5	0	33	38	296	0	296
下松市	下松市	0	13	0	6	19	0	*0	0	1	2	21	0	21
	岩国市	190	556	16	1,191	1,953	88	9	4	256	357	2,310	184	2,494
岩国市	由宇町	0	201	*0	38	239	0	3	*0	4	6	245	5	250
	玖珂町	0	8	0	0	8	0	*0	0	0	*0	8	9	17
	本郷村	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	0	*0	*0	*0	*0
	周東町	0	34	0	0	34	0	*0	0	0	*0	34	5	39
	錦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	美川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*0	*0
	美和町	0	2	*0	0	2	0	*0	*0	0	*0	2	*0	3
	光市	0	273	*0	21	295	0	4	*0	2	6	301	0	301
長門市	大和町	0	11	0	0	11	0	*0	0	0	*0	11	0	11
	長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日置町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	柳井市	110	91	1	553	755	26	1	*0	74	101	856	36	892
	大島町	1	78	*0	24	104	*0	1	*0	2	3	106	*0	106
美祢市	美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美東町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋芳町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	徳山市	0	9	0	21	30	0	*0	0	5	5	36	0	36
	新南陽市	0	19	0	224	243	0	1	0	52	53	296	0	296
	熊毛町	0	167	*0	0	167	0	2	*0	0	2	169	0	169
	鹿野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽小野田市	小野田市	0	62	0	789	850	0	1	0	104	105	955	0	955
	山陽町	0	0	0	219	219	0	0	0	30	30	249	0	249
周防大島町	久賀町	10	278	*0	17	305	1	1	*0	1	3	308	*0	308
	大島町	9	126	1	178	313	2	1	*0	9	11	324	4	329
	東和町	13	131	2	75	221	1	*0	*0	1	2	223	2	225
	橘町	7	44	1	79	130	1	*0	*0	2	3	134	1	134
和木町	和木町	12	61	*0	128	201	13	1	*0	14	28	229	*0	229
上関町	上関町	1	8	1	34	44	*0	*0	*0	2	3	47	0	47
田布施町	田布施町	4	127	1	43	174	1	1	*0	4	7	181	*0	181
平生町	平生町	1	96	1	362	460	*0	1	*0	40	42	502	*0	502
阿武町	阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		359	3,084	24	5,072	8,539	134	40	5	772	951	9,490	248	9,738

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

表 I. 5-16-4(2) 旧市町村別 原因別建物被害 (南海トラフ巨大地震、ケース1)

## (b) 原因別建物被害 (半壊棟数)

現19市町	旧56市町村	半壊棟数 (棟)										合計 <sup>※1</sup> (棟)
		木造				小計	非木造				小計	
		揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	下関市	0	176	0	898	1,073	0	45	0	170	215	1,288
	菊川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇部市	宇部市	11	1,083	0	2,742	3,836	42	338	0	1,145	1,525	5,360
	楠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口市	山口市	0	78	0	755	833	0	16	0	214	230	1,063
	徳地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋穂町	0	201	0	141	343	0	28	0	25	54	396
	小郡町	0	0	0	9	9	0	0	0	2	2	11
	阿知須町	1	5	0	62	67	3	1	0	12	16	83
	阿東町	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	3
萩市	萩市	0	4	0	0	4	0	1	0	0	1	5
	川上村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田万川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	むつみ村	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2
	須佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福栄村	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1
防府市	防府市	0	441	0	769	1,210	0	284	0	425	709	1,919
下松市	下松市	*0	42	0	261	304	1	22	0	112	135	439
岩国市	岩国市	2,282	1,640	34	6,371	10,327	332	545	9	2,990	3,876	14,203
	由宇町	30	609	*0	300	938	16	152	*0	80	248	1,186
	玖珂町	1	27	0	0	29	6	7	0	0	13	42
	本郷村	3	0	*0	0	3	1	0	*0	0	1	4
	周東町	7	106	0	0	112	15	27	0	0	43	155
	錦町	*0	0	0	0	*0	*0	0	0	0	*0	*0
	美川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光市	美和町	19	8	1	0	27	10	1	*0	0	11	38
	光市	5	843	*0	88	936	13	246	*0	21	281	1,216
大和町	大和町	1	32	0	0	33	1	7	0	0	9	41
	長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三隅町	三隅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日置町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	柳井市	704	299	1	2,363	3,367	95	38	*0	912	1,046	4,413
	大島町	32	225	*0	148	405	7	32	*0	24	63	468
美祢市	美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美東町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋芳町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	徳山市	1	30	0	255	286	7	17	0	114	137	424
	新南陽市	1	67	0	1,171	1,240	33	59	0	606	698	1,938
	熊毛町	2	440	*0	0	442	5	119	*0	0	123	565
	鹿野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽小野田市	小野田市	0	201	0	2,537	2,738	0	45	0	778	823	3,561
	山陽町	0	0	0	219	219	0	0	0	60	60	279
周防大島町	久賀町	228	586	*0	104	918	12	49	*0	10	72	990
	大島町	225	314	2	906	1,448	19	38	*0	121	179	1,626
	東和町	241	278	3	399	921	7	20	*0	17	44	965
	橋町	257	111	3	566	936	12	6	*0	40	58	994
和木町	和木町	162	161	*0	741	1,064	31	68	1	200	300	1,364
上関町	上関町	70	20	3	210	303	11	2	*0	31	44	347
田布施町	田布施町	77	354	1	375	807	30	82	*0	104	217	1,024
平生町	平生町	117	321	2	1,704	2,143	40	70	*0	465	575	2,718
阿武町	阿武町	7	0	0	0	7	1	0	0	0	1	8
合計		4,483	8,705	52	24,090	37,330	750	2,368	12	8,678	11,807	49,137

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

表 I. 5-16-5(1) 旧市町村別 原因別建物被害（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

(a) 原因別建物被害（全壊棟数、焼失棟数）

現19市町	旧56市町村	全壊棟数（棟）									合計※1 （棟）	焼失 棟数 （棟）	全壊・ 焼失棟数 （棟）	
		木造				小計	非木造							小計
		揺れ	液状化	土砂 災害	津波		揺れ	液状化	土砂 災害	津波				
下関市	下関市	1	314	*0	15	330	*0	7	*0	1	9	339	0	339
	菊川町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0
	豊田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0	2	0	0	2	0	*0	0	0	*0	2	0	2
	豊北町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0
宇部市	宇部市	233	574	*0	105	912	58	9	*0	19	87	999	379	1,378
	楠町	0	5	0	0	5	0	*0	0	0	*0	5	2	7
山口市	山口市	180	782	2	99	1,063	19	7	*0	12	38	1,101	211	1,313
	徳地町	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	*0	1
	秋穂町	422	157	*0	2	581	25	1	*0	*0	26	607	5	613
	小郡町	*0	5	*0	*0	5	*0	*0	*0	*0	*0	6	45	51
	阿知須町	346	4	*0	1	351	18	*0	*0	*0	18	369	4	373
	阿東町	0	4	0	0	4	0	*0	0	0	*0	4	2	7
萩市	萩市	0	175	0	0	175	0	2	0	0	2	177	0	177
	川上村	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0
	田万川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	むつみ村	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0
	須佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福栄村	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0
	防府市	防府市	1,521	339	7	36	1,903	368	12	4	10	395	2,297	1,707
下松市	下松市	0	81	0	2	83	0	2	0	*0	2	85	*0	85
	岩国市	0	22	0	125	146	0	*0	0	37	37	184	0	184
岩国市	由宇町	0	1	0	4	5	0	*0	0	*0	*0	5	0	5
	玖珂町	0	3	0	0	3	0	*0	0	0	*0	3	0	3
	本郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	周東町	0	15	0	0	15	0	*0	0	0	*0	15	0	15
	錦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	光市	光市	0	391	0	5	397	0	6	0	1	7	404	0
大和町	0	15	0	0	15	0	*0	0	0	*0	16	0	16	
長門市	長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日置町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	0	*0
柳井市	柳井市	0	31	0	60	92	0	*0	0	14	14	106	0	106
	大島町	0	33	0	4	37	0	*0	0	*0	*0	38	0	38
美祢市	美祢市	0	2	*0	0	2	0	*0	*0	0	*0	2	0	2
	美東町	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1	0	1
	秋芳町	0	1	*0	0	1	0	*0	*0	0	*0	1	0	1
周南市	徳山市	1	56	2	7	66	1	1	*0	1	4	71	31	102
	新南陽市	4	69	1	28	102	17	2	*0	9	28	131	12	143
	熊毛町	0	188	0	0	188	0	2	0	0	2	191	4	194
	鹿野町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0	*0	*0
山陽小野田市	小野田市	4	142	*0	162	307	2	2	*0	22	26	334	29	363
	山陽町	0	49	*0	70	119	0	1	*0	6	6	126	6	132
周防大島町	久賀町	0	11	0	5	16	0	*0	0	*0	*0	16	0	16
	大島町	0	0	0	17	17	0	0	0	1	1	18	0	18
	東和町	0	2	0	23	24	0	*0	0	*0	*0	24	0	24
	橘町	0	4	0	20	25	0	*0	0	1	1	25	0	25
和木町	和木町	0	0	0	5	5	0	0	0	1	1	6	0	6
	上関町	0	*0	0	12	12	0	*0	0	1	1	13	0	13
田布施町	田布施町	0	92	0	5	97	0	1	0	*0	1	98	0	98
平生町	平生町	0	4	0	72	76	0	*0	0	8	8	84	0	84
阿武町	阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2,711	3,576	15	886	7,188	509	57	5	144	716	7,904	2,439	10,343

※1 木造および非木造の全壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

表 I. 5-16-5 (2) 旧市町村別 原因別建物被害 (周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ)

## (b) 原因別建物被害 (半壊棟数)

現19市町	旧56市町村	半壊棟数 (棟)										合計※1 (棟)
		木造				小計	非木造				小計	
		揺れ	液状化	土砂災害	津波		揺れ	液状化	土砂災害	津波		
下関市	下関市	57	1,011	*0	144	1,212	28	373	*0	16	418	1,630
下関市	菊川町	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	2
	豊田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0	7	0	0	7	0	1	0	0	1	8
	豊北町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
宇部市	宇部市	1,390	1,766	1	1,481	4,638	404	558	*0	582	1,543	6,181
	楠町	3	18	0	0	21	6	5	0	0	11	32
山口市	山口市	740	3,100	5	501	4,346	168	396	1	144	708	5,055
	徳地町	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2
	秋穂町	739	447	*0	28	1,215	35	63	*0	7	105	1,320
	小郡町	35	24	1	5	65	68	9	*0	1	79	144
	阿知須町	681	15	*0	20	716	47	3	*0	5	55	771
	阿東町	1	12	0	0	12	1	2	0	0	2	14
萩市	萩市	0	484	0	0	484	0	90	0	0	90	574
	川上村	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1
	田万川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	むつみ村	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1
	須佐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福栄村	0	1	0	0	1	0	*0	0	0	*0	1
防府市	防府市	4,118	1,124	13	167	5,422	850	711	8	102	1,670	7,093
下松市	下松市	12	260	0	12	284	64	115	0	5	184	468
岩国市	岩国市	0	61	0	3,218	3,279	0	17	0	1,333	1,350	4,628
	由宇町	0	3	0	35	38	0	1	0	9	10	48
	玖珂町	0	10	0	0	10	0	3	0	0	3	13
	本郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	周東町	0	48	0	0	48	0	12	0	0	12	60
	錦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光市	光市	1	1,184	0	56	1,241	28	367	0	13	408	1,650
	大和町	0	45	0	0	45	0	10	0	0	10	55
長門市	長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日置町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
柳井市	柳井市	0	98	0	1,363	1,461	0	10	0	528	539	1,999
	大島町	0	98	0	23	122	0	13	0	4	17	138
美祢市	美祢市	4	5	*0	0	10	14	1	*0	0	15	25
	美東町	*0	2	0	0	2	1	1	0	0	1	3
	秋芳町	1	2	*0	0	3	4	*0	*0	0	5	8
周南市	徳山市	129	185	5	63	382	166	74	1	26	267	649
	新南陽市	142	234	1	591	967	140	140	*0	285	565	1,533
	熊毛町	*0	523	0	0	523	1	148	0	0	150	672
	鹿野町	0	*0	0	0	*0	0	*0	0	0	*0	*0
山陽小野田市	小野田市	126	471	*0	1,579	2,176	40	109	*0	441	590	2,766
	山陽町	15	146	*0	163	324	20	32	*0	40	91	415
周防大島町	久賀町	0	26	0	31	58	0	2	0	3	5	63
	大島町	0	0	0	102	102	0	0	0	9	9	111
	東和町	0	4	0	116	121	0	*0	0	3	4	124
	橘町	0	12	0	95	107	0	1	0	7	7	114
和木町	和木町	0	0	0	260	260	0	0	0	77	77	337
上関町	上関町	0	*0	0	53	53	0	*0	0	8	8	61
田布施町	田布施町	0	251	0	76	327	0	59	0	21	81	408
平生町	平生町	0	12	0	767	780	0	2	0	214	217	997
阿武町	阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		8,193	11,690	29	10,950	30,862	2,084	3,330	11	3,883	9,308	40,170

※1 木造および非木造の半壊棟数合計値

※2 1未満の小数点以下の値がある場合 (値が完全な0ではない場合) は、「\*0」で表示している。

※3 小数点以下の四捨五入により合計が合わない場合がある。

③ 人的被害

ア 死者数、重傷者数、負傷者数

1) 市町別想定結果（被害最大ケース）

表 I.5-16-6(1) 市町別人的被害

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人）〔負傷者の内数〕※2						自力脱出 困難者※3 （人）
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		
下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	1 (1)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	*0	0
宇部市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	13 (8)	0	*0	1	1	15	1 (1)	0	*0	*0	*0	*0	2
山口市	*0 (*0)	0	*0	14	0	14	2 (2)	0	*0	*0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
防府市	*0 (*0)	0	*0	51	0	51	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
岩国市	13 (4)	2	*0	50	0	65	525 (79)	2	8	1	39	574	37 (17)	1	2	*0	15	56	58
光市	*0 (*0)	*0	*0	5	0	5	4 (4)	*0	*0	0	1	5	1 (1)	*0	*0	0	*0	1	0
長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	8 (1)	*0	*0	59	0	67	483 (33)	*0	2	1	12	498	52 (7)	*0	*0	1	5	58	26
美祢市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
周南市	*0 (*0)	*0	*0	75	0	75	14 (7)	*0	*0	*0	1	15	1 (1)	*0	*0	*0	*0	1	0
山陽小野田市	*0 (*0)	0	*0	28	0	28	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
周防大島町	3 (*0)	*0	*0	47	0	50	169 (6)	*0	*0	*0	6	176	1 (1)	*0	*0	*0	2	4	2
和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	36 (4)	*0	*0	*0	2	38	2 (1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	12 (*0)	*0	*0	*0	1	13	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	0	5	22 (4)	*0	*0	*0	1	24	1 (1)	*0	*0	0	1	1	1
平生町	*0 (*0)	*0	*0	82	0	82	75 (2)	*0	*0	*0	3	78	*0 (*0)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	26 (6)	2	*0	474	0	502	1,362 (156)	3	11	4	67	1,446	98 (31)	1	3	1	26	129	91

※1 「津波ケース5」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース

※2 「津波ケース10」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース

※3 「津波ケース1, 2, 5, 10, 11」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース

※4 ( ) 内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

(詳細は、「I編 4. (7) 留意事項」(I-42ページ)を参照。)

※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※7 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※8 1未満の小数点以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0」で表示している。

表 I.5-16-6(2) 市町別人的被害

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	死者(人) ※1						負傷者(人) ※2						重傷者(人) [負傷者の内数] ※2						自力脱出 困難者 ※3 (人)
	原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
	建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒 ※4	土砂 災害	火災	津波 ※5	その他 ※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒 ※4	土砂 災害	火災	津波 ※5	その他 ※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒 ※4	土砂 災害	火災	津波 ※5	その他 ※6		
下関市	*0 (*0)	*0	*0	7	0	8	71 (15)	*0	*0	2	16	89	2 (2)	*0	*0	1	6	9	0
宇部市	16 (4)	*0	*0	21	0	37	354 (74)	*0	15	2	67	437	26 (15)	*0	4	1	26	57	73
山口市	64 (6)	*0	*0	14	0	78	661 (99)	*0	12	*0	106	779	94 (20)	*0	3	*0	41	139	174
萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	2	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	0
防府市	105 (19)	1	10	54	0	170	1,080 (246)	1	68	2	120	1,271	170 (54)	*0	19	1	47	237	462
下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	21 (8)	0	*0	*0	22	43	1 (1)	0	*0	*0	9	10	0
岩国市	*0 (*0)	0	*0	44	0	44	*0 (*0)	0	*0	5	4	9	*0 (*0)	0	*0	2	1	3	0
光市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	6 (4)	0	*0	*0	11	18	1 (1)	0	*0	*0	4	5	0
長門市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
柳井市	0 (0)	0	0	65	0	65	0 (0)	0	0	6	3	9	0 (0)	0	0	2	1	3	0
美祿市	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	5 (2)	*0	*0	0	3	8	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0
周南市	1 (1)	*0	*0	63	0	65	155 (33)	*0	2	2	54	213	6 (6)	*0	1	1	21	29	4
山陽小野田市	*0 (*0)	*0	*0	26	0	27	37 (10)	*0	1	1	13	52	2 (2)	*0	*0	*0	5	8	1
周防大島町	0 (0)	0	0	55	0	55	0 (0)	0	0	3	*0	3	0 (0)	0	0	1	*0	1	0
和木町	0 (0)	0	0	2	0	2	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	*0	0	*0	0
上関町	*0 (*0)	0	*0	12	0	12	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
田布施町	*0 (*0)	0	*0	4	0	4	*0 (*0)	0	*0	*0	1	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
平生町	*0 (*0)	0	*0	76	0	76	*0 (*0)	0	*0	1	1	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0
阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0
合計	188 (32)	1	10	452	0	652	2,391 (491)	2	99	26	422	2,939	303 (103)	1	28	9	165	505	714

※1 「主部区間 縦ずれのみ」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース

※2 「主部区間 横ずれあり」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース

※3 「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬・深夜 風速15m/s」

※4 ( )内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

(詳細は、「I編 4.(7)留意事項」(I-42ページ)を参照。)

※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※7 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※8 1未満の小数点以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0」で表示している。

2) 旧市町村別想定結果（被害最大ケース）

表 I.5-16-7(1) 旧市町村别人的被害（南海トラフ巨大地震）

(a) 下関市～岩国市に属する旧 30 市町村

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人）〔負傷者の内数〕※2						自力脱出 困難者※3 （人）	
		原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計		
		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6			
下関市	下関市	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	1 (1)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	0	0	*0	0
	菊川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
	豊田町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
	豊浦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
	豊北町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
宇部市	宇部市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	13 (8)	0	*0	1	1	15	1 (1)	0	*0	*0	*0	0	*0	2
	楠町	0 (0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	0	*0	0
山口市	山口市	*0 (*0)	0	*0	11	0	11	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	0	*0	0
	徳地町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
	秋徳町	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0	0
	小郡町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
	阿知須町	*0 (*0)	0	*0	1	0	1	1 (1)	0	*0	0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0	0
萩市	阿東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0	0
	萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0	0
	川上村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	0	0	*0	0
	田万川町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0	0
	むつみ村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0	0
	須佐町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	0	*0	0
	旭村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
福栄村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0	0	
防府市	防府市	*0 (*0)	0	*0	51	0	51	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	*0	0
下松市	下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	3 (3)	0	*0	*0	*0	3	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	*0	0
岩国市	岩国市	13 (4)	1	*0	42	0	57	506 (75)	2	7	1	37	553	37 (16)	1	2	*0	14	55	58	
	由宇町	*0 (*0)	*0	*0	8	0	8	7 (1)	*0	*0	0	1	8	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0	
	玖珂町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	2 (1)	0	*0	0	*0	2	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
	本郷村	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	1 (*0)	*0	*0	0	*0	1	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0	
	周東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	4 (1)	0	*0	0	*0	4	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
	錦町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
	美川町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
	美和町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	5 (*0)	*0	*0	0	*0	5	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0	

※1 「津波ケース5」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース

※2 「津波ケース10」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース

※3 「津波ケース1, 2, 5, 10, 11」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース

※4 ( ) 内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

(詳細は、「I編 4.(7) 留意事項」(I-42ページ)を参照。)

※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※7 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※8 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-16-7(2) 旧市町村别人的被害（南海トラフ巨大地震）

(b) 光市～岩国市に属する旧 26 市町村

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人）【負傷者の内数】※2						自力脱出困難者※3 （人）
		原因別						原因別						原因別						
		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6	合計	建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6	合計	
光市	光市	*0 (*0)	*0	*0	5	0	5	4 (4)	*0	*0	0	1	5	1 (1)	*0	*0	0	*0	1	0
	大和町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
長門市	長門市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	三隅町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	日置町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	油谷町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
柳井市	柳井市	8 (1)	*0	*0	50	0	58	474 (31)	*0	2	1	11	487	52 (7)	*0	*0	1	4	57	26
	大畠町	*0 (*0)	*0	*0	9	0	9	9 (1)	*0	*0	*0	1	10	*0 (*0)	*0	*0	*0	*0	1	0
美祢市	美祢市	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	美東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
	秋芳町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0
	徳山市	*0 (*0)	0	*0	26	0	26	4 (4)	0	*0	*0	*0	4	1 (1)	0	*0	*0	*0	*0	1
周南市	新南陽市	*0 (*0)	0	*0	49	0	49	9 (2)	0	*0	*0	*0	9	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
	熊毛町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	2 (2)	*0	*0	0	*0	2	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
	鹿野町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
	小野田市	*0 (*0)	0	*0	18	0	18	1 (1)	0	*0	*0	*0	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0
山陽小野田市	山陽町	*0 (*0)	0	*0	10	0	10	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0
	久賀町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	43 (1)	*0	*0	0	1	44	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	1	1
	大島町	1 (*0)	*0	*0	17	0	18	48 (2)	*0	*0	*0	1	50	*0 (*0)	*0	*0	*0	*0	1	1
	東和町	1 (*0)	*0	*0	11	0	12	39 (1)	*0	*0	0	1	41	1 (*0)	*0	*0	*0	*0	2	1
	橋町	*0 (*0)	*0	*0	12	0	12	39 (2)	*0	*0	0	2	41	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0
和木町	和木町	1 (*0)	*0	*0	7	0	8	36 (4)	*0	*0	*0	2	38	2 (1)	*0	*0	*0	1	3	4
上関町	上関町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	12 (*0)	*0	*0	*0	1	13	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0
田布施町	田布施町	*0 (*0)	*0	*0	4	0	5	22 (4)	*0	*0	*0	1	24	1 (1)	*0	*0	0	1	1	1
平生町	平生町	*0 (*0)	*0	*0	82	0	82	75 (2)	*0	*0	*0	3	78	*0 (*0)	*0	*0	*0	1	2	0
阿武町	阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	合計	26 (6)	2	*0	474	0	502	1,362 (156)	3	11	4	67	1,446	98 (31)	1	3	1	26	129	91

※1 「津波ケース5」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース

※2 「津波ケース10」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース

※3 「津波ケース1,2,5,10,11」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース

※4 ( )内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

(詳細は、「I編 4.(7)留意事項」(I-42ページ)を参照。)

※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※7 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※8 1未満の小数点以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0」で表示している。

表 I.5-16-8(1) 旧市町村别人的被害（周防灘断層帯による地震）

(a) 下関市～岩国市に属する旧 30 市町村

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人）【負傷者の内数】※2						自力脱出 困難者※3 （人）
		原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計	
		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		
下関市	下関市	*0 (*0)	*0	*0	7	0	8	71 (15)	*0	*0	2	16	89	2 (2)	*0	*0	1	6	9	0
下関市	菊川町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	豊田町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0
	豊浦町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	豊北町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
宇部市	宇部市	16 (4)	*0	*0	21	0	37	352 (73)	*0	15	2	65	434	26 (15)	*0	4	1	26	56	73
	楠町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	2 (1)	0	*0	0	1	3	*0 (*0)	0	*0	0	*0	1	0
山口市	山口市	12 (2)	*0	*0	11	0	24	258 (38)	*0	8	*0	74	341	21 (7)	*0	2	*0	29	52	46
	徳地町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	0 (0)	*0	*0	0	*0	*0	0 (0)	*0	*0	0	*0	*0	0
	秋穂町	29 (2)	*0	*0	1	0	30	210 (21)	*0	1	0	6	217	43 (5)	*0	*0	0	2	45	64
	小郡町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	23 (6)	*0	2	0	12	38	1 (1)	*0	1	0	5	7	0
	阿知須町	23 (2)	*0	*0	1	0	25	170 (34)	*0	1	*0	13	184	30 (7)	*0	*0	*0	5	35	64
	阿東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
萩市	萩市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	川上村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0
	田万川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	むつみ村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	須佐町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	旭村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
福栄村	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
防府市	防府市	105 (19)	1	10	54	0	170	1,080 (246)	1	68	2	120	1,271	170 (54)	*0	19	1	47	237	462
下松市	下松市	*0 (*0)	0	*0	6	0	6	21 (8)	0	*0	*0	22	43	1 (1)	0	*0	*0	9	10	0
岩国市	岩国市	0 (0)	0	0	36	0	36	0 (0)	0	0	4	1	5	0 (0)	0	0	1	*0	*0	2
	由宇町	0 (0)	0	0	8	0	8	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0
	玖珂町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	2	2	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	0
	本郷村	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	周東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	錦町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0
	美川町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0
	美和町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0

※1 「主部区間 縦ずれのみ」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース

※2 「主部区間 横ずれあり」の「盆・夜 風速15m/s」を設定したケース

※3 「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬・深夜 風速15m/s」

※4 ( ) 内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

(詳細は、「I編 4.(7) 留意事項」(I-42ページ)を参照。)

※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※7 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※8 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-16-8(2) 旧市町村别人的被害（周防灘断層帯による地震）

(b) 光市～岩国市に属する旧 26 市町村

現19市町	旧56市町村	死者（人）※1						負傷者（人）※2						重傷者（人） [負傷者の内数] ※2						自力脱出 困難者 ※3 （人）	
		原因別					合計	原因別					合計	原因別					合計		
		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6		建物倒壊、 屋内収容物 移動・転倒※4	土砂 災害	火災	津波※5	その他※6			
光市	光市	*0 (*0)	0	*0	5	0	5	6 (4)	0	*0	*0	11	17	1 (1)	0	*0	*0	4	5	0	
	大和町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
長門市	長門市	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
	三隅町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0	
	日置町	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	*0	*0	0	
	油谷町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
柳井市	柳井市	0 (0)	0	0	55	0	55	0 (0)	0	0	5	3	8	0 (0)	0	0	2	1	3	0	
	大畠町	0 (0)	0	0	9	0	9	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0	
美祢市	美祢市	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	4 (1)	*0	*0	0	2	6	*0 (*0)	*0	*0	0	1	1	0	
	美東町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	1	1	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
	秋芳町	*0 (*0)	*0	*0	0	0	*0	1 (*0)	*0	*0	0	1	2	*0 (*0)	*0	*0	0	*0	*0	0	
周南市	徳山市	1 (1)	*0	*0	25	0	27	90 (21)	*0	*0	2	1	40	133	4 (4)	*0	*0	*0	15	20	1
	新南陽市	*0 (*0)	*0	*0	38	0	38	65 (10)	*0	1	1	9	76	2 (2)	*0	*0	*0	4	6	3	
	熊毛町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	1 (1)	0	*0	0	5	6	*0 (*0)	0	*0	0	2	2	0	
	鹿野町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	*0 (*0)	0	*0	0	*0	*0	0	
山陽小野田市	小野田市	*0 (*0)	*0	*0	16	0	16	29 (7)	*0	1	1	8	39	1 (1)	*0	*0	*0	3	5	1	
	山陽町	*0 (*0)	*0	*0	10	0	10	8 (3)	*0	*0	*0	5	13	1 (1)	*0	*0	*0	2	3	0	
周防大島町	久賀町	0 (0)	0	0	7	0	7	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0	
	大島町	0 (0)	0	0	17	0	17	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0	
	東和町	0 (0)	0	0	11	0	11	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0	
	橘町	0 (0)	0	0	19	0	19	0 (0)	0	0	1	*0	1	0 (0)	0	0	*0	*0	*0	0	
和木町	和木町	0 (0)	0	0	2	0	2	0 (0)	0	0	1	0	1	0 (0)	0	0	*0	0	*0	0	
上関町	上関町	*0 (*0)	0	*0	12	0	12	*0 (*0)	0	*0	*0	1	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0	
田布施町	田布施町	*0 (*0)	0	*0	4	0	4	*0 (*0)	0	*0	*0	1	1	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	*0	0	
平生町	平生町	*0 (*0)	0	*0	76	0	76	*0 (*0)	0	*0	1	1	2	*0 (*0)	0	*0	*0	*0	1	0	
阿武町	阿武町	*0 (*0)	0	*0	0	0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0 (0)	0	*0	0	*0	*0	0	
	合計	188 (32)	1	10	452	0	652	2,391 (491)	2	99	26	422	2,939	303 (103)	1	28	9	165	505	714	

※1 「主部区間 縦ずれのみ」の「冬・深夜 風速15m/s」を設定したケース

※2 「主部区間 横ずれあり」の「昼・夜 風速15m/s」を設定したケース

※3 「主部区間 縦ずれのみ」および「主部区間 横ずれあり」の「冬・深夜 風速15m/s」

※4 ( ) 内の数値は屋内収容物移動・転倒による人的被害を示す。

※5 「津波」の被災者には、地震発生とともに堤防等が破壊・沈下することで津波到達よりも早く浸水が発生することによるものも含む。

(詳細は、「I編 4.(7) 留意事項」(I-42ページ)を参照。)

※6 ブロック塀等の倒壊、自動販売機の転倒、屋外落下物を原因とする人的被害の合計

※7 小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※8 1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

イ 災害関連死者数

1) 市町別想定結果

表 I.5-16-9 市町別災害関連死者数

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース 11）

市町	災害関連死者（人）	
	最小	最大
下関市	38	76
宇部市	94	189
山口市	25	51
萩市	*0	*0
防府市	46	91
下松市	22	43
岩国市	170	341
光市	24	47
長門市	0	0
柳井市	38	76
美祢市	0	0
周南市	59	119
山陽小野田市	43	86
周防大島町	28	55
和木町	14	29
上関町	5	10
田布施町	13	25
平生町	22	44
阿武町	*0	*0
合計	641	1,282

※1未満の小数点以下の値がある場合  
（値が完全な0ではない場合）は、  
「\*0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

市町	災害関連死者（人）	
	最小	最大
下関市	56	112
宇部市	158	316
山口市	162	324
萩市	6	11
防府市	143	285
下松市	16	31
岩国市	79	158
光市	32	63
長門市	*0	*0
柳井市	23	47
美祢市	*0	*0
周南市	71	142
山陽小野田市	39	78
周防大島町	17	34
和木町	9	17
上関町	5	9
田布施町	7	14
平生町	18	35
阿武町	0	0
合計	838	1,677

※1未満の小数点以下の値がある場合  
（値が完全な0ではない場合）は、  
「\*0」で表示している。

2) 旧市町村別想定結果

表 I.5-16-10(1) 旧市町村別災害関連死者数

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース 11）

現19市町	旧56旧市町村	災害関連死者（人）	
		最小	最大
下関市	下関市	38	76
	菊川町	0	0
	豊田町	0	0
	豊浦町	0	0
	豊北町	0	0
宇部市	宇部市	94	189
	楠町	0	0
山口市	山口市	11	21
	徳地町	0	0
	秋穂町	7	14
	小郡町	1	2
	阿知須町	6	13
	阿東町	*0	*0
萩市	萩市	*0	*0
	川上村	0	0
	田万川町	0	0
	むつみ村	*0	*0
	須佐町	0	0
	旭村	0	0
	福栄村	*0	*0
防府市	防府市	46	91
下松市	下松市	22	43
岩国市	岩国市	155	311
	由宇町	12	24
	玖珂町	1	3
	本郷村	*0	*0
	周東町	1	3
	錦町	*0	*0
	美川町	*0	*0
	美和町	*0	1
光市	光市	23	46
	大和町	1	1
長門市	長門市	0	0
	三隅町	0	0
	日置町	0	0
	油谷町	0	0
柳井市	柳井市	34	68
	大島町	4	9
美祢市	美祢市	0	0
	美東町	0	0
	秋芳町	0	0
周南市	徳山市	21	42
	新南陽市	31	63
	熊毛町	7	14
	鹿野町	0	0
山陽小野田市	小野田市	32	63
	山陽町	11	22
周防大島町	久賀町	4	9
	大島町	10	20
	東和町	6	12
	橘町	7	14
和木町	和木町	14	29
上関町	上関町	5	10
田布施町	田布施町	13	25
平生町	平生町	22	44
阿武町	阿武町	*0	*0
合計		641	1,282

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-16-10(2) 旧市町村別災害関連死者数  
(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

現19市町	旧56旧市町村	災害関連死者（人）	
		最小	最大
下関市	下関市	56	112
	菊川町	*0	*0
	豊田町	0	0
	豊浦町	*0	*0
	豊北町	*0	*0
宇部市	宇部市	156	311
	楠町	2	4
山口市	山口市	127	254
	徳地町	*0	*0
	秋穂町	12	24
	小郡町	15	29
	阿知須町	7	14
	阿東町	1	3
萩市	萩市	6	11
	川上村	*0	*0
	田万川町	0	0
	むつみ村	*0	*0
	須佐町	0	0
	旭村	0	0
	福栄村	*0	*0
防府市	防府市	143	285
下松市	下松市	16	31
岩国市	岩国市	71	142
	由宇町	7	14
	玖珂町	*0	1
	本郷村	0	0
	周東町	*0	1
	錦町	0	0
	美川町	0	0
	美和町	0	0
光市	光市	30	61
	大和町	1	2
長門市	長門市	0	0
	三隅町	0	0
	日置町	0	0
	油谷町	*0	*0
柳井市	柳井市	20	40
	大島町	3	6
美祢市	美祢市	*0	*0
	美東町	*0	*0
	秋芳町	*0	*0
周南市	徳山市	30	61
	新南陽市	32	64
	熊毛町	9	18
	鹿野町	*0	*0
山陽小野田市	小野田市	30	61
	山陽町	8	17
周防大島町	久賀町	3	5
	大島町	5	10
	東和町	5	9
	橘町	5	10
和木町	和木町	9	17
上関町	上関町	5	9
田布施町	田布施町	7	14
平生町	平生町	18	35
阿武町	阿武町	0	0
合計		838	1,677

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

④ ライフライン被害

ア 上水道

表 I.5-16-11 市町別上水道被害

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	上水道											浄水場 被害 箇所数 (箇所)
	総延長 (km)	被害 箇所数 (箇所)	給水人口 (人)	断水人口等 (復旧予測)								
				被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
				断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	
下関市	1,729	0	255,058	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
宇部市	1,157	1	162,780	32	*0.0	115	0.1	0	0.0	0	0.0	0
山口市	1,322	*0	193,961	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0	0	0.0	0
萩市	575	0	44,627	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防府市	812	0	113,976	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
下松市	312	*0	55,798	1	*0.0	6	*0.0	0	0.0	0	0.0	0
岩国市	914	103	129,183	63,668	49.3	35,918	27.8	5,540	4.3	0	0.0	0
光市	350	*0	49,777	3	*0.0	13	*0.0	0	0.0	0	0.0	0
長門市	462	0	32,520	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
柳井市	173	12	30,834	6,885	22.3	3,865	12.5	1,706	5.5	0	0.0	0
美祿市	550	0	23,245	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
周南市	845	*0	137,621	20	*0.0	53	*0.0	14	*0.0	0	0.0	0
山陽小野田市	431	0	60,130	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
周防大島町	346	29	14,798	4,101	27.7	2,223	15.0	888	6.0	0	0.0	0
和木町	18	6	5,962	4,624	77.6	2,779	46.6	358	6.0	0	0.0	0
上関町	78	5	2,342	513	21.9	289	12.4	12	0.5	0	0.0	0
田布施町	132	9	14,419	3,296	22.9	1,843	12.8	865	6.0	0	0.0	0
平生町	110	7	11,975	2,436	20.3	1,392	11.6	60	0.5	0	0.0	0
阿武町	59	*0	3,052	14	0.5	22	0.7	3	0.1	0	0.0	0
合計	10,376	172	1,342,058	85,592	6.4	48,519	3.6	9,446	0.7	0	0.0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0.0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	上水道											浄水場 被害 箇所数 (箇所)
	総延長 (km)	被害 箇所数 (箇所)	給水人口 (人)	断水人口等 (復旧予測)								
				被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
				断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	断水人口 (人)	断水率 (%)	
下関市	1,729	1	255,058	84	*0.0	255	0.1	0	0.0	0	0.0	0
宇部市	1,157	47	162,780	20,014	12.3	12,658	7.8	786	0.5	0	0.0	0
山口市	1,322	86	193,961	21,141	10.9	15,419	7.9	1,659	0.9	0	0.0	0
萩市	575	0	44,627	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
防府市	812	413	113,976	99,916	87.7	67,924	59.6	6,839	6.0	0	0.0	0
下松市	312	1	55,798	52	0.1	124	0.2	56	0.1	0	0.0	0
岩国市	914	0	129,183	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
光市	350	*0	49,777	*0	*0.0	1	*0.0	0	0.0	0	0.0	0
長門市	462	0	32,520	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
柳井市	173	0	30,834	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
美祿市	550	0	23,245	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
周南市	845	20	137,621	10,163	7.4	6,785	4.9	602	0.4	0	0.0	0
山陽小野田市	431	2	60,130	372	0.6	475	0.8	41	0.1	0	0.0	0
周防大島町	346	0	14,798	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
和木町	18	0	5,962	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
上関町	78	0	2,342	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
田布施町	132	0	14,419	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
平生町	110	0	11,975	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
阿武町	59	0	3,052	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計	10,376	569	1,342,058	151,742	11.3	103,641	7.7	9,982	0.7	0	0.0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0.0」で表示している。

イ 下水道

表 I.5-16-12 市町別下水道被害

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	総延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)	処理人口 (人)	機能支障人口等 (復旧予測)								処理場の 被害箇所数 (箇所)
					被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
					支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	
下関市	990	*0	*0.0	196,689	32	*0.0	31	*0.0	29	*0.0	0	0.0	0
宇部市	885	4	0.5	123,967	632	0.5	630	0.5	627	0.5	0	0.0	0
山口市	1,036	1	0.1	130,332	120	0.1	117	0.1	113	0.1	0	0.0	0
萩市	415	*0	*0.0	19,508	3	*0.0	2	*0.0	2	*0.0	0	0.0	0
防府市	543	2	0.3	81,224	267	0.3	266	0.3	263	0.3	0	0.0	0
下松市	290	2	0.5	51,409	267	0.5	266	0.5	264	0.5	0	0.0	0
岩国市	403	8	2.0	47,399	1,133	2.4	1,127	2.4	1,118	2.4	0	0.0	0
光市	293	3	1.0	39,259	395	1.0	392	1.0	389	1.0	0	0.0	0
長門市	361	0	0.0	15,515	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
柳井市	167	4	2.7	9,646	256	2.7	255	2.6	252	2.6	0	0.0	0
美祿市	204	0	0.0	7,712	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
周南市	807	4	0.5	119,801	566	0.5	562	0.5	555	0.5	0	0.0	0
山陽小野田市	235	*0	0.1	35,442	52	0.1	51	0.1	50	0.1	0	0.0	0
周防大島町	193	6	3.1	3,900	66	1.7	63	1.6	60	1.5	0	0.0	0
和木町	40	1	2.8	5,661	158	2.8	157	2.8	155	2.7	0	0.0	0
上関町	5	*0	2.4	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
田布施町	71	2	2.1	6,890	147	2.1	146	2.1	144	2.1	0	0.0	0
平生町	93	2	2.2	6,796	148	2.2	147	2.2	145	2.1	0	0.0	0
阿武町	50	*0	0.1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計	7,082	40	0.6	901,150	4,244	0.5	4,212	0.5	4,166	0.5	0	0.0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合 (値が完全な0ではない場合) は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合 (値が完全な0ではない場合) は、「\*0.0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	総延長 (km)	被害延長 (km)	被害率 (%)	処理人口 (人)	機能支障人口等 (復旧予測)								処理場の 被害箇所数 (箇所)
					被災直後		1日後		1週間後		1ヶ月後		
					支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	支障人口 (人)	支障率 (%)	
下関市	990	5	0.5	196,689	974	0.5	972	0.5	969	0.5	0	0.0	0
宇部市	885	22	2.4	123,967	3,071	2.5	3,068	2.5	3,062	2.5	0	0.0	0
山口市	1,036	27	2.6	130,332	2,900	2.2	2,895	2.2	2,883	2.2	0	0.0	0
萩市	415	*0	*0.0	19,508	10	*0.0	9	*0.0	8	*0.0	0	0.0	0
防府市	543	38	6.9	81,224	5,627	6.9	5,626	6.9	5,620	6.9	0	0.0	0
下松市	290	3	1.2	51,409	607	1.2	605	1.2	602	1.2	0	0.0	0
岩国市	403	*0	0.1	47,399	19	*0.0	16	*0.0	15	*0.0	0	0.0	0
光市	293	3	0.9	39,259	368	0.9	365	0.9	362	0.9	0	0.0	0
長門市	361	*0	*0.0	15,515	1	*0.0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0	0
柳井市	167	0	0.0	9,646	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
美祿市	204	2	0.9	7,712	83	1.1	81	1.1	80	1.0	0	0.0	0
周南市	807	13	1.6	119,801	2,075	1.7	2,070	1.7	2,060	1.7	0	0.0	0
山陽小野田市	235	3	1.3	35,442	469	1.3	467	1.3	462	1.3	0	0.0	0
周防大島町	193	0	0.0	3,900	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
和木町	40	0	0.0	5,661	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
上関町	5	*0	0.2	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
田布施町	71	*0	0.1	6,890	4	0.1	3	*0.0	2	*0.0	0	0.0	0
平生町	93	*0	0.1	6,796	6	0.1	5	0.1	5	0.1	0	0.0	0
阿武町	50	*0	0.1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計	7,082	116	1.6	901,150	16,212	1.8	16,182	1.8	16,128	1.8	0	0.0	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合 (値が完全な0ではない場合) は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合 (値が完全な0ではない場合) は、「\*0.0」で表示している。

ウ 電力

表 I.5-16-13 市町別停電軒数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

市町	電柱			電灯					
	本数 (本)	被害 本数 (本)	被害率 (%)	電灯軒数 (軒)	停電軒数				
					火災 (軒)	揺れ (軒)	津波 (軒)	計 (軒)	停電率 (%)
下関市	44,422	*0	*0.0	173,680	0	14	426	441	0.3
宇部市	25,754	*0	*0.0	87,711	0	232	615	847	1.0
山口市	47,810	*0	*0.0	137,222	0	143	457	600	0.4
萩市	22,124	*0	*0.0	35,251	0	26	0	26	0.1
防府市	23,267	*0	*0.0	66,188	0	133	216	349	0.5
下松市	10,619	*0	*0.0	36,912	0	146	24	170	0.5
岩国市	33,039	22	0.1	99,146	205	3,590	1,661	5,456	5.5
光市	11,353	*0	*0.0	39,464	0	219	46	264	0.7
長門市	14,601	0	0.0	23,264	0	0	0	0	0.0
柳井市	9,493	10	0.1	21,149	25	665	487	1,177	5.6
美祢市	10,482	*0	*0.0	32,835	0	*0	0	*0	*0.0
周南市	24,386	*0	*0.0	84,765	0	287	423	710	0.8
山陽小野田市	14,543	*0	*0.0	49,531	0	36	1,340	1,376	2.8
周防大島町	11,676	4	*0.0	26,011	5	725	292	1,022	3.9
和木町	1,287	2	0.1	3,906	*0	290	162	453	11.6
上関町	1,443	*0	*0.0	3,215	0	34	32	66	2.1
田布施町	3,837	*0	*0.0	8,549	*0	90	38	128	1.5
平生町	3,752	*0	*0.0	8,359	*0	59	299	358	4.3
阿武町	2,247	*0	*0.0	3,581	0	1	0	1	*0.0
合計	316,137	39	*0.0	940,739	236	6,689	6,518	13,443	1.4

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

表 I.5-16-14 市町別停電復旧予測（南海トラフ巨大地震、ケース1）

市町	電灯軒数	直後				1日後		4日後		1週間後	
		停電軒数			停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)
		津波被害 (軒)	津波以外 の被害 (軒)	計 (軒)							
下関市	173,680	426	14	441	0.3	14	*0.0	0	0.0	0	0.0
宇部市	87,711	615	232	847	1.0	232	0.3	0	0.0	0	0.0
山口市	137,222	457	143	600	0.4	143	0.1	0	0.0	0	0.0
萩市	35,251	0	26	26	0.1	26	0.1	0	0.0	0	0.0
防府市	66,188	216	133	349	0.5	133	0.2	0	0.0	0	0.0
下松市	36,912	24	146	170	0.5	146	0.4	0	0.0	0	0.0
岩国市	99,146	1,661	3,795	5,456	5.5	3,795	3.8	0	0.0	0	0.0
光市	39,464	46	219	264	0.7	219	0.6	0	0.0	0	0.0
長門市	23,264	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
柳井市	21,149	487	690	1,177	5.6	690	3.3	0	0.0	0	0.0
美祢市	32,835	0	*0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0	0	0.0
周南市	84,765	423	287	710	0.8	287	0.3	0	0.0	0	0.0
山陽小野田市	49,531	1,340	36	1,376	2.8	36	0.1	0	0.0	0	0.0
周防大島町	26,011	292	730	1,022	3.9	730	2.8	0	0.0	0	0.0
和木町	3,906	162	290	453	11.6	290	7.4	0	0.0	0	0.0
上関町	3,215	32	34	66	2.1	34	1.1	0	0.0	0	0.0
田布施町	8,549	38	90	128	1.5	90	1.0	0	0.0	0	0.0
平生町	8,359	299	59	358	4.3	59	0.7	0	0.0	0	0.0
阿武町	3,581	0	1	1	*0.0	1	*0.0	0	0.0	0	0.0
合計	940,739	6,518	6,925	13,443	1.4	6,925	0.7	0	0.0	0	0.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要家数に相当する停電軒数を応急復旧対象外として除いている。

表 I.5-16-15 市町別停電軒数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

市町	電柱			電灯					
	本数 (本)	被害 本数 (本)	被害率 (%)	電灯軒数 (軒)	停電軒数				
					火災 (軒)	揺れ (軒)	津波 (軒)	計 (軒)	停電率 (%)
下関市	44,422	*0	*0.0	173,680	0	410	76	486	0.3
宇部市	25,754	22	0.1	87,711	425	2,469	187	3,081	3.5
山口市	47,810	82	0.2	137,222	317	3,614	166	4,096	3.0
萩市	22,124	*0	*0.0	35,251	0	8	0	8	*0.0
防府市	23,267	186	0.8	66,188	2,010	8,442	78	10,530	15.9
下松市	10,619	*0	*0.0	36,912	*0	204	12	216	0.6
岩国市	33,039	*0	*0.0	99,146	0	31	256	287	0.3
光市	11,353	*0	*0.0	39,464	0	173	24	197	0.5
長門市	14,601	*0	*0.0	23,264	0	2	0	2	*0.0
柳井市	9,493	0	0.0	21,149	0	0	72	72	0.3
美祢市	10,482	*0	*0.0	32,835	0	133	0	133	0.4
周南市	24,386	2	*0.0	84,765	56	914	100	1,070	1.3
山陽小野田市	14,543	1	*0.0	49,531	39	554	345	938	1.9
周防大島町	11,676	0	0.0	26,011	0	0	78	78	0.3
和木町	1,287	0	0.0	3,906	0	0	15	15	0.4
上関町	1,443	*0	*0.0	3,215	0	5	14	19	0.6
田布施町	3,837	*0	*0.0	8,549	0	4	6	10	0.1
平生町	3,752	*0	*0.0	8,359	0	4	67	71	0.9
阿武町	2,247	*0	*0.0	3,581	0	1	0	1	*0.0
合計	316,137	292	0.1	940,739	2,847	16,970	1,496	21,312	2.3

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

表 I.5-16-16 市町別停電復旧予測（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

市町	電灯軒数	直後				1日後		4日後		1週間後	
		停電軒数			停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)	停電軒数 (軒)	停電率 (%)
		津波被害 (軒)	津波以外 の被害 (軒)	計 (軒)							
下関市	173,680	76	410	486	0.3	410	0.2	0	0.0	0	0.0
宇部市	87,711	187	2,894	3,081	3.5	2,894	3.3	0	0.0	0	0.0
山口市	137,222	166	3,930	4,096	3.0	3,930	2.9	0	0.0	0	0.0
萩市	35,251	0	8	8	*0.0	8	*0.0	0	0.0	0	0.0
防府市	66,188	78	10,452	10,530	15.9	10,452	15.8	0	0.0	0	0.0
下松市	36,912	12	204	216	0.6	204	0.6	0	0.0	0	0.0
岩国市	99,146	256	31	287	0.3	31	*0.0	0	0.0	0	0.0
光市	39,464	24	173	197	0.5	173	0.4	0	0.0	0	0.0
長門市	23,264	0	2	2	*0.0	2	*0.0	0	0.0	0	0.0
柳井市	21,149	72	0	72	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
美祢市	32,835	0	133	133	0.4	133	0.4	0	0.0	0	0.0
周南市	84,765	100	970	1,070	1.3	970	1.1	0	0.0	0	0.0
山陽小野田市	49,531	345	593	938	1.9	593	1.2	0	0.0	0	0.0
周防大島町	26,011	78	0	78	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
和木町	3,906	15	0	15	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
上関町	3,215	14	5	19	0.6	5	0.1	0	0.0	0	0.0
田布施町	8,549	6	4	10	0.1	4	*0.0	0	0.0	0	0.0
平生町	8,359	67	4	71	0.9	4	0.1	0	0.0	0	0.0
阿武町	3,581	0	1	1	*0.0	1	*0.0	0	0.0	0	0.0
合計	940,739	1,496	19,816	21,312	2.3	19,816	2.1	0	0.0	0	0.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要家数に相当する停電軒数を応急復旧対象外として除いている。

工 通信

1) 固定電話

表 I.5-16-17 市町別固定電話不通回線数（南海トラフ巨大地震、ケース1）

市町	電柱			回線						
	本数 (本)	被害 本数 (本)	被害率 (%)	回線数 (回線)	不通回線					
					火災 (回線)	揺れ (回線)	津波 (回線)	停電 (回線)	計 (回線)	不通率 (%)
下関市	32,780	*0	*0.0	67,686	0	*0	116	129	246	0.4
宇部市	20,010	*0	*0.0	52,326	0	*0	329	442	772	1.5
山口市	28,365	*0	*0.0	61,004	0	*0	184	201	385	0.6
萩市	13,322	*0	*0.0	18,193	0	*0	0	14	14	0.1
防府市	12,662	*0	*0.0	34,841	0	*0	95	165	260	0.7
下松市	5,725	*0	*0.0	14,455	0	*0	3	66	70	0.5
岩国市	20,533	14	0.1	38,309	79	10	581	1,889	2,559	6.7
光市	7,332	*0	*0.0	14,220	0	*0	10	95	105	0.7
長門市	8,062	0	0.0	12,219	0	0	0	0	0	0.0
柳井市	6,309	6	0.1	11,497	14	4	254	548	820	7.1
美祢市	9,118	*0	*0.0	8,113	0	*0	0	*0	*0	*0.0
周南市	18,303	*0	*0.0	37,789	0	*0	160	287	447	1.2
山陽小野田市	7,588	*0	*0.0	20,894	0	*0	538	412	949	4.5
周防大島町	4,812	2	*0.0	5,470	1	1	54	210	266	4.9
和木町	533	1	0.1	1,659	*0	1	62	179	242	14.6
上関町	583	*0	*0.0	865	0	*0	7	18	24	2.8
田布施町	3,461	*0	*0.0	5,468	*0	*0	21	80	102	1.9
平生町	2,066	*0	*0.0	3,933	*0	*0	135	150	286	7.3
阿武町	2,143	*0	*0.0	1,433	0	*0	0	*0	*0	*0.0
合計	203,707	23	*0.0	410,374	94	16	2,551	4,885	7,546	1.8

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

表 I.5-16-18 市町別固定電話不通回線復旧予測（南海トラフ巨大地震、ケース1）

市町	回線数	直後				1日後		1週間後		1ヶ月後		
		不通回線			計 (回線)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)
		津波被害 (回線)	津波以外の 被害 (回線)	計 (回線)								
下関市	67,686	116	129	246	0.4	129	0.2	129	0.2	0	0.0	
宇部市	52,326	329	442	772	1.5	442	0.8	442	0.8	0	0.0	
山口市	61,004	184	201	385	0.6	201	0.3	201	0.3	0	0.0	
萩市	18,193	0	14	14	0.1	14	0.1	14	0.1	0	0.0	
防府市	34,841	95	165	260	0.7	165	0.5	165	0.5	0	0.0	
下松市	14,455	3	66	70	0.5	66	0.5	66	0.5	0	0.0	
岩国市	38,309	581	1,977	2,559	6.7	1,977	5.2	1,977	5.2	0	0.0	
光市	14,220	10	95	105	0.7	95	0.7	95	0.7	0	0.0	
長門市	12,219	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
柳井市	11,497	254	566	820	7.1	566	4.9	566	4.9	0	0.0	
美祢市	8,113	0	*0	*0	*0.0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0	
周南市	37,789	160	287	447	1.2	287	0.8	287	0.8	0	0.0	
山陽小野田市	20,894	538	412	949	4.5	412	2.0	412	2.0	0	0.0	
周防大島町	5,470	54	212	266	4.9	212	3.9	212	3.9	0	0.0	
和木町	1,659	62	180	242	14.6	180	10.9	180	10.9	0	0.0	
上関町	865	7	18	24	2.8	18	2.0	18	2.0	0	0.0	
田布施町	5,468	21	80	102	1.9	80	1.5	80	1.5	0	0.0	
平生町	3,933	135	150	286	7.3	150	3.8	150	3.8	0	0.0	
阿武町	1,433	0	*0	*0	*0.0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0	
合計	410,374	2,551	4,995	7,546	1.8	4,995	1.2	4,995	1.2	0	0.0	

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要数に相当する不通回線数を応急復旧対象外として除いている。

表 I.5-16-19 市町別固定電話不通回線数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

市町	電柱			回線						
	本数 (本)	被害 本数 (本)	被害率 (%)	回線数 (回線)	不通回線					
					火災 (回線)	揺れ (回線)	津波 (回線)	停電 (回線)	計 (回線)	不通率 (%)
下関市	32,780	*0	*0.0	67,686	0	*0	8	181	190	0.3
宇部市	20,010	17	0.1	52,326	254	17	83	1,813	2,167	4.1
山口市	28,365	51	0.2	61,004	141	44	60	1,810	2,054	3.4
萩市	13,322	*0	*0.0	18,193	0	*0	0	4	4	*0.0
防府市	12,662	101	0.8	34,841	1,058	110	29	5,277	6,474	18.6
下松市	5,725	*0	*0.0	14,455	*0	*0	1	85	86	0.6
岩国市	20,533	*0	*0.0	38,309	0	*0	65	98	163	0.4
光市	7,332	*0	*0.0	14,220	0	*0	3	71	74	0.5
長門市	8,062	*0	*0.0	12,219	0	*0	0	1	1	*0.0
柳井市	6,309	0	0.0	11,497	0	0	30	38	68	0.6
美祢市	9,118	*0	*0.0	8,113	0	*0	0	33	33	0.4
周南市	18,303	2	*0.0	37,789	25	1	24	475	525	1.4
山陽小野田市	7,588	1	*0.0	20,894	17	1	122	372	512	2.5
周防大島町	4,812	0	0.0	5,470	0	0	10	16	26	0.5
和木町	533	0	0.0	1,659	0	0	3	6	9	0.5
上関町	583	*0	*0.0	865	0	*0	3	5	8	0.9
田布施町	3,461	*0	*0.0	5,468	0	*0	2	7	9	0.2
平生町	2,066	*0	*0.0	3,933	0	*0	27	33	60	1.5
阿武町	2,143	*0	*0.0	1,433	0	*0	0	*0	*0	*0.0
合計	203,707	172	0.1	410,374	1,494	173	469	10,325	12,461	3.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

表 I.5-16-20 市町別固定電話不通回線復旧予測（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

市町	回線数	直後				1日後		1週間後		1ヶ月後	
		不通回線		計 (回線)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)	不通回線 (回数)	不通率 (%)
		津波被害 (回線)	津波以外の 被害 (回線)								
下関市	67,686	8	182	190	0.3	182	0.3	182	0.3	0	0.0
宇部市	52,326	83	2,084	2,167	4.1	2,084	4.0	2,084	4.0	0	0.0
山口市	61,004	60	1,994	2,054	3.4	1,994	3.3	1,994	3.3	0	0.0
萩市	18,193	0	4	4	*0.0	4	*0.0	4	*0.0	0	0.0
防府市	34,841	29	6,445	6,474	18.6	6,445	18.5	6,445	18.5	0	0.0
下松市	14,455	1	85	86	0.6	85	0.6	85	0.6	0	0.0
岩国市	38,309	65	98	163	0.4	98	0.3	98	0.3	0	0.0
光市	14,220	3	71	74	0.5	71	0.5	71	0.5	0	0.0
長門市	12,219	0	1	1	*0.0	1	*0.0	1	*0.0	0	0.0
柳井市	11,497	30	38	68	0.6	38	0.3	38	0.3	0	0.0
美祢市	8,113	0	33	33	0.4	33	0.4	33	0.4	0	0.0
周南市	37,789	24	501	525	1.4	501	1.3	501	1.3	0	0.0
山陽小野田市	20,894	122	390	512	2.5	390	1.9	390	1.9	0	0.0
周防大島町	5,470	10	16	26	0.5	16	0.3	16	0.3	0	0.0
和木町	1,659	3	6	9	0.5	6	0.4	6	0.4	0	0.0
上関町	865	3	5	8	0.9	5	0.6	5	0.6	0	0.0
田布施町	5,468	2	7	9	0.2	7	0.1	7	0.1	0	0.0
平生町	3,933	27	33	60	1.5	33	0.8	33	0.8	0	0.0
阿武町	1,433	0	*0	*0	*0.0	*0	*0.0	*0	*0.0	0	0.0
合計	410,374	469	11,992	12,461	3.0	11,992	2.9	11,992	2.9	0	0.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

※1日後以降の停電軒数は、津波による建物全壊した需要数に相当する不通回線数を応急復旧対象外として除いている。

2) 携帯電話

表 I.5-16-21 市町別携帯電話の不通エリア数

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	エリア数	不通エリア数			
		ランクA	ランクB	ランクC	合計
下関市	7,421	11	6	13	30
宇部市	4,044	1	1	4	6
山口市	6,380	14	10	17	41
萩市	3,320	0	0	0	0
防府市	2,877	5	11	14	30
下松市	1,283	0	0	0	0
岩国市	5,287	68	59	73	200
光市	1,577	0	0	0	0
長門市	2,049	0	0	0	0
柳井市	1,405	6	6	8	20
美祢市	2,513	0	0	0	0
周南市	5,134	2	3	5	10
山陽小野田市	1,738	28	16	22	66
周防大島町	1,013	0	0	0	0
和木町	134	0	0	0	0
上関町	134	0	0	0	0
田布施町	607	0	0	0	0
平生町	384	0	0	1	1
阿武町	395	0	0	0	0
合計	47,695	135	112	157	404

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	エリア数	不通エリア数			
		ランクA	ランクB	ランクC	合計
下関市	7,421	0	1	1	2
宇部市	4,044	0	0	3	3
山口市	6,380	5	16	36	57
萩市	3,320	0	0	0	0
防府市	2,877	4	21	189	214
下松市	1,283	0	0	0	0
岩国市	5,287	13	10	3	26
光市	1,577	0	0	0	0
長門市	2,049	0	0	0	0
柳井市	1,405	0	0	0	0
美祢市	2,513	0	0	0	0
周南市	5,134	0	1	0	1
山陽小野田市	1,738	3	4	10	17
周防大島町	1,013	0	0	0	0
和木町	134	0	0	0	0
上関町	134	0	0	0	0
田布施町	607	0	0	0	0
平生町	384	0	0	0	0
阿武町	395	0	0	0	0
合計	47,695	25	53	242	320

オ ガス

表 I.5-16-22 供給ブロック別ガス供給停止戸数

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース1）

単位ブロック名称	供給戸数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)
下関No.1(彦島)ブロック	5,730	0	0.0
下関No.2(西)ブロック	7,695	0	0.0
下関No.3(東)ブロック	12,184	0	0.0
下関No.4(北)ブロック	10,175	0	0.0
下関No.5(勝山)ブロック	11,920	0	0.0
下関No.6(長府)ブロック	9,516	0	0.0
宇部No.1(小野田)ブロック	5,831	0	0.0
宇部No.2(宇部西)ブロック	4,672	4,672	100.0
宇部No.3(宇部東)ブロック	7,935	0	0.0
宇部No.4(宇部厚南)ブロック	290	0	0.0
山口No.1(宮野・大殿)ブロック	7,693	0	0.0
山口No.2(朝田・吉敷)ブロック	10,181	0	0.0
山口No.3(大内・平川)ブロック	8,524	0	0.0
山口No.4(小郡・新山口)ブロック	1,188	0	0.0
防府No.1(右田)ブロック	1,369	0	0.0
防府No.2(佐波)ブロック	7,109	0	0.0
防府No.3(田島)ブロック	9,603	0	0.0
徳山No.1(新南陽)ブロック	5,013	0	0.0
徳山No.2(徳山西)ブロック	8,776	0	0.0
徳山No.3(徳山東)ブロック	11,478	0	0.0
徳山No.4(下松)ブロック	7,989	0	0.0
徳山No.5(光)ブロック	1,711	0	0.0
合計	156,582	4,672	3.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

単位ブロック名称	供給戸数 (戸)	供給停止戸数 (戸)	供給停止率 (%)
下関No.1(彦島)ブロック	5,730	0	0.0
下関No.2(西)ブロック	7,695	0	0.0
下関No.3(東)ブロック	12,184	0	0.0
下関No.4(北)ブロック	10,175	0	0.0
下関No.5(勝山)ブロック	11,920	0	0.0
下関No.6(長府)ブロック	9,516	0	0.0
宇部No.1(小野田)ブロック	5,831	0	0.0
宇部No.2(宇部西)ブロック	4,672	0	0.0
宇部No.3(宇部東)ブロック	7,935	7,935	100.0
宇部No.4(宇部厚南)ブロック	290	0	0.0
山口No.1(宮野・大殿)ブロック	7,693	0	0.0
山口No.2(朝田・吉敷)ブロック	10,181	0	0.0
山口No.3(大内・平川)ブロック	8,524	0	0.0
山口No.4(小郡・新山口)ブロック	1,188	0	0.0
防府No.1(右田)ブロック	1,369	0	0.0
防府No.2(佐波)ブロック	7,109	0	0.0
防府No.3(田島)ブロック	9,603	0	0.0
徳山No.1(新南陽)ブロック	5,013	0	0.0
徳山No.2(徳山西)ブロック	8,776	0	0.0
徳山No.3(徳山東)ブロック	11,478	0	0.0
徳山No.4(下松)ブロック	7,989	0	0.0
徳山No.5(光)ブロック	1,711	0	0.0
合計	156,582	7,935	5.1

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

⑤ 交通施設被害

ア 緊急輸送道路

表 I.5-16-23 市町別緊急輸送道路被害

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	損傷程度別橋梁数（箇所）					被害箇所数（箇所）			
	軽微	小規模	中規模	大規模	合計	トンネル	盛土	切土斜面	合計
下関市	4	0	0	0	4	*0	*0	*0	*0
宇部市	16	0	0	0	16	*0	0	*0	*0
山口市	55	6	0	0	61	*0	*0	1	2
萩市	14	3	0	0	17	*0	*0	*0	1
防府市	10	1	0	0	11	*0	*0	*0	*0
下松市	17	1	0	0	18	*0	0	0	*0
岩国市	72	27	0	0	99	*0	*0	3	4
光市	9	4	0	0	13	0	0	*0	*0
長門市	0	0	0	0	0	*0	0	*0	*0
柳井市	5	4	0	0	9	*0	*0	*0	*0
美祢市	0	0	0	0	0	*0	*0	*0	*0
周南市	37	3	0	0	40	*0	*0	*0	*0
山陽小野田市	2	1	0	0	3	0	*0	*0	*0
周防大島町	6	6	0	0	12	*0	*0	1	2
和木町	1	2	0	0	3	*0	0	0	*0
上関町	0	1	0	0	1	0	0	*0	*0
田布施町	4	3	1	0	8	0	*0	*0	*0
平生町	4	0	1	0	5	0	*0	*0	*0
阿武町	2	0	0	0	2	0	*0	*0	*0
合計	258	62	2	0	322	2	1	9	12

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※緊急輸送道路そのものの被害箇所ではなく、緊急輸送道路上の道路施設の被害である。

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	損傷程度別橋梁数（箇所）					被害箇所数（箇所）			
	軽微	小規模	中規模	大規模	合計	トンネル	盛土	切土斜面	合計
下関市	25	3	0	0	28	*0	*0	*0	*0
宇部市	14	8	0	0	22	*0	0	*0	*0
山口市	64	52	4	0	120	*0	*0	2	3
萩市	17	0	0	0	17	*0	*0	*0	*0
防府市	1	16	2	5	24	*0	*0	*0	1
下松市	12	6	0	0	18	*0	0	0	*0
岩国市	6	0	0	0	6	*0	*0	*0	1
光市	9	4	0	0	13	0	0	*0	*0
長門市	0	0	0	0	0	*0	0	*0	*0
柳井市	1	0	0	0	1	*0	*0	*0	*0
美祢市	63	4	0	0	67	*0	*0	*0	*0
周南市	44	11	0	0	55	*0	*0	*0	*0
山陽小野田市	11	4	0	0	15	0	*0	*0	*0
周防大島町	0	0	0	0	0	*0	*0	*0	*0
和木町	0	0	0	0	0	*0	0	0	*0
上関町	0	0	0	0	0	0	0	*0	*0
田布施町	4	0	0	0	4	0	*0	*0	*0
平生町	4	0	0	0	4	0	*0	*0	*0
阿武町	0	0	0	0	0	0	*0	*0	*0
合計	275	108	6	5	394	1	2	7	10

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※緊急輸送道路そのものの被害箇所ではなく、緊急輸送道路上の道路施設の被害である。

イ 道路

表 I.5-16-24 市町別道路被害  
(a) 南海トラフ巨大地震 (ケース1)

市町	道路延長(km)			被害箇所数(箇所)						合計
	国道等	その他	合計	国道等			その他			
				非浸水域	浸水域	小計	非浸水域	浸水域	小計	
下関市	325	2,290	2,616	*0	5	5	*0	6	6	11
宇部市	136	1,283	1,419	1	2	3	10	9	18	22
山口市	446	2,262	2,708	3	*0	4	10	12	22	26
萩市	154	1,306	1,460	*0	0	*0	4	0	4	4
防府市	106	884	990	*0	*0	*0	4	10	14	15
下松市	52	378	430	*0	0	*0	4	*0	5	6
岩国市	292	1,945	2,237	16	3	19	58	19	77	96
光市	24	527	550	1	*0	1	11	*0	11	12
長門市	96	780	876	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	27	519	547	2	1	4	17	6	24	27
美祿市	200	721	921	0	0	0	*0	0	*0	*0
周南市	323	1,341	1,664	5	*0	5	13	3	16	21
山陽小野田市	108	570	678	*0	2	2	*0	11	12	14
周防大島町	44	496	540	5	*0	5	24	3	26	32
和木町	1	52	53	*0	*0	*0	2	2	4	4
上関町	0	92	92	0	0	0	4	*0	5	5
田布施町	7	265	272	*0	*0	*0	8	*0	9	10
平生町	5	181	186	*0	*0	*0	6	4	10	11
阿武町	30	173	203	0	0	0	*0	0	*0	*0
合計	2,376	16,066	18,442	37	17	53	176	87	263	316

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震(縦ずれのみ)

市町	道路延長(km)			被害箇所数(箇所)						合計
	国道等	その他	合計	国道等			その他			
				非浸水域	浸水域	小計	非浸水域	浸水域	小計	
下関市	325	2,290	2,616	5	1	6	14	1	16	22
宇部市	136	1,283	1,419	11	*0	12	52	4	56	68
山口市	446	2,262	2,708	29	*0	29	79	8	88	117
萩市	154	1,306	1,460	*0	0	*0	*0	0	*0	1
防府市	106	884	990	17	*0	17	59	7	66	82
下松市	52	378	430	3	0	3	10	*0	10	13
岩国市	292	1,945	2,237	*0	*0	1	1	8	9	10
光市	24	527	550	*0	*0	*0	7	*0	7	8
長門市	96	780	876	0	0	0	*0	0	*0	*0
柳井市	27	519	547	0	*0	*0	0	2	2	3
美祿市	200	721	921	7	0	7	10	0	10	16
周南市	323	1,341	1,664	17	*0	17	38	1	39	56
山陽小野田市	108	570	678	4	1	5	11	7	18	24
周防大島町	44	496	540	0	*0	*0	0	*0	*0	*0
和木町	1	52	53	0	*0	*0	0	*0	*0	*0
上関町	0	92	92	0	0	0	*0	*0	*0	*0
田布施町	7	265	272	*0	*0	*0	*0	*0	*0	*0
平生町	5	181	186	0	*0	*0	*0	1	1	1
阿武町	30	173	203	0	0	0	*0	0	*0	*0
合計	2,376	16,066	18,442	93	5	99	285	41	326	424

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合(値が完全な0ではない場合)は、「\*0」で表示している。

ウ 鉄道

表 I.5-16-25 市町別鉄道被害

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース5）

市町名	被害箇所数（箇所）			
	新幹線		在来線等	
	揺れ	津波	揺れ	津波
下関市	0	0	54	41
宇部市	0	0	1	0
山口市	0	0	6	0
萩市	0	0	0	0
防府市	0	0	6	7
下松市	0	0	1	5
岩国市	3	0	21	4
光市	0	0	24	3
長門市	0	0	0	0
柳井市	0	0	0	0
美祢市	0	0	0	0
周南市	*0	*0	0	0
山陽小野田市	0	0	0	0
周防大島町	0	0	0	0
和木町	0	0	0	0
上関町	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0
平生町	0	0	0	0
阿武町	0	0	0	0
合計	3	0	113	59

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

市町	被害箇所数（箇所）			
	新幹線		在来線等	
	揺れ	津波	揺れ	津波
下関市	*0	0	138	13
宇部市	2	0	1	0
山口市	4	0	18	0
萩市	0	0	7	0
防府市	5	0	47	3
下松市	*0	0	7	3
岩国市	0	0	8	1
光市	0	0	0	1
長門市	0	0	0	0
柳井市	0	0	0	0
美祢市	0	0	0	0
周南市	6	0	0	0
山陽小野田市	1	0	0	0
周防大島町	0	0	0	0
和木町	0	0	0	0
上関町	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0
平生町	0	0	0	0
阿武町	0	0	0	0
合計	19	0	227	21

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

工 港湾

表 I.5-16-26 港湾別被害

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース1）

港湾名	被害箇所数（箇所）	
	揺れ	津波
徳山下松港	23	0
下関港	3	0
岩国港	29	0
三田尻中関港	6	0
宇部港	28	0
小野田港	2	0
由宇港	1	0
大島港	1	0
小松港	1	0
久賀港	1	0
安下庄港	1	0
伊保田港	1	0
白木港	1	0
沖浦港	1	0
柳井港	1	0
室津港	1	0
平生港	1	0
山口東港	*0	0
特牛港	*0	0
角島港	*0	0
油谷港	*0	0
萩港	*0	0
柱島港	1	0
櫃島港	*0	0
合計	103	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。  
 ※1未満の小数点以下の値がある場合  
 （値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

港湾名	被害箇所数（箇所）	
	揺れ	津波
徳山下松港	51	0
下関港	10	0
岩国港	6	0
三田尻中関港	24	0
宇部港	40	0
小野田港	4	0
由宇港	*0	0
大島港	*0	0
小松港	*0	0
久賀港	*0	0
安下庄港	1	0
伊保田港	*0	0
白木港	*0	0
沖浦港	*0	0
柳井港	1	0
室津港	*0	0
平生港	1	0
山口東港	1	0
特牛港	*0	0
角島港	*0	0
油谷港	*0	0
萩港	*0	0
柱島港	*0	0
櫃島港	*0	0
合計	143	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。  
 ※1未満の小数点以下の値がある場合  
 （値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

⑥ 生活支障

ア 避難者

1) 市町別想定結果（避難者数最大ケース）

表 I.5-16-27(1) 市町別避難者数  
(a) 南海トラフ巨大地震（ケース 11）

市町	発災当日・1日後			1週間後			1ヶ月後					
	計	避難者（人）		計	避難者（人）		計	避難者（人）				
		避難所生活者	避難所要配慮者		避難所外生活者	避難所生活者		避難所要配慮者	避難所外生活者	避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者
下関市	14,268	9,469	(5,028)	4,799	1,851	1,407	(747)	444	1,851	555	(295)	1,295
宇部市	36,340	23,568	(11,572)	12,772	17,323	11,635	(5,713)	5,688	17,321	5,196	(2,551)	12,125
山口市	9,539	6,321	(2,743)	3,218	2,765	2,260	(981)	505	2,765	829	(360)	1,935
萩市	30	18	(11)	12	30	15	(9)	15	30	9	(6)	21
防府市	17,271	11,436	(5,421)	5,835	4,783	3,837	(1,819)	945	4,783	1,435	(680)	3,348
下松市	8,193	5,435	(2,511)	2,758	1,173	893	(413)	279	1,173	352	(163)	821
岩国市	66,308	42,601	(22,749)	23,707	61,714	45,886	(24,503)	15,828	61,975	18,592	(9,928)	43,382
光市	9,326	5,889	(3,033)	3,437	6,929	4,264	(2,196)	2,665	6,929	2,079	(1,071)	4,850
長門市	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
柳井市	14,569	9,559	(5,181)	5,011	7,829	6,121	(3,318)	1,708	7,817	2,345	(1,271)	5,472
美祢市	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
周南市	22,633	14,846	(7,052)	7,787	8,255	5,972	(2,836)	2,283	8,256	2,477	(1,177)	5,779
山陽小野田市	16,062	10,692	(5,485)	5,370	4,920	4,331	(2,222)	590	4,920	1,476	(757)	3,444
周防大島町	10,476	6,937	(5,050)	3,539	3,778	3,110	(2,264)	668	3,721	1,116	(813)	2,605
和木町	5,529	3,597	(1,662)	1,933	3,205	2,367	(1,093)	838	3,227	968	(447)	2,259
上関町	1,882	1,254	(1,058)	629	217	188	(158)	29	212	64	(54)	148
田布施町	4,934	3,153	(1,728)	1,782	3,499	2,328	(1,276)	1,171	3,498	1,049	(575)	2,449
平生町	8,360	5,516	(2,951)	2,844	3,840	3,109	(1,664)	730	3,811	1,143	(612)	2,668
阿武町	1	1	(*0)	*0	2	1	(1)	1	1	*0	(*0)	1
合計	245,720	160,290	(83,233)	85,433	132,110	97,723	(51,212)	34,387	132,290	39,687	(20,758)	92,603

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※要配慮者は避難所生活者の内数

表 I.5-16-27(2) 市町別避難者数  
(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

市町	発災当日・1日後 避難者（人）			1週間後 避難者（人）			1ヶ月後 避難者（人）					
	計	避難所 生活者	避難所 要配慮者	避難所外 生活者	計	避難所 生活者	避難所 要配慮者	避難所外 生活者	計	避難所 生活者	避難所 要配慮者	避難所外 生活者
下関市	22,723	14,014	(7,441)	8,709	19,041	10,326	(5,483)	8,715	19,039	5,712	(3,033)	13,327
宇部市	63,556	39,445	(19,367)	24,112	52,943	30,124	(14,791)	22,820	52,991	15,897	(7,805)	37,094
山口市	66,747	40,502	(17,578)	26,245	65,963	35,365	(15,348)	30,599	65,947	19,784	(8,586)	46,163
萩市	2,306	1,384	(840)	923	2,306	1,153	(700)	1,153	2,306	692	(420)	1,614
防府市	58,633	35,679	(16,912)	22,954	63,714	37,108	(17,589)	26,606	64,040	19,212	(9,106)	44,828
下松市	6,388	3,936	(1,818)	2,452	5,492	3,005	(1,388)	2,487	5,486	1,646	(760)	3,840
岩国市	29,758	19,768	(10,556)	9,990	5,898	4,884	(2,608)	1,014	5,898	1,769	(945)	4,129
光市	12,869	7,894	(4,066)	4,975	14,882	9,284	(4,781)	5,599	14,882	4,465	(2,299)	10,418
長門市	2	1	(1)	1	2	1	(1)	1	2	1	*0	1
柳井市	8,791	5,833	(3,161)	2,958	1,683	1,351	(732)	332	1,683	505	(274)	1,178
美祢市	73	44	(24)	29	73	37	(20)	37	73	22	(12)	51
周南市	28,341	17,728	(8,421)	10,612	23,463	14,061	(6,679)	9,402	23,272	6,982	(3,316)	16,290
山陽小野田市	14,816	9,703	(4,978)	5,114	7,843	6,010	(3,083)	1,833	7,834	2,350	(1,206)	5,484
周防大島町	6,311	4,206	(3,062)	2,105	142	120	(87)	22	142	43	(31)	100
和木町	3,244	2,162	(999)	1,081	348	313	(145)	35	348	104	(48)	243
上関町	1,743	1,162	(981)	581	26	23	(20)	3	26	8	(7)	18
田布施町	2,776	1,770	(970)	1,006	1,368	747	(409)	621	1,368	410	(225)	958
平生町	6,570	4,378	(2,342)	2,193	714	626	(335)	88	714	214	(115)	500
阿武町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
合計	335,650	209,610	(103,517)	126,040	265,900	154,540	(74,199)	111,360	266,050	79,815	(38,189)	186,240

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※要配慮者は避難所生活者の内数

## 2) 旧市町村別想定結果（避難者数最大ケース）

表 I.5-16-28(1) 旧市町村別避難者数（南海トラフ巨大地震、ケース11）

(a) 下関市～岩国市に属する旧30市町村

現19市町	旧市町村	発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
		計	避難者（人）		避難所外生活者	計	避難者（人）		避難所外生活者	計	避難者（人）		避難所外生活者
			避難所生活者	避難所要配慮者			避難所生活者	避難所要配慮者			避難所生活者	避難所要配慮者	
下関市	下関市	14,268	9,469	(5,028)	4,799	1,851	1,407	(747)	444	1,851	555	(295)	1,295
	菊川町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	豊田町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	豊浦町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	豊北町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
宇部市	宇部市	36,340	23,568	(11,572)	12,772	17,323	11,635	(5,713)	5,688	17,321	5,196	(2,551)	12,125
	楠町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
山口市	山口市	3,954	2,635	(1,144)	1,319	1,270	1,138	(494)	133	1,270	381	(165)	889
	徳地町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	秋穂町	2,749	1,800	(781)	949	1,354	1,021	(443)	334	1,354	406	(176)	948
	小郡町	443	296	(128)	148	8	7	(3)	1	8	2	(1)	5
	阿知須町	2,364	1,574	(683)	790	103	80	(35)	24	103	31	(13)	72
萩市	阿東町	29	18	(8)	12	29	15	(6)	15	29	9	(4)	20
	萩市	18	11	(7)	7	18	9	(6)	9	18	6	(3)	13
	川上村	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	田万川町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	むつみ村	10	6	(4)	4	10	5	(3)	5	10	3	(2)	7
	須佐町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	旭村	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
福栄村	2	1	(1)	1	2	1	(1)	1	2	1	(*0)	1	
防府市	防府市	17,271	11,436	(5,421)	5,835	4,783	3,837	(1,819)	945	4,783	1,435	(680)	3,348
下松市	下松市	8,193	5,435	(2,511)	2,758	1,173	893	(413)	279	1,173	352	(163)	821
岩国市	岩国市	60,514	38,849	(20,745)	21,664	57,783	43,021	(22,973)	14,762	58,068	17,420	(9,302)	40,648
	由宇町	4,521	2,988	(1,595)	1,533	2,654	2,226	(1,189)	428	2,634	790	(422)	1,844
	玖珂町	537	322	(172)	215	537	269	(144)	269	537	161	(86)	376
	本郷村	1	1	(*0)	*0	1	1	(*0)	1	1	*0	(*0)	1
	周東町	621	373	(199)	248	623	311	(166)	311	621	186	(100)	435
	錦町	*0	*0	(*0)	*0	*0	*0	(*0)	*0	*0	*0	(*0)	*0
	美川町	*0	*0	(*0)	*0	*0	*0	(*0)	*0	*0	*0	(*0)	*0
美和町	113	68	(36)	45	116	58	(31)	58	113	34	(18)	79	

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※要配慮者は避難所生活者の内数

表 I.5-16-28(2) 旧市町村別避難者数（南海トラフ巨大地震、ケース11）

(b) 光市～阿武町に属する旧26市町村

現19市町	旧市町村	発災当日・1日後 避難者（人）			1週間後 避難者（人）			1ヶ月後 避難者（人）					
		計	避難所 生活者	避難所 要配慮者	避難所外 生活者	計	避難所 生活者	避難所 要配慮者	避難所外 生活者	計	避難所 生活者	避難所 要配慮者	避難所外 生活者
光市	光市	9,030	5,711	(2,941)	3,319	6,633	4,117	(2,120)	2,517	6,633	1,990	(1,025)	4,643
	大和町	296	177	(91)	118	296	148	(76)	148	296	89	(46)	207
長門市	長門市	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	三隅町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	日置町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	油谷町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
柳井市	柳井市	12,927	8,475	(4,593)	4,452	7,224	5,644	(3,059)	1,580	7,221	2,166	(1,174)	5,055
	大島町	1,643	1,084	(588)	559	605	477	(258)	128	596	179	(97)	417
美祢市	美祢市	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	美東町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	秋芳町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
周南市	徳山市	8,017	5,298	(2,516)	2,720	1,799	1,337	(635)	463	1,799	540	(256)	1,260
	新南陽市	11,789	7,852	(3,730)	3,937	3,630	3,222	(1,531)	408	3,630	1,089	(517)	2,541
	熊毛町	2,827	1,696	(806)	1,131	2,825	1,413	(671)	1,413	2,827	848	(403)	1,979
	鹿野町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
山陽小野田市	小野田市	11,869	7,897	(4,051)	3,973	4,548	3,995	(2,050)	552	4,548	1,364	(700)	3,183
	山陽町	4,193	2,795	(1,434)	1,398	373	335	(172)	37	373	112	(57)	261
周防大島町	久賀町	1,695	1,113	(811)	582	776	594	(432)	181	750	225	(164)	525
	大島町	3,764	2,496	(1,817)	1,269	1,975	1,693	(1,233)	282	1,973	592	(431)	1,381
	東和町	2,306	1,530	(1,114)	775	415	333	(242)	82	406	122	(89)	284
	橘町	2,711	1,798	(1,309)	914	612	489	(356)	123	592	178	(129)	415
和木町	和木町	5,529	3,597	(1,662)	1,933	3,205	2,367	(1,093)	838	3,227	968	(447)	2,259
上関町	上関町	1,882	1,254	(1,058)	629	217	188	(158)	29	212	64	(54)	148
田布施町	田布施町	4,934	3,153	(1,728)	1,782	3,499	2,328	(1,276)	1,171	3,498	1,049	(575)	2,449
平生町	平生町	8,360	5,516	(2,951)	2,844	3,840	3,109	(1,664)	730	3,811	1,143	(612)	2,668
阿武町	阿武町	1	1	(*0)	*0	2	1	(1)	1	1	*0	(*0)	1
合計		245,720	160,290	(83,233)	85,433	132,110	97,723	(51,212)	34,387	132,290	39,687	(20,758)	92,603

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※要配慮者は避難所生活者の内数

表 I.5-16-29(1) 旧市町村別避難者数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

(a) 下関市～岩国市に属する旧 30 市町村

現19市町	旧56市町村	発災当日・1日後				1週間後				1ヶ月後			
		避難者（人）				避難者（人）				避難者（人）			
		計	避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者	計	避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者	計	避難所生活者	避難所要配慮者	避難所外生活者
下関市	下関市	22,693	13,996	(7,432)	8,698	19,011	10,311	(5,475)	8,700	19,009	5,703	(3,028)	13,307
	菊川町	9	5	(3)	4	9	5	(2)	5	9	3	(1)	6
	豊田町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	豊浦町	20	12	(6)	8	20	10	(5)	10	20	6	(3)	14
	豊北町	*0	*0	(*0)	*0	*0	*0	(*0)	*0	*0	*0	(*0)	*0
宇部市	宇部市	62,641	38,896	(19,098)	23,746	52,028	29,666	(14,566)	22,362	52,076	15,623	(7,671)	36,453
	楠町	915	549	(270)	366	915	458	(225)	458	915	275	(135)	641
山口市	山口市	52,616	31,780	(13,793)	20,837	52,282	27,262	(11,832)	25,020	52,308	15,692	(6,810)	36,616
	徳地町	*0	*0	(*0)	*0	*0	*0	(*0)	*0	*0	*0	(*0)	*0
	秋穂町	4,835	3,013	(1,307)	1,822	5,345	3,573	(1,551)	1,772	5,434	1,630	(708)	3,804
	小郡町	6,068	3,659	(1,588)	2,409	6,253	3,307	(1,435)	2,946	6,251	1,875	(814)	4,376
	阿知須町	2,696	1,733	(752)	964	1,552	957	(415)	595	1,423	427	(185)	996
	阿東町	531	318	(138)	212	531	265	(115)	265	531	159	(69)	372
萩市	萩市	2,297	1,378	(837)	919	2,297	1,149	(697)	1,149	2,297	689	(418)	1,608
	川上村	2	1	(1)	1	2	1	(*0)	1	2	*0	(*0)	1
	田万川町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	むつみ村	1	*0	(*0)	*0	1	*0	(*0)	*0	1	*0	(*0)	1
	須佐町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	旭村	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	福栄村	7	4	(3)	3	7	4	(2)	4	7	2	(1)	5
防府市	防府市	58,633	35,679	(16,912)	22,954	63,714	37,108	(17,589)	26,606	64,040	19,212	(9,106)	44,828
下松市	下松市	6,388	3,936	(1,818)	2,452	5,492	3,005	(1,388)	2,487	5,486	1,646	(760)	3,840
岩国市	岩国市	26,783	17,808	(9,509)	8,976	5,505	4,667	(2,492)	839	5,505	1,652	(882)	3,854
	由宇町	2,636	1,757	(938)	879	53	47	(25)	6	53	16	(9)	37
	玖珂町	147	88	(47)	59	147	73	(39)	73	147	44	(23)	103
	本郷村	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	周東町	193	116	(62)	77	193	96	(51)	96	193	58	(31)	135
	錦町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	美川町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	美和町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※要配慮者は避難所生活者の内数

表 I.5-16-29(2) 旧市町村別避難者数（周防灘断層帯による地震、縦ずれのみ）

(b) 光市～阿武町に属する旧 26 市町村

現19市町	旧56市町村	発災当日・1日後			1週間後			1ヶ月後					
		計	避難者（人）		計	避難者（人）		計	避難者（人）				
			避難所生活者	避難所要配慮者		避難所生活者	避難所要配慮者		避難所生活者	避難所要配慮者			
光市	光市	12,417	7,623	(3,926)	4,794	14,430	9,058	(4,665)	5,373	14,430	4,329	(2,229)	10,101
	大和町	452	271	(140)	181	452	226	(116)	226	452	136	(70)	316
長門市	長門市	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	三隅町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	日置町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
	油谷町	2	1	(1)	1	2	1	(1)	1	2	1	(*0)	1
柳井市	柳井市	7,601	5,042	(2,733)	2,559	1,529	1,225	(664)	303	1,529	459	(249)	1,070
	大島町	1,189	791	(429)	399	154	125	(68)	29	154	46	(25)	108
美祢市	美祢市	41	25	(14)	16	41	21	(11)	21	41	12	(7)	29
	美東町	3	2	(1)	1	3	2	(1)	2	3	1	(1)	2
	秋芳町	29	17	(10)	12	29	14	(8)	14	29	9	(5)	20
周南市	徳山市	12,268	7,581	(3,601)	4,687	10,163	5,515	(2,620)	4,648	10,045	3,014	(1,431)	7,032
	新南陽市	12,423	7,958	(3,780)	4,466	9,651	6,721	(3,192)	2,930	9,578	2,873	(1,365)	6,705
	熊毛町	3,648	2,189	(1,040)	1,459	3,648	1,824	(866)	1,824	3,648	1,094	(520)	2,554
	鹿野町	1	1	(*0)	*0	1	*0	(*0)	*0	1	*0	(*0)	1
山陽小野田市	小野田市	11,628	7,618	(3,908)	4,010	7,003	5,500	(2,822)	1,503	6,995	2,099	(1,077)	4,897
	山陽町	3,189	2,085	(1,069)	1,104	840	509	(261)	330	839	252	(129)	588
周防大島町	久賀町	939	625	(455)	314	39	31	(22)	8	39	12	(8)	27
	大島町	1,841	1,227	(893)	614	37	33	(24)	4	37	11	(8)	26
	東和町	1,711	1,141	(830)	570	24	22	(16)	3	24	7	(5)	17
	橘町	1,820	1,213	(883)	607	43	35	(25)	8	43	13	(9)	30
和木町	和木町	3,244	2,162	(999)	1,081	348	313	(145)	35	348	104	(48)	243
上関町	上関町	1,743	1,162	(981)	581	26	23	(20)	3	26	8	(7)	18
田布施町	田布施町	2,776	1,770	(970)	1,006	1,368	747	(409)	621	1,368	410	(225)	958
平生町	平生町	6,570	4,378	(2,342)	2,193	714	626	(335)	88	714	214	(115)	500
阿武町	阿武町	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0	0	0	(0)	0
合計		335,650	209,610	(103,517)	126,040	265,900	154,540	(74,199)	111,360	266,050	79,815	(38,189)	186,240

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※要配慮者は避難所生活者の内数

イ 帰宅困難者

表 I. 5-16-30 市町別帰宅困難者数

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	最大震度	外出者数 (人)	帰宅困難者		滞留者	
			人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
下関市	5弱	127,081	4,261	3.4	5,849	4.6
宇部市	5強	85,982	7,911	9.2	8,483	9.9
山口市	5強	108,770	15,818	14.5	16,839	15.5
萩市	5弱	21,284	1,834	8.6	2,104	9.9
防府市	5弱	59,675	7,423	12.4	7,714	12.9
下松市	5強	28,608	1,980	6.9	2,208	7.7
岩国市	6弱	63,033	4,386	7.0	6,823	10.8
光市	5強	22,375	2,591	11.6	2,719	12.2
長門市	4	15,629	0	0.0	0	0.0
柳井市	6強	15,911	2,571	16.2	2,733	17.2
美祢市	5弱	12,414	3,948	31.8	4,002	32.2
周南市	5強	74,310	9,263	12.5	10,367	14.0
山陽小野田市	5弱	30,729	3,091	10.1	3,378	11.0
周防大島町	6弱	5,812	694	12.0	766	13.2
和木町	6弱	2,751	71	2.6	289	10.5
上関町	6弱	767	127	16.6	138	18.1
田布施町	6弱	5,886	616	10.5	642	10.9
平生町	6弱	4,459	393	8.8	412	9.2
阿武町	5強	1,255	130	10.4	141	11.3
合計		686,731	67,113	9.8	75,614	11.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	最大震度	外出者数 (人)	帰宅困難者		滞留者	
			人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
下関市	6弱	127,081	4,261	3.4	5,849	4.6
宇部市	6強	85,982	7,911	9.2	8,483	9.9
山口市	7	108,770	15,818	14.5	16,839	15.5
萩市	5弱	21,284	1,834	8.6	2,104	9.9
防府市	7	59,675	7,423	12.4	7,714	12.9
下松市	5強	28,608	1,980	6.9	2,208	7.7
岩国市	5弱	63,033	4,386	7.0	6,823	10.8
光市	5強	22,375	2,591	11.6	2,719	12.2
長門市	5弱	15,629	1,842	11.8	1,895	12.1
柳井市	4	15,911	0	0.0	0	0.0
美祢市	5強	12,414	3,948	31.8	4,002	32.2
周南市	6弱	74,310	9,263	12.5	10,367	14.0
山陽小野田市	6弱	30,729	3,091	10.1	3,378	11.0
周防大島町	4	5,812	0	0.0	0	0.0
和木町	4	2,751	0	0.0	0	0.0
上関町	5弱	767	127	16.6	138	18.1
田布施町	5弱	5,886	616	10.5	642	10.9
平生町	5弱	4,459	393	8.8	412	9.2
阿武町	5弱	1,255	130	10.4	141	11.3
合計		686,731	65,618	9.6	73,718	10.7

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

ウ 物資需要量

表 I.5-16-31 市町別物資需要量  
(a) 南海トラフ巨大地震（ケース 11）

市町	発災当日・1日後			1週間後			1ヶ月後		
	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)
下関市	3.4	2.8	1.9	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1
宇部市	8.5	7.1	4.7	4.2	3.5	2.3	1.9	1.6	1.0
山口市	2.3	1.9	1.3	0.8	0.7	0.5	0.3	0.2	0.2
萩市	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
防府市	4.1	3.4	2.3	1.4	1.2	0.8	0.5	0.4	0.3
下松市	2.0	1.6	1.1	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
岩国市	15.3	17.3	8.5	16.5	14.5	9.2	6.7	5.8	3.7
光市	2.1	1.8	1.2	1.5	1.3	0.9	0.7	0.6	0.4
長門市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
柳井市	3.4	3.2	1.9	2.2	1.9	1.2	0.8	0.7	0.5
美祢市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周南市	5.3	4.5	3.0	2.1	1.8	1.2	0.9	0.7	0.5
山陽小野田市	3.8	3.2	2.1	1.6	1.3	0.9	0.5	0.4	0.3
周防大島町	2.5	2.5	1.4	1.1	1.1	0.6	0.4	0.4	0.2
和木町	1.3	1.1	0.7	0.9	0.8	0.5	0.3	0.3	0.2
上関町	0.5	0.4	0.3	0.1	0.1	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
田布施町	1.1	1.1	0.6	0.8	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2
平生町	2.0	1.8	1.1	1.1	1.0	0.6	0.4	0.3	0.2
阿武町	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
合計	57.7	53.7	32.1	35.2	30.4	19.5	14.3	12.2	7.9

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

※生活必需品は毛布を対象

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

市町	発災当日・1日後			1週間後			1ヶ月後		
	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)	食糧需要 (万食)	給水需要 (万L)	生活必需品 需要 (万枚)
下関市	5.0	4.3	2.8	3.7	3.1	2.1	2.1	1.7	1.1
宇部市	14.2	13.1	7.9	10.8	9.3	6.0	5.7	4.8	3.2
山口市	14.6	13.4	8.1	12.7	10.9	7.1	7.1	6.0	4.0
萩市	0.5	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
防府市	12.8	18.4	7.1	13.4	12.3	7.4	6.9	5.9	3.8
下松市	1.4	1.2	0.8	1.1	0.9	0.6	0.6	0.5	0.3
岩国市	7.1	5.9	4.0	1.8	1.5	1.0	0.6	0.5	0.4
光市	2.8	2.4	1.6	3.3	2.8	1.9	1.6	1.3	0.9
長門市	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
柳井市	2.1	1.7	1.2	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1
美祢市	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
周南市	6.4	6.5	3.5	5.1	4.5	2.8	2.5	2.1	1.4
山陽小野田市	3.5	3.0	1.9	2.2	1.8	1.2	0.8	0.7	0.5
周防大島町	1.5	1.3	0.8	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
和木町	0.8	0.6	0.4	0.1	0.1	0.1	*0.0	*0.0	*0.0
上関町	0.4	0.3	0.2	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
田布施町	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
平生町	1.6	1.3	0.9	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	*0.0
阿武町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	75.5	74.5	41.9	55.6	48.5	30.9	28.7	24.2	16.0

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

※生活必需品は毛布を対象

エ 仮設トイレ必要量

表 I.5-16-32 市町別仮設トイレ必要量

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース 11）

市町	発災当日・1日後		1週間後		1ヶ月後	
	必要基数 (基)	必要容量 (万L)	必要基数 (基)	必要容量 (万L)	必要基数 (基)	必要容量 (万L)
下関市	94.7	3.4	14.1	0.5	5.6	0.2
宇部市	235.7	8.5	116.4	4.2	52.0	1.9
山口市	63.2	2.3	22.6	0.8	8.3	0.3
萩市	0.2	*0.0	0.2	*0.0	0.1	*0.0
防府市	114.4	4.1	38.4	1.4	14.3	0.5
下松市	54.3	2.0	8.9	0.3	3.5	0.1
岩国市	426.0	15.3	458.9	16.5	185.9	6.7
光市	58.9	2.1	42.6	1.5	20.8	0.7
長門市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
柳井市	95.6	3.4	61.2	2.2	23.5	0.8
美祢市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
周南市	148.5	5.3	59.7	2.1	24.8	0.9
山陽小野田市	106.9	3.8	43.3	1.6	14.8	0.5
周防大島町	69.4	2.5	31.1	1.1	11.2	0.4
和木町	36.0	1.3	23.7	0.9	9.7	0.3
上関町	12.5	0.5	1.9	0.1	0.6	*0.0
田布施町	31.5	1.1	23.3	0.8	10.5	0.4
平生町	55.2	2.0	31.1	1.1	11.4	0.4
阿武町	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
合計	1,602.9	57.7	977.2	35.2	396.9	14.3

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

市町	発災当日・1日後		1週間後		1ヶ月後	
	必要基数 (基)	必要容量 (万L)	必要基数 (基)	必要容量 (万L)	必要基数 (基)	必要容量 (万L)
下関市	140.1	5.0	103.3	3.7	57.1	2.1
宇部市	394.5	14.2	301.2	10.8	159.0	5.7
山口市	405.0	14.6	353.7	12.7	197.8	7.1
萩市	13.8	0.5	11.5	0.4	6.9	0.2
防府市	356.8	12.8	371.1	13.4	192.1	6.9
下松市	39.4	1.4	30.1	1.1	16.5	0.6
岩国市	197.7	7.1	48.8	1.8	17.7	0.6
光市	78.9	2.8	92.8	3.3	44.6	1.6
長門市	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0	*0.0
柳井市	58.3	2.1	13.5	0.5	5.0	0.2
美祢市	0.4	*0.0	0.4	*0.0	0.2	*0.0
周南市	177.3	6.4	140.6	5.1	69.8	2.5
山陽小野田市	97.0	3.5	60.1	2.2	23.5	0.8
周防大島町	42.1	1.5	1.2	*0.0	0.4	*0.0
和木町	21.6	0.8	3.1	0.1	1.0	*0.0
上関町	11.6	0.4	0.2	*0.0	0.1	*0.0
田布施町	17.7	0.6	7.5	0.3	4.1	0.1
平生町	43.8	1.6	6.3	0.2	2.1	0.1
阿武町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2,096.1	75.5	1,545.4	55.6	798.2	28.7

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

オ 必要仮設住宅数

表 I.5-16-33 市町別必要仮設住宅数

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース 1、冬・夕方、風速 15m/s）

市町	冬・夕方 風速15m/s		
	応急住宅 需要数 (棟)	賃貸住宅の 空き家 (棟)	必要仮設 住宅数 (棟)
下関市	1,612	10,100	-
宇部市	6,231	8,860	-
山口市	2,007	9,760	-
萩市	9	1,330	-
防府市	2,215	4,610	-
下松市	460	2,040	-
岩国市	18,432	4,450	13,982
光市	1,570	1,020	550
長門市	0	740	-
柳井市	5,879	1,160	4,719
美祢市	0	1,030	-
周南市	3,427	5,760	-
山陽小野田市	5,044	1,580	3,464
周防大島町	5,573	193	5,380
和木町	1,593	193	1,400
上関町	394	193	201
田布施町	1,205	193	1,012
平生町	3,220	193	3,027
阿武町	8	193	-
合計	58,879	53,598	33,735

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※「-」は不足しないことを表している。

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ、冬・夕方、風速 15m/s）

市町	冬・夕方 風速15m/s		
	応急住宅 需要数 (棟)	賃貸住宅の 空き家 (棟)	必要仮設 住宅数 (棟)
下関市	1,981	10,100	-
宇部市	7,598	8,860	-
山口市	9,663	9,760	-
萩市	754	1,330	-
防府市	11,097	4,610	6,487
下松市	553	2,040	-
岩国市	4,956	4,450	506
光市	2,124	1,020	1,104
長門市	0	740	-
柳井市	2,281	1,160	1,121
美祢市	40	1,030	-
周南市	3,293	5,760	-
山陽小野田市	3,676	1,580	2,096
周防大島町	496	193	303
和木町	343	193	150
上関町	74	193	-
田布施町	506	193	313
平生町	1,081	193	888
阿武町	0	193	-
合計	50,516	53,598	12,967

※小数点以下の四捨五入により合計が合わないことがある。

※「-」は不足しないことを表している。

⑦ その他施設等の被害

ア 孤立集落

表 I.5-16-34 市町別孤立集落数及び孤立世帯数

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	孤立集落					
	農業集落		漁業集落		合計	
	孤立集落数 (集落)	孤立世帯数 (世帯)	孤立集落数 (集落)	孤立世帯数 (世帯)	孤立集落数 (集落)	孤立世帯数 (世帯)
下関市	0	0	0	0	0	0
宇部市	0	0	0	0	0	0
山口市	0	0	0	0	0	0
萩市	0	0	0	0	0	0
防府市	0	0	0	0	0	0
下松市	4	260	0	0	4	260
岩国市	18	408	4	250	22	658
光市	0	0	1	82	1	82
長門市	0	0	0	0	0	0
柳井市	20	343	4	485	24	828
美祢市	0	0	0	0	0	0
周南市	7	510	1	1,248	8	1,758
山陽小野田市	0	0	0	0	0	0
周防大島町	8	264	9	596	17	860
和木町	1	9	0	0	1	9
上関町	15	499	13	858	28	1,357
田布施町	2	204	1	162	3	366
平生町	12	203	0	0	12	203
阿武町	0	0	0	0	0	0
合計	87	2,700	33	3,681	120	6,381

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	孤立集落					
	農業集落		漁業集落		合計	
	孤立集落数 (集落)	孤立世帯数 (世帯)	孤立集落数 (集落)	孤立世帯数 (世帯)	孤立集落数 (集落)	孤立世帯数 (世帯)
下関市	0	0	0	0	0	0
宇部市	11	199	0	0	11	199
山口市	5	9	1	188	6	197
萩市	0	0	0	0	0	0
防府市	4	119	2	187	6	306
下松市	8	529	3	367	11	896
岩国市	0	0	0	0	0	0
光市	0	0	0	0	0	0
長門市	0	0	0	0	0	0
柳井市	0	0	0	0	0	0
美祢市	2	19	0	0	2	19
周南市	36	1,342	8	1,847	44	3,189
山陽小野田市	12	128	0	0	12	128
周防大島町	0	0	0	0	0	0
和木町	0	0	0	0	0	0
上関町	0	0	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0	0	0
平生町	0	0	0	0	0	0
阿武町	0	0	0	0	0	0
合計	78	2,345	14	2,589	92	4,934

イ 重要施設

表 I.5-16-35 市町別 重要施設の地震時使用性

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	災害対策拠点施設 (箇所)			避難拠点施設 (箇所)			医療拠点施設 (箇所)		
	○	△	×	○	△	×	○	△	×
下関市	118	0	0	157	0	0	6	0	0
宇部市	49	1	0	99	9	0	0	1	0
山口市	142	0	0	253	0	0	0	0	0
萩市	119	0	0	107	0	0	22	0	0
防府市	22	0	0	150	0	0	0	0	0
下松市	22	0	0	35	0	0	0	0	0
岩国市	20	3	63	31	4	115	1	0	7
光市	14	0	0	50	2	0	3	0	0
長門市	52	0	0	151	0	0	0	0	0
柳井市	12	4	25	10	1	30	0	0	1
美祿市	40	0	0	58	0	0	2	0	0
周南市	48	1	0	142	3	1	6	0	0
山陽小野田市	18	0	0	71	0	0	2	0	0
周防大島町	2	1	18	3	1	19	0	0	3
和木町	2	4	0	2	2	1	0	1	0
上関町	2	0	0	18	5	0	0	0	0
田布施町	2	0	0	18	4	0	0	0	0
平生町	7	4	0	20	4	1	0	0	0
阿武町	9	0	0	7	0	0	1	0	0
合計	700	18	106	1,382	35	167	43	2	11

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	災害対策拠点施設 (箇所)			避難拠点施設 (箇所)			医療拠点施設 (箇所)		
	○	△	×	○	△	×	○	△	×
下関市	116	2	0	154	2	1	6	0	0
宇部市	4	1	45	13	1	94	0	0	1
山口市	24	2	116	34	1	218	0	0	0
萩市	119	0	0	107	0	0	22	0	0
防府市	0	0	22	1	0	149	0	0	0
下松市	21	1	0	35	0	0	0	0	0
岩国市	86	0	0	150	0	0	8	0	0
光市	9	5	0	41	11	0	3	0	0
長門市	52	0	0	151	0	0	0	0	0
柳井市	41	0	0	41	0	0	1	0	0
美祿市	37	3	0	57	1	0	2	0	0
周南市	20	2	27	69	15	62	4	0	2
山陽小野田市	2	0	16	23	4	44	1	0	1
周防大島町	21	0	0	23	0	0	3	0	0
和木町	6	0	0	5	0	0	1	0	0
上関町	2	0	0	23	0	0	0	0	0
田布施町	2	0	0	21	1	0	0	0	0
平生町	11	0	0	25	0	0	0	0	0
阿武町	9	0	0	7	0	0	1	0	0
合計	582	16	226	980	36	568	52	0	4

ウ ため池

表 I.5-16-36 市町別ため池危険度ランク

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	危険度ランク								
	A			B			C		
	箇所数 (箇所)	影響人口 (人)	影響戸数 (戸)	箇所数 (箇所)	影響人口 (人)	影響戸数 (戸)	箇所数 (箇所)	影響人口 (人)	影響戸数 (戸)
下関市	0	0	0	0	0	0	110	36,609	12,203
宇部市	0	0	0	0	0	0	85	37,434	12,478
山口市	0	0	0	0	0	0	150	43,074	14,358
萩市	0	0	0	0	0	0	11	849	283
防府市	0	0	0	0	0	0	29	16,806	5,602
下松市	0	0	0	0	0	0	7	2,565	855
岩国市	0	0	0	0	0	0	4	2,484	828
光市	0	0	0	0	0	0	7	2,169	723
長門市	0	0	0	0	0	0	41	13,071	4,357
柳井市	0	0	0	0	0	0	4	1,113	371
美祢市	0	0	0	0	0	0	20	2,823	941
周南市	0	0	0	0	0	0	9	5,061	1,687
山陽小野田市	0	0	0	0	0	0	59	23,832	7,944
周防大島町	0	0	0	2	183	61	3	405	135
和木町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上関町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0	0	0	3	444	148
平生町	0	0	0	1	66	22	4	666	222
阿武町	0	0	0	0	0	0	2	300	100
合計	0	0	0	3	249	83	548	189,705	63,235

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	危険度ランク								
	A			B			C		
	箇所数 (箇所)	影響人口 (人)	影響戸数 (戸)	箇所数 (箇所)	影響人口 (人)	影響戸数 (戸)	箇所数 (箇所)	影響人口 (人)	影響戸数 (戸)
下関市	0	0	0	1	63	21	109	36,546	12,182
宇部市	0	0	0	2	612	204	83	36,822	12,274
山口市	4	438	146	16	3,516	1,172	130	39,120	13,040
萩市	0	0	0	0	0	0	11	849	283
防府市	5	3,999	1,333	13	9,207	3,069	11	3,600	1,200
下松市	0	0	0	0	0	0	7	2,565	855
岩国市	0	0	0	0	0	0	4	2,484	828
光市	0	0	0	0	0	0	7	2,169	723
長門市	0	0	0	0	0	0	41	13,071	4,357
柳井市	0	0	0	0	0	0	4	1,113	371
美祢市	0	0	0	0	0	0	20	2,823	941
周南市	0	0	0	0	0	0	9	5,061	1,687
山陽小野田市	0	0	0	1	108	36	58	23,724	7,908
周防大島町	0	0	0	0	0	0	5	588	196
和木町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上関町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0	0	0	3	444	148
平生町	0	0	0	0	0	0	5	732	244
阿武町	0	0	0	0	0	0	2	300	100
合計	9	4,437	1,479	33	13,506	4,502	509	172,011	57,337

工 災害廃棄物

表 I.5-16-37 市町別災害廃棄物発生量

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース1）

市町	解体廃棄物 木造(t)	解体廃棄物 非木造(t)	片付けごみ 及び公物等(t)	津波堆積物 (t)	仮置き場面積 (ha)	災害廃棄物量 (t)
下関市	32,480	3,982	24,301	157,832	2.0	60,763
宇部市	96,400	27,200	60,958	178,750	6.1	184,558
山口市	40,770	6,836	34,339	416,395	2.7	81,945
萩市	173	15	104	0	0.0	292
防府市	30,800	12,500	20,283	272,758	2.1	63,583
下松市	5,360	2,063	1,307	46,354	0.3	8,730
岩国市	295,130	80,930	190,402	406,746	18.7	566,462
光市	27,815	4,549	17,367	25,658	1.6	49,731
長門市	0	0	0	0	0.0	0
柳井市	103,262	21,835	71,597	124,654	6.5	196,694
美祢市	0	0	0	0	0.0	0
周南市	51,711	17,424	35,614	149,125	3.5	104,749
山陽小野田市	104,740	20,796	97,639	224,053	7.5	223,175
周防大島町	109,649	6,170	64,100	131,729	5.9	179,919
和木町	26,231	5,810	16,392	18,242	1.6	48,433
上関町	6,875	780	3,733	38,119	0.4	11,388
田布施町	20,007	3,530	11,139	45,631	1.1	34,676
平生町	56,760	10,820	38,569	106,831	3.5	106,150
阿武町	107	11	0	0	0.0	118
合計	1,008,271	225,251	687,843	2,342,875	63.4	1,921,365

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

市町	解体廃棄物 木造(t)	解体廃棄物 非木造(t)	片付けごみ 及び公物等(t)	津波堆積物 (t)	仮置き場面積 (ha)	災害廃棄物量 (t)
下関市	32,583	6,537	18,783	64,138	1.8	57,904
宇部市	132,128	26,828	68,849	118,959	7.6	227,804
山口市	198,086	17,652	124,029	316,441	11.1	339,767
萩市	14,800	1,380	9,506	0	0.8	25,686
防府市	262,766	41,778	177,208	182,623	16.4	481,752
下松市	7,820	2,782	4,627	11,534	0.5	15,229
岩国市	58,630	22,296	15,867	238,981	3.2	96,793
光市	36,940	6,436	22,644	10,819	2.1	66,020
長門市	9	1	6	0	0.0	16
柳井市	29,700	8,947	9,930	57,053	1.6	48,577
美祢市	380	309	225	0	0.0	913
周南市	46,252	16,081	24,060	59,111	2.8	86,393
山陽小野田市	60,675	11,785	33,156	164,735	3.5	105,616
周防大島町	10,200	451	6,398	43,822	0.6	17,050
和木町	4,110	1,170	503	7,282	0.2	5,783
上関町	1,498	160	1,078	26,700	0.1	2,737
田布施町	9,070	1,247	5,393	14,362	0.5	15,710
平生町	15,759	3,627	6,821	46,172	0.9	26,207
阿武町	0	0	0	0	0.0	0
合計	921,406	169,467	529,083	1,362,731	53.7	1,619,955

オ 道路閉塞

表 I.5-16-38 市町別道路リンク閉塞率の割合

(a) 南海トラフ巨大地震

市町	道路リンク閉塞率の割合						
	0%	0~2%	2~5%	5~10%	10~20%	20~50%	50%超
下関市	96.4%	3.3%	0.1%	0.2%	0.1%	*0.0%	0.0%
宇部市	86.0%	10.0%	0.6%	1.9%	1.5%	0.0%	0.0%
山口市	95.8%	2.3%	1.4%	0.4%	*0.0%	0.0%	0.0%
萩市	99.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
防府市	87.9%	5.3%	1.7%	4.3%	0.5%	0.3%	0.0%
下松市	87.4%	12.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩国市	64.1%	22.7%	8.5%	3.6%	0.9%	0.1%	0.0%
光市	64.2%	21.5%	5.9%	4.9%	3.5%	0.0%	0.0%
長門市	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
柳井市	49.7%	37.0%	8.3%	4.1%	0.9%	0.0%	0.0%
美祢市	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
周南市	89.8%	7.4%	1.3%	0.9%	0.7%	0.0%	0.0%
山陽小野田市	91.8%	6.9%	0.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
周防大島町	38.3%	52.4%	5.7%	1.6%	1.5%	0.4%	0.0%
和木町	23.0%	51.6%	10.7%	9.8%	4.9%	0.0%	0.0%
上関町	62.5%	33.6%	1.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
田布施町	62.9%	25.7%	5.4%	3.0%	1.8%	1.2%	0.0%
平生町	41.2%	40.7%	16.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
阿武町	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	85.6%	10.1%	2.3%	1.4%	0.5%	0.1%	0.0%

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

(b) 周防灘断層帯による地震

市町	道路リンク閉塞率の割合						
	0%	0~2%	2~5%	5~10%	10~20%	20~50%	50%超
下関市	85.7%	10.4%	2.2%	1.0%	0.7%	0.1%	0.0%
宇部市	38.7%	49.2%	5.2%	3.4%	3.1%	0.4%	0.0%
山口市	54.6%	32.9%	3.4%	3.3%	4.7%	1.1%	0.0%
萩市	98.1%	0.7%	0.4%	0.1%	0.6%	0.0%	0.0%
防府市	11.6%	33.8%	26.5%	13.5%	10.1%	4.1%	0.3%
下松市	59.0%	36.7%	2.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
岩国市	97.9%	1.8%	0.3%	*0.0%	*0.0%	0.0%	0.0%
光市	63.1%	21.3%	5.4%	3.8%	6.3%	0.1%	0.0%
長門市	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
柳井市	89.0%	8.4%	2.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
美祢市	91.1%	8.9%	*0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
周南市	54.0%	40.0%	3.4%	1.9%	0.7%	0.1%	0.0%
山陽小野田市	65.2%	28.4%	4.7%	1.2%	0.5%	0.0%	0.0%
周防大島町	97.2%	2.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
和木町	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上関町	98.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
田布施町	82.8%	11.9%	1.9%	0.4%	2.1%	0.9%	0.0%
平生町	90.9%	8.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
阿武町	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	73.0%	19.2%	3.5%	2.0%	1.9%	0.4%	*0.0%

※0.1未満の小数点第2位以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0.0」で表示している。

カ エレベーター内閉じ込め

表 I. 5-16-39 市町別エレベーター被害及び閉じ込め者数

(a) 南海トラフ巨大地震（ケース1）

市町	エレベーター被害台数（台）				エレベーター内閉じ込め者数（人）			
	安全装置	揺れ故障	停電停止	合計	安全装置	揺れ故障	停電停止	合計
下関市	0	0	97	97	0	0	3	3
宇部市	0	0	0	0	0	0	0	0
山口市	0	0	0	0	0	0	0	0
萩市	0	0	0	0	0	0	0	0
防府市	0	0	0	0	0	0	0	0
下松市	7	66	246	319	*0	3	9	13
岩国市	0	0	*0	*0	0	0	*0	*0
光市	0	0	123	123	0	0	1	1
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	0	0	8	8	0	0	*0	*0
美祢市	0	0	*0	*0	0	0	*0	*0
周南市	0	0	8	8	0	0	*0	*0
山陽小野田市	0	0	15	15	0	0	*0	*0
周防大島町	0	0	1	1	0	0	*0	*0
和木町	0	0	*0	*0	0	0	*0	*0
上関町	0	0	2	2	0	0	*0	*0
田布施町	0	0	3	3	0	0	*0	*0
平生町	0	0	1	1	0	0	*0	*0
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	66	504	577	*0	3	14	18

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※エレベーター内閉じ込め者数が最大となる朝7時から8時の時間帯を想定している

(b) 周防灘断層帯による地震（縦ずれのみ）

市町	エレベーター被害台数（台）				エレベーター内閉じ込め者数（人）			
	安全装置	揺れ故障	停電停止	合計	安全装置	揺れ故障	停電停止	合計
下関市	8	72	109	190	*0	4	5	9
宇部市	0	0	*0	*0	0	0	*0	*0
山口市	0	0	*0	*0	0	0	*0	*0
萩市	0	0	0	0	0	0	0	0
防府市	0	0	0	0	0	0	0	0
下松市	79	847	838	1,770	3	30	29	62
岩国市	1	13	7	21	*0	*0	*0	*0
光市	54	527	430	1,010	2	16	10	27
長門市	0	0	*0	*0	0	0	*0	*0
柳井市	6	111	245	363	*0	2	3	5
美祢市	13	119	34	167	1	5	1	7
周南市	8	126	234	368	*0	2	5	7
山陽小野田市	*0	1	13	13	*0	*0	*0	*0
周防大島町	0	0	2	2	0	0	*0	*0
和木町	0	0	*0	*0	0	0	*0	*0
上関町	0	0	0	0	0	0	0	0
田布施町	0	0	0	0	0	0	0	0
平生町	0	0	0	0	0	0	0	0
阿武町	0	0	1	1	0	0	*0	*0
合計	170	1,820	1,910	3,900	6	59	53	118

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

※エレベーター内閉じ込め者数が最大となる朝7時から8時の時間帯を想定している

⑧ 経済被害（直接経済被害）

表 I.5-16-40 市町別の建物倒壊等による直接被害（南海トラフ巨大地震）

（単位：百万円）

市町	家計部門			産業及び公共部門				合計
	住宅	家財	小計	非住宅	償却資産	在庫資産	小計	
下関市	19,447	7,506	26,953	17,049	301	178	17,528	44,481
宇部市	67,567	30,654	98,221	106,656	2,892	1,589	111,137	209,359
山口市	23,504	8,559	32,063	6,614	464	236	7,315	39,378
萩市	101	22	123	38	1	*0	39	163
防府市	21,638	5,099	26,737	51,626	672	478	52,776	79,513
下松市	4,007	1,787	5,794	6,491	248	189	6,928	12,722
岩国市	237,117	58,593	295,710	70,315	3,604	2,395	76,315	372,025
光市	13,219	5,681	18,900	14,143	459	368	14,969	33,870
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0
柳井市	66,077	15,139	81,216	25,996	893	404	27,294	108,510
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	33,281	16,305	49,586	34,485	1,902	1,214	37,601	87,186
山陽小野田市	56,525	17,181	73,706	52,226	1,329	896	54,451	128,157
周防大島町	57,877	6,051	63,927	5,090	60	30	5,180	69,107
和木町	12,121	5,543	17,664	17,021	988	836	18,845	36,509
上関町	1,522	574	2,096	0	16	8	24	2,120
田布施町	11,156	3,219	14,375	7,380	168	124	7,671	22,047
平生町	30,030	7,212	37,242	10,173	308	204	10,685	47,927
阿武町	79	11	90	100	*0	*0	101	191
合計	655,268	189,137	844,406	425,404	14,306	9,148	448,858	1,293,263

※小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-16-41 市町別の社会基盤への直接被害（南海トラフ巨大地震）

(単位：百万円)

市町	ライフライン						交通施設				その他				合計
	電力施設	通信施設	ガス施設	上水道施設	下水道施設	小計	道路	鉄道	港湾	小計	その他土木施設	農地	災害廃棄物	小計	
下関市	0	102	0	0	48	149	622	2,072	10,449	13,143	4,729	12,096	1,337	18,162	31,455
宇部市	0	320	346	1	1,394	2,060	683	21	84,510	85,214	36,825	1,183	4,060	42,069	129,343
山口市	0	160	0	0	399	559	868	149	1,145	2,162	1,026	50,103	1,803	52,932	55,653
萩市	0	6	0	0	14	20	86	0	463	549	240	0	6	246	815
防府市	0	108	0	0	570	678	301	339	19,168	19,808	8,523	24,209	1,399	34,130	54,617
下松市	0	29	0	*0	482	511	108	144	0	251	251	0	192	443	1,205
岩国市	27	1,061	0	1,012	2,627	4,727	3,531	646	92,744	96,921	42,063	6,007	12,462	60,532	162,180
光市	0	43	0	*0	937	981	335	620	0	955	541	0	1,094	1,635	3,571
長門市	0	0	0	0	0	0	0	0	2,785	2,785	1,185	0	0	1,185	3,970
柳井市	12	340	0	109	1,415	1,876	911	0	4,648	5,559	2,966	542	4,327	7,836	15,271
美祢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周南市	0	185	0	*0	1,355	1,541	837	0	69,736	70,573	30,591	15	2,304	32,911	105,024
山陽小野田市	0	394	0	0	91	484	456	0	5,079	5,534	2,392	17,506	4,910	24,808	30,827
周防大島町	5	110	0	65	1,929	2,110	1,053	0	13,760	14,813	7,120	1,890	3,958	12,968	29,891
和木町	2	100	0	74	359	535	86	0	0	86	189	0	1,066	1,255	1,876
上関町	0	10	0	8	41	60	108	0	2,494	2,602	1,124	174	251	1,548	4,210
田布施町	0	42	0	52	485	579	194	0	0	194	289	1,640	763	2,692	3,465
平生町	0	118	0	39	653	810	215	0	2,807	3,023	1,563	43	2,335	3,942	7,774
阿武町	0	0	0	*0	21	21	0	0	0	0	9	0	3	12	33
合計	46	3,128	346	1,361	12,821	17,701	10,394	3,991	309,789	324,174	141,626	115,409	42,270	299,305	641,180

※小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-16-42 市町別の建物倒壊等による直接被害（周防灘断層帯による地震）

（単位：百万円）

市町	家計部門			産業及び公共部門				合計
	住宅	家財	小計	非住宅	償却資産	在庫資産	小計	
下関市	23,322	9,002	32,324	20,447	361	213	21,021	53,345
宇部市	85,470	38,777	124,247	134,916	3,659	2,010	140,585	264,832
山口市	114,941	41,854	156,795	32,346	2,271	1,152	35,769	192,565
萩市	8,626	1,877	10,503	3,237	63	32	3,333	13,836
防府市	130,138	30,669	160,807	310,496	4,039	2,873	317,409	478,215
下松市	5,326	2,376	7,702	8,627	330	251	9,208	16,911
岩国市	57,645	14,245	71,890	17,094	876	582	18,553	90,443
光市	17,868	7,679	25,547	19,117	620	497	20,234	45,781
長門市	6	1	7	4	*0	*0	4	12
柳井市	23,291	5,336	28,627	9,163	315	142	9,621	38,248
美祿市	392	66	458	227	6	4	237	695
周南市	31,622	15,492	47,114	32,767	1,807	1,153	35,727	82,841
山陽小野田市	37,727	11,467	49,194	34,858	887	598	36,343	85,537
周防大島町	5,104	534	5,638	449	5	3	457	6,095
和木町	2,324	1,063	3,387	3,264	189	160	3,613	7,000
上関町	302	114	416	0	3	2	5	421
田布施町	4,856	1,401	6,258	3,212	73	54	3,339	9,597
平生町	9,398	2,257	11,656	3,184	96	64	3,344	14,999
阿武町	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	558,360	184,211	742,571	633,408	15,602	9,791	658,801	1,401,372

※小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。

表 I.5-16-43 市町別の社会基盤への直接被害（周防灘断層帯による地震）

（単位：百万円）

市町	ライフライン						交通施設				その他				合計
	電力施設	通信施設	ガス施設	上水道施設	下水道施設	小計	道路	鉄道	港湾	小計	その他土木施設	農地	災害廃棄物	小計	
下関市	0	79	0	1	1,461	1,541	936	3,464	31,890	36,290	14,582	6,838	1,274	22,694	60,524
宇部市	26	898	587	318	6,926	8,756	2,389	74	121,489	123,951	55,631	510	5,012	61,152	193,859
山口市	99	851	0	336	8,723	10,010	4,753	514	3,000	8,267	7,007	39,658	7,475	54,140	72,416
萩市	0	2	0	0	40	42	0	163	2,220	2,382	961	0	565	1,526	3,950
防府市	226	2,683	0	1,589	12,026	16,523	3,097	1,280	72,608	76,984	37,312	20,152	10,599	68,062	161,570
下松市	0	35	0	1	1,093	1,129	511	235	0	746	682	0	335	1,017	2,892
岩国市	0	68	0	0	66	133	292	207	18,263	18,763	7,920	5,923	2,129	15,972	34,869
光市	0	30	0	0	859	890	151	19	0	170	430	0	1,452	1,882	2,942
長門市	0	1	0	0	6	6	0	0	2,269	2,269	967	0	*0	968	3,243
柳井市	0	28	0	0	0	28	43	0	2,947	2,990	1,272	4	1,069	2,344	5,363
美祢市	0	14	0	0	609	622	905	0	0	905	644	0	20	664	2,192
周南市	3	218	0	162	4,139	4,521	2,515	130	152,695	155,340	67,771	0	1,901	69,672	229,533
山陽小野田市	1	212	0	6	1,003	1,223	880	26	11,901	12,808	5,863	15,187	2,324	23,373	37,404
周防大島町	0	11	0	0	0	11	0	0	6,385	6,385	2,715	66	375	3,157	9,552
和木町	0	4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	127	127	131
上関町	0	3	0	0	4	7	0	0	1,122	1,122	479	112	60	651	1,780
田布施町	0	4	0	0	12	16	0	0	0	0	5	864	346	1,215	1,230
平生町	0	25	0	0	27	52	22	0	2,776	2,797	1,201	0	577	1,778	4,627
阿武町	0	0	0	0	9	9	0	0	0	0	4	0	0	4	13
合計	355	5,165	587	2,413	37,002	45,522	16,494	6,111	429,563	452,168	205,445	89,315	35,639	330,399	828,089

※小数点以下は四捨五入により合計が合わないことがある

※1未満の小数点以下の値がある場合（値が完全な0ではない場合）は、「\*0」で表示している。